

市勢要覽

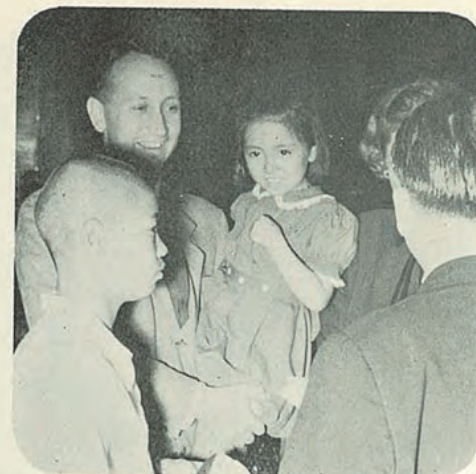
昭和 27 年(1952 年)版

広島市

2/2

第11編 社会事業

業事会協 臨口渠



精神養子提唱者 ノーマン・カズンズ氏



市立竹屋保育園



県立中央児童相談所



赤い羽街頭募金



原爆傷害者治療

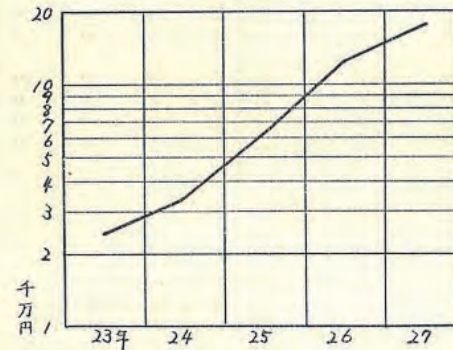
概要

原爆により壊滅にひんした本市の社会事業施設は昭和27年度において、在ハワイ広島戦災救済会の寄附金を基金として身体障害者収容授産所及び母子住宅を建設するとともに、国庫補助による保育所3カ所の新築も確定したので、ここに戦後計画の線に沿って一応態勢を整えるに至り、現在これら諸施設の運営も収容能力に応じて最大限に活用されている状態である。

更に本年戦傷病者・戦没者等遺族援護法の施行に伴い、困難を極めた一族援護の問題もようやく軌道に乗ってきたが、市民の生活は、依然困窮の度を減じないばかりか要保護者は漸次増加の傾向にあるので、今後援護施設の整備・充実を図る一方、上記法律による措置決定の適正を図るとともに、法外援護、従って関係諸団体の育成、指導に重点を移行しなければならない。

この趣旨から、福祉事務所が逐次強化され、原爆傷害者治療対策協議会が設置せられ、地区社会福祉協議会の結成が進ちよくしつ々あることは、本市の社会福祉事業の新しい方向を示すものである。

扶助額推移



保育事業

原爆並びに戦没遺家族の多い本市としては、これら家族児童の福祉対策に重点を置き、保育事業の育成強化に努めている。

現在市内に市立18、私立22の保育所があり、3,760名の児童が保育されている。これら保育所は、ほとんどが終戦後新設されたもので、名実ともにモデル保育所としての運営を期している。

保育所一覧

(社会課調)

区分 施設名	経営別	在籍児童数			区分 施設名	経営別	在籍児童数		
		総数	男	女			総数	男	女
總数	一	3,760	1,912	1,848					
青嶋保育園	市営	99	52	47	小百合園	私営	217	113	104
仁保保	"	92	41	51	天使用園	"	44	24	20
楠保	"	79	53	26	ひかり保育園	"	70	33	32
大河	"	87	39	48	みなみ愛児園	"	93	44	49
元宇品	"	61	25	35	知恩保育園	"	162	88	74
南親	"	65	35	29	若葉	"	100	47	53
基音町	"	119	69	50	とまき	"	100	54	46
己斐	"	211	104	107	まこと	"	100	53	47
草津	"	181	97	84	三立山	"	61	33	28
江波	"	135	65	70	比治	"	61	23	33
神崎	"	93	45	43	法輪	"	97	44	53
古田	"	64	25	39	真和	"	131	65	66
竹屋	"	62	37	25	母子寮	"	84	49	35
三篠	"	55	28	27	さく	"	35	22	14
こばと	"	82	38	44	微妙	"	62	32	30
東隣保館	"	81	37	44	ゆかり	"	103	45	58
西隣保館	"	98	52	46	京安橋	"	54	26	28
庚午	"	53	26	32	安田	"	63	33	30
宇品学	私営	198	110	88	報恩	"	72	35	37
曙光園	"	80	41	39	二葉	"	50	24	26

養護施設

施設名	所在地	経営主体	年令別収容児童					職員		
			総数	12才以下	13~15	16~18	19~20	総数	男	女
總数			516	264	124	110	18	80	16	64
似島学園	広島市似島町	社会事業協会	182	74	49	54	5	26	5	21
新生学園	基町	同援広島県支部	76	25	25	18	8	10	3	7
広島修道院	若草町	私営	98	69	14	13	2	19	4	15
光の園	基町	宗教法人	84	74	10	—	—	18	2	16
広島戦災児童育成所	佐伯郡五日市町	広島戦災児童育成会	76	22	25	25	3	7	2	5

精神薄弱児収容施設

施設名	所在地	経営主体	年令別収容児童					職員		
			総数	12才以下	13~15	16~18	19~20	総数	男	女
六方学園	古田町高須	私営	96	50	21	19	6	24	8	16

母子寮施設

施設名	所在地	経営主体	収容人員															
			世帯数	母							子							
				総数	25才以下	30才以下	35才以下	40才以下	45才以下	5才以上	その他	総数	7才以下		8～16		17才以上	
					男女	男	女	男	女	男			女					
総数			131	140	6	39	57	23	2	7	6	285	29	26	102	112	9	7
広島市母子寮	基町	広島市	32	35	1	10	14	6	—	4	—	70	9	8	20	27	4	2
広島和光園母子寮	〃	社会福祉法人	62	63	4	21	22	10	2	3	6	135	12	13	43	60	4	3
さくら母子寮	東草津町	同援広島県支部	26	25	1	4	15	6	—	—	—	62	7	5	32	18	—	—
大芝母子寮	大芝町	広島市	11	11	—	4	6	1	—	—	—	18	1	—	7	7	1	2

里親制度

本市の里親制度は昭和23年4月から実施し、現在54名の児童が篤志家の手によつて養育されている。なお養育費（委託費）として、1日62円62銭を支給している。

里親に委託されている年令別児童

性別	年令別		総数	1才未満	2才	6才	12才	15才	18才
	性	別							
總数			54	1	—	—	26	13	14
男			29	1	—	—	12	9	7
女			25	—	—	—	14	4	7

精 神 養 子

米国ニューヨーク市の土曜評論社ノーマン・カズンズ氏の提唱あつ旋による米国篤志家と戦災孤児との精神養子縁組は昭和25年1月から結ばれ、昭和27年6月在ニューヨーク・ヒロシマピースセンター協力会（理事マーヴィン・グリーン氏）に移管されて昭和27年末には養子縁組児童も333名に達している。これら養子に対して心の親達から養育資金はもとより一般援護資金や温情あふれる品々が贈られている。この精神養子縁組は米国でも好評を博し、昨年度は5,680ドル、本年度は4,500ドルが送られ、縁組開始以来すでに20,690ドルが送られてきた。なお、この日米精神養子縁組にしがきされてか、最近日本国内でも縁組運動が行われて成果をあげつつある。

施設別縁組決定及び資金配分状況

施 設 名	収容数	縁 組 決定数	資 金 配 分 額		
			総 数	一般養育資金	特別指定資金
総 数	人 672	人 383	ドル 20,557.00	ドル 18,284.50	ドル 2,272.50
光 の 園	84	15	1,056.75	882.75	174.00
新 生 学 園	76	69	2,423.75	2,411.75	12.00
広島戦災児育成所	76	76	7,598.50	5,625.50	1,973.00
広 島 修 道 院	98	40	2,685.00	2,675.00	10.00
似 島 学 園	182	131	6,109.75	6,047.75	62.00
六 方 学 園	96	3	66.25	66.25	—
ピースセンター 般原爆孤児	—	49	617.00	575.50	41.50

産院利用状況（昭和27年中）

区分 月別	総 数	延入院 患者	延外来 患者	月末入 院患者	区分 月別	総 数	延入院 患者	延外来 患者	月末入 院患者
総数	5,825	3,357	2,474	—	7月	561	301	260	41
1月	358	205	153	35	8	430	278	202	33
2	406	239	167	33	9	559	338	221	33
3	440	254	186	39	10	560	336	224	44
4	492	293	199	41	11	510	320	190	47
5	460	245	215	36	12	524	297	227	40
6	475	245	230	41					

乳 児 院

施 設 名	所 在 地	経 営 主 体	収 容 者			職 員		
			総数	遺棄	その他	総数	男	女
広島市乳児院	宇 品 町	市 営	20	1	19	10	2	8
広島乳児院	若 草 町	私 営	9	2	7	6	1	5

児 童 相 談 所

児童福祉法に基き、昭和23年4月市内基町に県立児童相談所が設置され、児童福祉に関するすべての相談に応じ、児童とその家族につき必要な調査及び医学的・心理的・教育的・社会的並びに精神衛生上の判定、指導が行われ、その結果特別児に対しては、一時保護をなし、または児童福祉施設への入所、里親及び保護受託者への委託が行われている。一方家庭においてはケースワークを行う等、各種の相談指導がなされている。戦災後特に本市に多かつた戦災孤児はその跡を絶つたといふものの、なお相当数の常習的浮浪児がいるといわれている。最近深刻なる貧富の差により家出児及び養育不能の児童はむしろ増加の傾向にあり、児童の犯罪件数は客観状勢の安定に伴つて漸次減少しているが、質的には悪化し指導快復の困難性を増している。

相談指導件数

（県児童相談所調）

年 別	総 数	男	女
昭 和 2 5 年	1,384	1,071	293
“ 2 6 “	1,565	1,314	251
“ 2 7 “	1,057	814	243

備考 昭和27年の減少は取扱範囲が縮小したためである。

児童取扱件数(昭和27年中)

区 分	月 別	総 数		1月～2月		3～4		5～6		7～8		9～10		11～12	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総 計	数	1,057	814	243	243	129	44	160	33	155	47	131	38	98	33
保護者相談	数	377	241	136	136	67	23	42	21	50	25	27	22	20	14
養教適	数	171	97	74	74	25	13	14	6	12	15	10	14	10	6
養教適	数	133	88	45	45	30	9	19	3	12	4	10	5	4	1
養教適	数	72	55	17	17	11	1	9	1	9	6	4	3	6	1
養教適	数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養教適	数	680	573	107	107	62	21	118	12	115	22	104	16	78	19
養教適	数	193	172	26	26	17	5	37	3	23	4	39	4	27	5
養教適	数	137	154	19	19	9	4	34	3	43	6	27	1	27	5
養教適	数	161	154	21	21	7	3	37	1	38	1	18	1	14	7
養教適	数	80	48	32	32	7	6	4	2	6	6	12	6	8	1
養教適	数	15	8	7	7	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1
養教適	数	8	2	6	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養教適	数	5	2	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養教適	数	24	18	6	6	7	1	4	2	2	3	4	2	1	1

一時保護所に收容した児童数(昭和27年中)

区 分	月 別	総 数		1月～2月		3～4		5～6		7～8		9～10		11～12	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
取 容 児 童 数	数	694	572	122	122	76	25	92	18	117	25	92	25	80	18
取 容 延 入 員	数	8,463	7,006	1,457	1,457	1,039	231	1,126	196	1,334	339	1,278	301	835	190
一人平均取扱日数	日数	12.2	12.2	11.9	11.9	14.3	92	12.2	10.9	11.4	13.6	13.9	12.0	10.5	10.6

市内取扱件数(昭和27年中)

性 別	区 分	児童取扱 件 数	収 容 児 童 数				
			総 数	養護施設	教 護 院	乳 児 院	精神児施設
總 数		378	79	52	13	12	2
男		255	55	35	12	7	1
女		122	24	17	1	5	1

民生事業

養老院(喜生園)

在米同胞の寄附並びに国庫補助により、昭和26年4月広島県佐伯郡観音村に養老施設として喜生園を新設した。現在男27名、女63名、計90名を収容しているがその平均年齢は74才となっている。この施設は近代的設備のもので、特に山趣、海望の自然環境に恵まれ、中国地方におけるモデル養老院となっており、昭和26年秋天皇、皇后両陛下もここに行幸啓せられた。

喜生園収容状況(昭和27年中)

(社会課調)

月 別	区 分	前月越人員		入 園		退 園		死 亡		差引現在員	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1 月		22	54	—	2	—	1	—	1	22	54
2		22	54	4	6	—	2	—	—	26	58
3		26	58	2	2	—	—	1	—	27	60
4		27	60	1	5	1	3	—	—	27	62
5		27	62	—	—	—	3	—	1	27	58
6		27	58	—	1	—	1	—	—	27	58
7		27	58	—	5	—	2	—	—	27	61
8		27	61	—	—	1	1	—	1	26	59
9		26	59	—	1	1	1	—	—	25	59
10		25	59	3	1	—	—	—	—	28	60
11		28	60	1	4	—	—	1	—	28	64
12		28	64	—	—	—	—	—	—	28	64

保養院外來患者利用状況（昭和27年中）

区 分	利 用 件 数							患者取扱数		
	総 数	薬	注射	診療	処置	健保	手数	総 数	男	女
件 数	7,404	2,741	2,041	1,271	930	399	22	4,027	1,600	2,427

保養院收容患者（昭和27年中）

区 分 性 別	延收容人員	死 亡	退 院	年末現在員
総 数	4 2 1	1 3	2 3	3 2
男	1 4 3	5	4	1 1
女	2 7 8	8	1 9	2 1

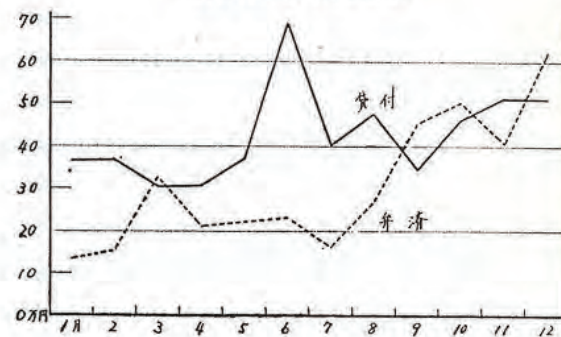
隣保館利用状況（昭和27年中）

区 分 利 用 別	東 隣 保 館				西 隣 保 館			
	利用 回数	利 用 人 員			利用 回数	利 用 人 員		
		総 数	男	女		総 数	男	女
総 数	970	20,817	8,685	12,132	959	66,620	34,611	32,009
トラホーム治療	238	3,824	1,529	2,295	35	4,752	1,952	2,800
検診及び予防注射	14	1,507	621	886	1	157	84	73
簡易治療その他	249	819	401	418	—	—	—	—
成人教育講座	46	1,398	58	1,340	—	—	—	—
青少年奨学指導	147	6,353	2,952	3,401	247	23,489	12,472	11,017
図 書 閱 覧	145	864	352	512	219	22,304	10,342	11,962
生 活 相 談	68	68	36	32	355	355	175	180
音楽会、映画会	11	4,500	1,920	2,580	23	7,965	4,630	3,285
保 育 講 演 会 そ の 他	12	391	38	353	—	—	—	—
町内団体集会	28	612	575	37	74	7,598	4,906	2,692
貯 金 奨 励	12	481	203	278	—	—	—	—

公 益 質 屋

本市では小額所得者の金融機関として、東・西（稲荷町、天満町）2カ所に公益質屋を設置している。最近生活難を反映して利用者が激増しており、これら利用者を職業別にみると俸給生活者が全体の52%商業23%労働者5%其の他20%となっている。現在の資金は1カ所月平均50万円以内で貸付を行っている。貸付額は1口1千円、1世帯5千円以内利率月3分流質期限は4カ月である。

公益質屋貸付返済状況



区分 年月別	東 公 益 質 屋				西 公 益 質 屋			
	貸		付		貸		付	
	件数	質物点数	金額	金	件数	質物点数	金額	金
昭和26年	950	1,935	657,800	199,800	709	1,965	655,940	369,225
" 27 "	1,878	7,368	2,895,700	2,389,800	1,782	6,197	2,197,270	1,286,340
1 月	230	533	179,200	65,700	148	553	184,750	63,450
2 月	189	574	203,000	78,300	146	491	163,530	77,500
3 月	121	394	150,000	149,750	141	454	151,650	75,200
4 月	75	332	183,000	210,150	100	343	119,700	900
5 月	124	555	236,150	215,450	107	410	134,300	5,200
6 月	178	922	343,750	209,000	227	821	343,850	19,400
7 月	137	588	221,700	77,800	133	493	179,550	83,500
8 月	134	628	278,300	187,500	153	572	195,300	72,950
9 月	118	433	173,500	165,750	167	454	163,240	288,700
10 月	182	725	276,500	378,050	165	585	183,500	123,450
11 月	196	843	330,500	251,850	143	527	182,500	152,290
12 月	194	781	319,500	399,500	141	494	190,350	218,800

診療所利用状況 (昭和27年中)

施設名	所在地	総 数		初 診		注 射		薬 価		処 置		手 数		料 金	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
東診療所	尾長町	13,865	578,016	940	18,880	5,035	326,524	4,148	148,124	2,865	63,043	877	21,445		
西診療所	福島町	16,559	630,253	2,636	54,760	3,854	250,762	6,166	271,676	3,093	74,942	805	23,113		

遺 家 族 援 護

昭和27年4月30日公布になつた戦傷病者、戦没者遺族等援護法による旧軍人、軍属並びに原爆犠牲者の援護を昭和27年6月より実施している。

戦没者遺家族援護 (昭和27.12.1現在)

(社会課調)

区 分	人 員	総 数	陸 軍	海 軍
総 数	人	7,367	5,932	1,429
在 籍 者	人	5,186	4,259	927
入 寄 出 者	人	2,175	1,673	502

原爆犠牲者援護 (昭和27.12.1現在)

区 分	人 員	総 数	男	女
総 数	人	6,826	3,115	3,711
徴 用 工	人	348	348	—
女子挺身隊	人	292	—	292
勤 労 学 徒	人	3,800	1,630	2,170
国民義勇隊	人	2,386	1,137	1,249

遺族相談件数 (昭和27年6月～12月)

種 別	月 別	総 数	6 月	7	8	9	10	11	12
総 数		6,575	1,324	3,567	193	368	387	324	478
年金受給権について		1,224	260	755	30	43	63	41	27
年金請求手続について		1,305	259	745	34	56	83	54	74
弔慰金受給権について		1,960	405	1,030	88	96	113	104	124
弔慰金請求手続について		1,872	395	1,028	31	146	66	72	134
障害年金について		144	3	2	4	14	32	42	47
家庭内紛争について		70	2	1	6	13	25	11	12

年月別	区 分	總 計	医 療 扶 助	生 活 扶 助	教 育 扶 助	住 宅 扶 助	葬 祭 扶 助	出 産 扶 助	生 業 扶 助
昭和 25年	世帯数 人 員	72,672 155,214 117,226,726	18,784 19,344 67,888,090	27,332 76,073 42,699,031	15,195 30,144 5,153,452	11,099 29,391 1,005,233	155 155 292,579	74 74 99,465	33 33 99,000
"	"	75,128 160,839 168,596,901	17,123 18,050 106,381,354	29,959 80,799 51,123,353	13,917 28,553 8,245,741	14,077 33,309 2,375,799	84 84 380,525	32 32 64,054	12 12 46,075
1 月	"	6,291 83,834 8,240,289	1,275 1,420 3,091,133	2,633 7,093 4,440,920	1,201 2,483 572,994	1,166 2,822 103,042	8 8 15,200	6 6 6,000	2 2 6,000
2	"	6,351 13,954 10,657,693	1,301 1,445 5,449,557	2,631 7,133 4,472,299	1,200 2,484 559,312	1,200 2,873 135,715	11 11 20,900	4 4 6,910	4 4 12,000
3	"	6,431 13,951 12,810,619	1,353 1,418 15,641,463	2,636 7,135 5,392,853	1,205 2,489 1,500,821	1,213 2,894 169,832	10 10 84,500	4 4 19,650	— — 1,500
4	"	6,525 14,138 12,533,365	1,412 1,495 7,496,730	2,651 7,190 4,415,201	1,228 2,541 395,780	1,221 2,908 210,518	10 10 18,136	1 1 2,000	2 2 —
5	"	6,559 14,195 14,939,870	1,455 1,541 14,205,460	2,657 7,197 223,407	1,211 2,511 471,697	1,234 2,935 5,102	9 9 27,296	2 2 3,910	— — 3,000
6	"	6,706 14,399 14,740,339	1,537 1,620 4,845,424	2,692 7,269 8,506,874	1,229 2,549 850,999	1,244 2,957 491,557	3 3 37,400	1 1 1,500	— — 6,535

7	{	6,512 13,653 9,404,974	1,505 1,587 3,635,677	2,648 6,843 4,561,540	1,188 2,469 859,928	1,164 2,748 250,029	2 2 32,800	2 2 4,000	2 2 12,000
8	{	6,352 13,359 14,519,005	1,458 1,505 12,231,962	2,564 5,704 1,633,018	1,179 2,435 451,502	1,148 2,711 74,673	3 3 74,850	— — —	— — —
9	{	6,109 12,799 23,501,961	1,338 1,440 15,896,022	2,394 6,308 6,302,733	1,175 2,372 994,344	1,133 2,665 279,021	6 6 16,727	7 7 11,124	1 1 1,990
10	{	5,665 12,070 13,601,034	1,411 1,465 10,462,656	2,133 5,947 2,486,317	1,020 2,052 455,013	1,093 2,602 187,548	2 2 4,000	2 2 4,500	— — —
11	{	5,799 72,252 9,827,068	1,472 1,521 4,519,178	2,162 5,994 4,309,443	1,040 2,090 731,577	1,103 2,630 228,794	14 14 32,115	2 2 2,960	1 1 3,000
12	{	5,817 12,235 13,815,684	1,544 1,601 8,833,092	2,153 5,935 4,328,748	1,035 2,078 401,774	1,073 2,564 233,970	6 6 16,600	1 1 1,500	— — —

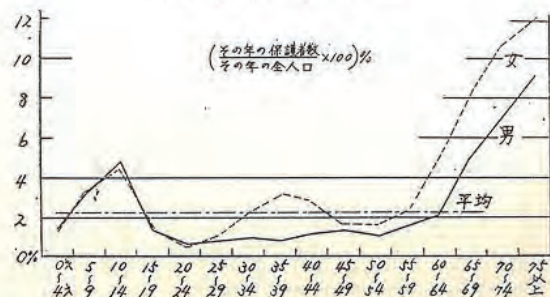
行旅病人、行旅死人

種 別 年 別	行 旅 病 人							行 旅 死 人						
	越 人 員	新 救 護 員	処 置				現 在 人 員	総 数	変 死	溺 死	い 死	病 死	凍 死	そ の 他
			総 数	解 放	死 亡	引 渡								
昭 和 2 5 年	30	89	65	51	14	—	54	30	14	4	2	4	1	5
" 2 6 "	54	48	57	50	7	—	45	33	16	7	4	1	—	10
" 2 7 "	45	38	50	41	9	—	33	15	9	1	—	—	—	5
男	30	26	33	31	7	—	18	13	7	1	—	—	—	5
女	15	12	12	10	2	—	15	2	2	—	—	—	—	—

男女年令階級別被保護者数 (昭和27.10.1現在)

年 令	総 数	男	女	年 令	総 数	男	女
總 数	6,697	2,817	3,880	オ ー 40~44	352	107	255
0才~4才	534	304	280	45~49	212	96	116
5~9	1,057	543	509	50~54	172	66	106
10~14	1,228	653	575	55~59	173	69	104
15~19	421	217	204	60~64	235	67	168
20~24	180	98	82	65~69	323	103	225
25~29	235	104	181	70~74	335	101	235
30~34	337	102	285	75以上	310	95	215
35~39	427	87	340				

年 令 別 保 護 率



身体障害者更生援護取扱件数

区 分	総 数	身体障害	視力障害	聴力障害	言語障害
手帳交付数	1,243	671	353	205	9
運賃割引証交付数	1,367	590	576	205	6
総 数	2,016	1,214	422	378	2
更生指導	549	284	126	139	—
生活指 導	215	167	21	27	—
職業指 導	143	88	24	31	—
租税保 護	135	86	37	13	—
補装具等交付(修理)	96	33	55	8	—
施設入所	22	21	1	—	—
専売店	5	5	—	—	—
その他	1	1	—	—	—
計	849	529	153	160	2

備考 補装具等交付(修理)欄に要した経費は351,431円である。また児童福祉法に関する12件を含んでいる。

募 金 成 績 (昭和26年度)

(社会課調)

種 別	目 標 額	達 成 額	達 成 率
共 同 募 金	3,908,549 円	3,919,415.13 円	101 %
赤 十 字 募 金	1,760,720	1,509,208.23	85.7

配 分 状 況 (昭和26年度)

配 分 先	共同募金配分額	配 分 先	共同募金配分額
総 額	1,350,012 円	尾長町協和会	15,000 円
保 育 園	655,000	帰還促進連盟	35,000
福島町一致協会	20,000	未 亡 人 会	35,000
身体障害者福祉協会	30,000	社会福祉協議会	320,000
民生委員連盟	140,012	少年保護司会	30,000
遺族更生連盟	30,000	成人保護司会	20,000
保 育 連 盟	20,000		

國民政府教育部呈請立案

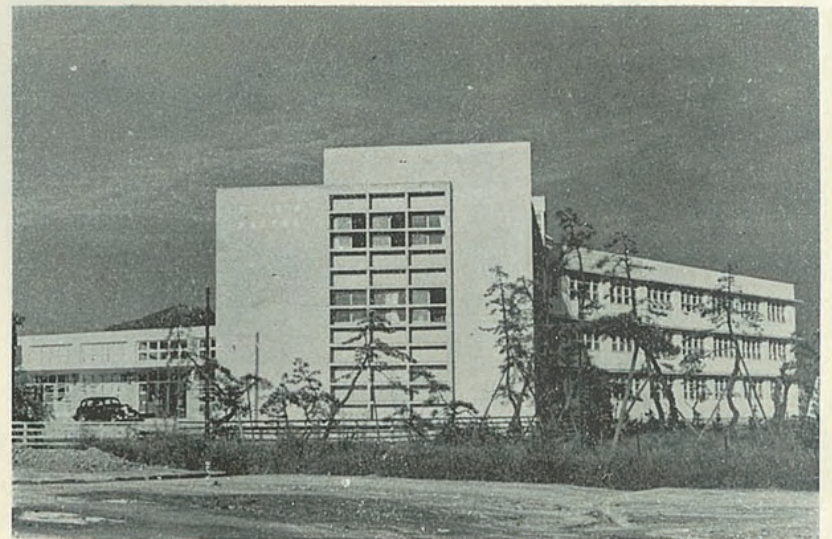
主編 謝 榮 編S1部

第12編 保健衛生

市立中央図書館



広島市保健所



社会保険広島市民病院



蚊とはえ駆除状況



狂犬病予防注射風景

概要

平和記念都市の性格として、まず何よりも市民の一人一人が健康でなければならない。戦前極めて低かつた衛生道徳及び知識も、戦後7年を経た今日でいづれも逐次向上しつつある。ちなみに戦前非常に高率を示した死亡率も昭和22年には人口1千人に対し11.4人、昭和25年 8.26人、昭和27年には7.2人と減少を示しつつある。これは占領の影響によることも考えられるが、個人個人が深く衛生思想に目覚めて来た結果であろう。

市内の医療関係施設も次第に整備充実され、かねて懸案の社会保険広島市民病院もこの年開院せられた。また昭和26年不慮の災害により焼失した市保健所も再建され公衆衛生の中核機関として活発な活動を始めるなど、市民の健康管理に着々成果を挙げている。

医療機関

(保健所調)

病院	診療所	歯科診療所	薬局	医薬品販売業者	助産所	施術所	理容所	美容所
44	237	151	135	390	73	297	366	221

医療機関従事者

医師	歯科医師	薬剤師	保健婦	助産婦	看護婦	レントゲン技術者	栄養士	医療類似行為者	理容師	美容師
517	191	300	123	545	1,121	82	31	405	782	578

衛生指導及び教育

衛生思想の普及及び知識の向上を図るために、講習会・座談会・夕燈会あるいは衛生教育の資料貸出し等、あらゆる方法により機会のある毎に、市民及び各種団体に積極的に呼びかけている。

妊産婦届出状況 (衛生課調)

区分	年次昭和25年	"26年	"27年
妊婦届	7,015人	6,371人	6,077人
産婦届	37	46	44

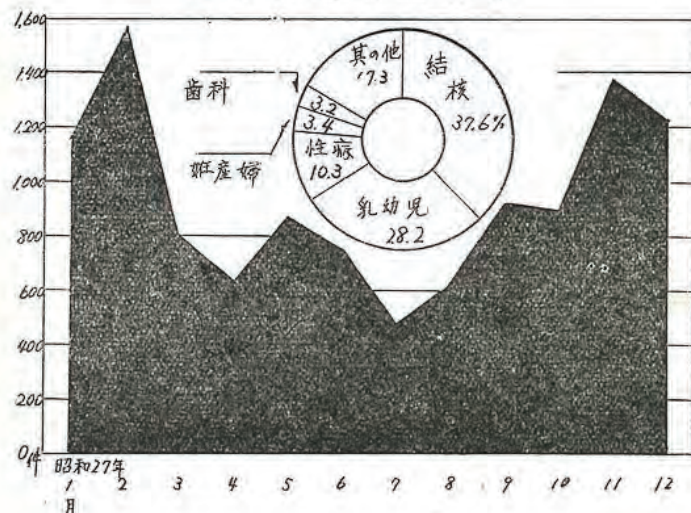
衛生教育実施状況

講演会	講習会	映画会	展示会	資料貸出	印刷物頒布
90回	47回	35回	12回	14種類 51回	7種類 13,390枚

保健婦取扱件数

種 別	結 核	性 病	歯 科	妊産婦	乳幼児	その他	合 計
栄 養 相 談	1,159	—	—	204	2,276	94	3,733
健 康 相 談	4,255	1,165	365	336	3,189	1,955	11,316
家 庭 訪 問	40,779	70	—	55	594	127	41,615

月 別 健 康 相 談 件 数



医療社会事業取扱件数

使用料等 減 免	生活保護法 適用 斡旋	社会保険 適用 斡旋	関係施設 との連絡	接 触 者 検診 勧奨	治療継続 勸 奨	医療調査及 び生計指導	合 計
103	23	1	88	33	61	60	374

保健所における各種試験検査状況

細 菌 学 的 検 査 件 数						血 清 学 的 検 査 件 数				食 試 品 衛 生 験	水 試 質 験	臨 理 床 試 験
腸管系 伝染病 病原菌	結核菌	淋 菌	寄生虫 及 び 原 虫	その他	計	梅毒 反 応	ダイダー 反 応 その他	計				
3,205	422	552	1,183	271	5,644	15,549	158	15,707	674	123		446

予 防 事 業

伝染病の予防対策については、特に意を用いているが、中でも逐年全国的に増加の傾向にある赤痢の予防対策に重点を置いている。

次に結核の予防対策については、結核予防法による健康診断、並びに予防接種を年に2回実施している外、特別患者に対しては、治療費の公費負担等の諸対策を講じているが、何んと言つても結核病床の不足が予防対策上の障害となつていないことは否定できない。

予防接種状況

腸チフス パラチフス	種 痘	ジフテ リア	百日咳	発しん チフス
84,917人	11,117人	15,309人	9,509人	—人

防疫調査指導件数

検 疫 戸口調査 (患者)	検疫戸口 調査 (患 家附近)	防疫措置 指導	防疫措置 実施
576	6,475	—	576

狂犬病予防状況

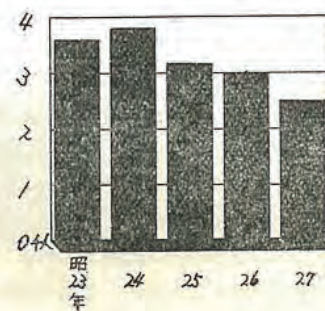
登 録 数	予防注射実施	捕 獲 犬 の 処 置			人 的 被 害
		捕 獲 数	返 還	処 分	
6,250	8,002	5,067	1,044	3,821	403

結核予防法による、健康診断並びに予防接種状況

健 康 診 断

ツベルクリン反応検査	3,539人
レントゲン間接撮影	14,493人
精 密 検 査	1,327人
予防接種 (B.C.G)	1,783人

結核患者年別発生状況 (届出分)



食 品 衛 生

食品衛生法が施行されて5年になる今日、ようやく一般家庭、関係業者共に食品衛生に関する知識は、幾分かは向上したがまだまだ総体的にみて低調の域にあり、市では衛生監視員を総動員して、指導取締りに懸命の努力を払っている。

食品業種別営業許可件数

(保健所調)

飲 食 店	喫 茶 店	氷菓子製造業	食肉販売業	魚介類販売業	氷雪販売業	合 計
870	331	57	118	251	17	1,694

食品及び乳肉衛生

食品衛生監視箇所数	牛乳関係採店検査	屠畜検査
7,465	661	17,796

食中毒発生状況

(保健所調)

発生日月	り患者数	死亡者数	原因食品	原因物質
3月10日	4	—	フグ	テトロドキシン
3月17日	2	—	〃	〃
4月20日	5	—	アカエイのキモ	〃
5月29日	3	—	〃	〃
合 計	14	—		

清 掃 事 業

市内1日のじんかい・し尿の排出量は、じんかい3万貫、し尿1,700石(何れも推定)で、これに対し現在設備による処理能力は、じんかい40%(12千貫)し尿26%(123石市)の汲取り目標は1,700石の内470石)という状態であり、これらを完全処理するためには、大体貨物自動車13台、自動三輪車38台、手引車64台、作業員(清掃夫)215人をそれぞれ必要とするが、今日の市の財政では、早期解決は困難である。

一方市では、蚊やえを徹底的に駆除するために、モデル衛生都市建設本部を設け、明るい健康都市建設にまい進している。

清掃作業設備状況

(衛生課調)

作 業 別	貨物自動車	三輪自動車	手引車	船 舶	作業員	備 考
じんかい処理	3台	19台	9台	3隻	76人	船舶3隻の内2隻は借船
し尿汲取	2	3	—	1	20	

じんかい処理状況

しゅう集延人員	しゅう集延戸数	搬出量(貫)	備付じんかい箱
18,137	1,601,431	2,393,210	48,567

し尿処理状況

しゅう集延人員	延 戸 数			処 理 数 量 (石)		
	無 料	有 料	計	無 料	有 料	計
2,423	1,004	4,628	5,632	52,310	55,056	107,366

備考 無料は、公共造営物及び災害浸水家屋の処理を示す。

こん虫駆除薬剤使用状況

(保健所調)

消 毒 箇 所	件 数	面 積	使用薬剤名及び数量				
			D.D.T 油 剤	D.D.T 粉 剤	除虫菊 乳 剤	テリゾン	クレンジール
社会事業施設	163	161,267 平方米	ガロン 430	延 332	立 —	立 97	立 182
公衆便所	597	10,475	77	—	—	12	—
下水	462,040 米	275,804	454	457	2,343	—	—
沼及び野蠻	7,921	46,445	56	245	15	—	—
じんかい集積所	13,434 人	104,475	131	792	—	193	—
人体撒布	8,727	—	—	909	—	—	—

衛生統計

人工妊娠中絶及び精神障害者収容取扱件数

(保健所調)

月別 区分	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
人工妊娠中絶	179	183	164	136	119	—	—	—	—	—	—	—	781
精神障害者	3	2	2	—	2	7	4	8	8	8	2	8	54

備考 広島市内で取り扱ったものである。

年令別死亡者数

年令別 性別	合計	0才 4才	5 9	10 14	15 19	20 24	25 29	30 34	35 39	40 44	45 49	50 54	55 59	60 64	65 69	70 74	75 79	80 84	85 以上
男	1,147	211	37	10	18	43	58	44	45	48	61	62	100	87	87	93	73	48	22
女	1,058	172	21	16	20	41	40	38	46	45	52	41	52	65	85	113	92	72	47
計	2,205	383	58	26	38	84	98	82	91	93	113	103	152	152	172	206	165	120	69
百分比	100%	17.4	2.6	1.3	1.7	3.8	4.4	3.7	4.2	4.2	5.1	4.7	6.9	6.9	7.8	9.3	7.5	5.4	3.1

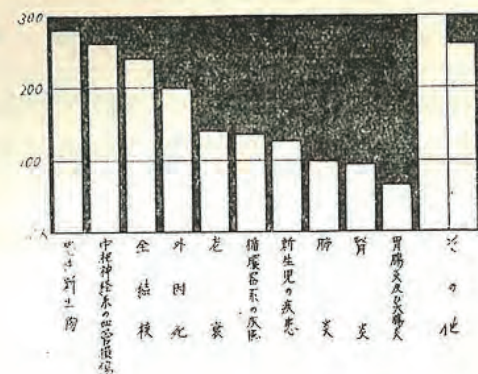
備考 広島市内で発生した日本人の死亡数である。

死因別死亡順位

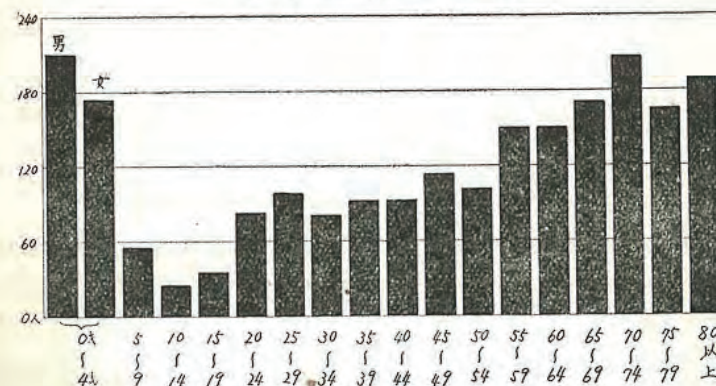
順位	死 因	死亡数	百分比	順位	死 因	死亡数	百分比
(3) 1	悪性新生物(がん等)	281	12.7%	(8) 7	新生児の疾患	127	5.8
(4) 2	中枢神経系の血管損傷 (脳溢血等)	262	11.9	(9) 8	肺 炎	98	4.4
(1) 3	全 結 核	241	10.9	(10) 9	腎 炎	94	4.3
(2) 4	外 因 死	203	9.3	(6) 10	胃腸炎及び大腸炎	66	3.0
(5) 5	老 衰	133	6.2		そ の 他	558	25.3
(7) 6	循環器系の疾患	137	6.2		合 計	2,205	100.0

備考 順位の()内は、昨年の順位を示す。

原因別死亡者数



年令別死亡者数



死亡者埋火葬許可取扱件数

(衛生課調)

月別 区分	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
死 産	83	99	82	84	76	84	80	81	86	97	90	87	1,029
死 亡	219	212	227	167	155	154	180	165	173	182	159	194	2,187
合 計	302	311	309	251	231	238	260	246	259	279	249	281	3,216

原爆死没者の遺体発掘処理状況

今日市内の各所において、原爆死没者の遺体が発見されているが、これらはその当時仮埋葬され、そのまま放置されていたもので、市ではこれを発掘処理し、中島公園内にある戦災供養塔に合している。

(衛生課調)

発掘月日	発掘場所	発掘数	発掘月日	発掘場所	発掘数
昭和27年 7月4日	宇品町金輪島岩鼻	22	昭和27年 8月4日	西瀬屋町神垣工業敷地内	1
" 7月29日	千田町/丁目旧山中高女跡	40	" 11月7日	二葉の里二葉山山中	4
" 7月31日	広瀬北町広瀬神社境内	1			
" 8月1日	尾長町西山根	77	合計		145

と殺頭数

月別 区分	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
牛	654	713	713	650	590	741	925	1,007	853	888	719	1,242	9,695
こうし	24	32	49	63	37	42	67	56	71	74	65	133	723
馬	31	109	103	103	70	105	180	163	137	116	84	152	1,358
豚	315	339	414	332	425	425	495	511	591	481	603	1,052	6,048
羊	—	—	1	—	1	—	—	—	—	3	—	—	5
合計	1,024	1,193	1,280	1,218	1,113	1,313	1,667	1,737	1,652	1,562	1,476	2,594	17,829

傳染病

市内唯一の傳染病院である舟入病院は、現在86病床を有しその内完全床は、53床である。(53床の内20床は本年内に改造)

ここ、数年間の、傳染病患者の発生状況をみると、年々増加している状態で、特に本年は昨年に比し、約2倍という激増振であるが、この主因は三菱造船所社宅内において、赤痢患者が集団発生したためである。

舟入病院患者収容状況

病種別	前年からの収容人員	本年内の収容人員	転帰		未治	治療延日数	収容人員に対する死亡率	1人平均治療日数
			治療	死亡				
腸チフス	人	人	人	人	人	日	%	日
バチチフス	1	25	22	2	2	702	7.7	27.0
赤痢	1	9	10	—	—	203	0	20.8
赤痢	4	390	391	2	1	6,043	0.5	15.3
疫痢	1	57	51	7	—	873	12.1	15.0

流 脳	—	2	2	—	—	82	0	41.0
日 脳	—	11	8	3	—	268	27.3	24.3
デフテリヤ	3	45	43	3	2	562	6.2	11.7
猩紅熱	1	8	9	—	—	162	0	18.0
合 計	11	547	536	17	5	8,900	3.0	15.9

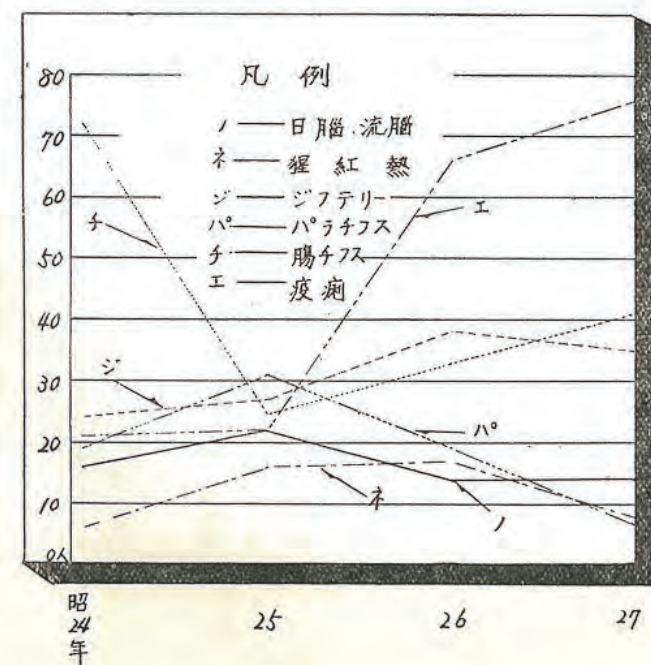
年別傳染病患者発生状況

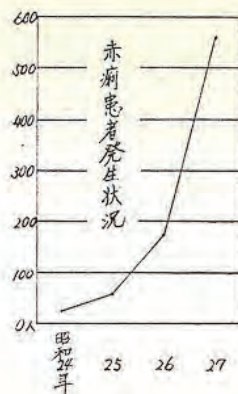
(保健所調)

病種別 年別	日 脳	流 脳	猩紅熱	デフテリヤ	赤 痢	疫 痢	腸チフス	バチチフス	合 計
昭和24年	11	5	6	24	24	21	72	19	182
" 25"	16	6	16	27	59	22	25	31	202
" 26"	7	7	17	33	176	65	33	19	363
" 27"	11	3	8	35	553	76	41	7	739

備考 昭和26、27年の赤痢及び疫痢の中には保菌者を含んでいる。

年別傳染病発生状況





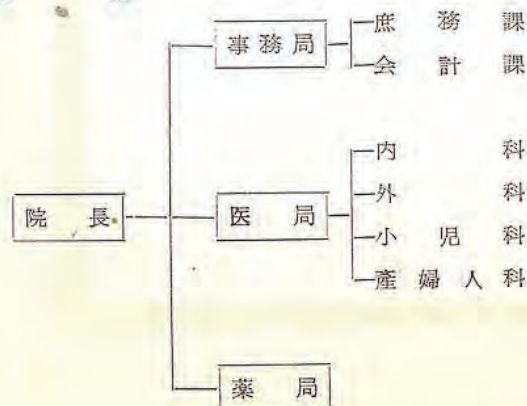
社会保険広島市民病院

社会保険（健康保険）病院、診療所は現在全国に63カ所設置され、それぞれ社会保険診療の向上発展に貢献をしているが、本県内にはこの種病院は1カ所もなく、従つて早くから関係事業主、被保険者はもちろん、一般市民からもこの病院の設置につき、当局に対し強い要望が行われていたが、この要望は昭和26年ついに実現の運びとなつた。

すなわち、昭和26年度第1・2期工事予算として、中央より5,100万円の示達があつたので直ちに市内基町（旧西練兵場 5,400坪）に建設の準備に取りかかった。越えて本年再び中央から2,000万円の予算示達を受け、附属病棟等の建設に着工し、8月15日取りあえず内科・外科・小児科・産婦人科の4科で開院し、目下総合病院完成を目標に努力を続けている。

なお開院後患者数は逐日増加の一途をたどり、1/25の病床はすでに満床の状態である。

機 構



診 療 科 目

内 科	外 科	小 児 科	産 婦 人 科
-----	-----	-------	---------

医療器具等の設備状況

1 診 療 室

各科専門に診療室を設け、必要な機械器具等は完備している手術室は二重窓とし、窓には防虫のため金網を張り、中央部に手術台を設け、無影燈を備え、準備室・手術・消毒室を附設している。

2 試験検査室

遠心沈でん器、顕微鏡、ふ卵器、その他必要なる器具試薬類を備えている。

3 X 線 装 置

X線1,000ミリ及び100ミリのレントゲン、断層撮影器、治療器、30ミリポータブルを設置している。

4 調 剤 室

二方窓とし採光、換気を十分にとり、感量0.1ミリグラムの化学天びん、その他各種天びん等を完備し冷蔵設備も整っている。

5 そ の 他

消毒、給食、給水、暖房、洗濯等の設備を有する。

患者利用状況

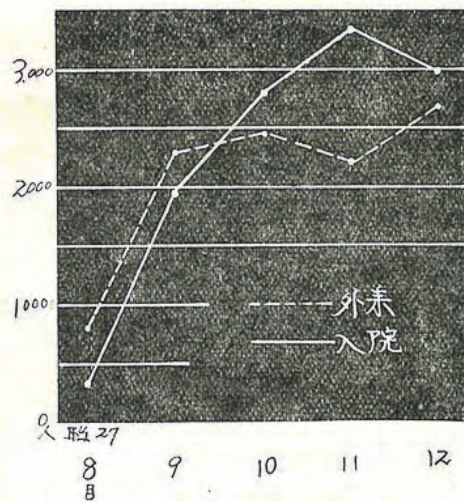
（市民病院調）

月 別	管 掌 区 分	管 掌 別					生 活 保 護 法	一 般	合 計
		政府管掌 健康保健	組合管掌 健康保健	共済組合	生活保護法	一般			
8 月	外 来	173	95	103	43	336		805	
	入 院	103	77	81	—	73		334	
9	外 来	630	321	278	57	965		2,301	
	入 院	484	282	470	394	325		1,955	
10	外 来	693	513	305	126	851		2,488	
	入 院	634	319	456	722	638		2,819	
11	外 来	713	400	306	133	642		2,194	
	入 院	731	410	854	975	330		3,350	

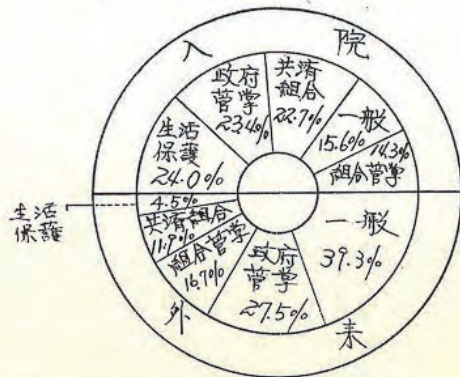
12	外	来	624	425	253	117	1,272	2,691
	入	院	677	545	738	659	372	2,991
合 計	外	来	2,883	1,754	1,250	476	4,116	10,479
	入	院	2,679	1,633	2,599	2,750	1,788	11,449

備考 8月15日開院 / カ月間の延人員である。

月別利用状況(延人員)

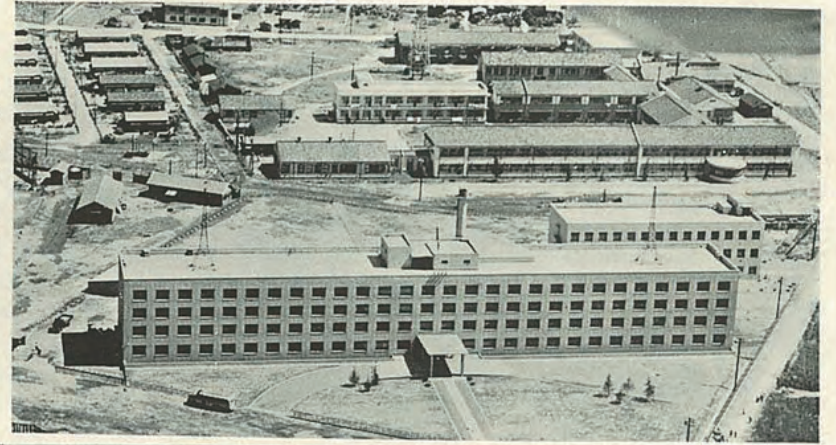


患者利用状況(管掌別)



第13編 運輸、交通

広島鉄道管理局



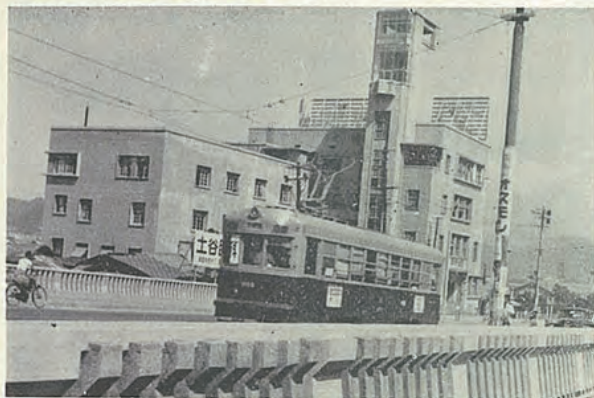
広島駅前



荒神橋附近



市内の交通機関



市内電車



電鉄バス(青バス)



広島バス(赤バス)

概要

◎国有鉄道

市内には、山陽本線並びに各支線合せて12の駅があり現在1日平均延9万6千人が汽車を利用しているが、ここ数年来利用者の状況をみると、利用者は年々減少の一途をたどりつつある。この主要原因は、バスの飛躍的進出に伴い乗客のバス移行の結果と思われる。ちなみにこれを昨年に比較してみると乗客数において5%、降客数においては4.3%とそれぞれ減少している。なおこの年9月国鉄広島鉄道管理局新庁舎が市内二葉の里(広島駅北側)に落成し二葉山の翠緑を背景に堂々たる一偉観を加えた。

◎電車

○郊外線=広島電鉄株式会社経営による郊外電車(宮島線)戦後の利用者状況をみると汽車と同じ様利用者は減少を示している。現在1日平均延24,550人が利用しており昨年に比べると約50人の減少となつている。今日この線に沿ひ5社のバスが、それぞれ乗客の争奪に躍起になつており、これまた乗客をバスに食われたことが主因と思われる。

○市内線=同じく広島電鉄株式会社の経営により延長19軒の区間を運転している。本年度1日平均の運転延台数は84台、走行延軒数13,157軒、乗客数101,600人となつている。この年6月市内線の中、八丁堀・白島間の白島線(複線)が戦災後7年振りで復活開通した。次に市内電車乗客数推移をみると戦後2.3年は増加していたが昭和23年を頂点に以降は漸次下向きになつている。

◎バス

汽車、電車の乗客減に引替えバスの躍進振りは目覚ましく、本年度に新たに1社が乗り入れ都合9社のバスがしのぎを削っている。今後も更に乗り入れの機運があり早くも戦前の盛況をはるかにしのぎまさにバスの黄金時代とでも言うべき状況である。地元2社だけの乗客数をみても昨年に比し本年は約2割方増加している。

◎タクシー

市内並びに近郊にかけてタクシーの発達は顕著なものとあり、現在市内に所在する営業会社は10社(自動車数約200両)で市民は日常気軽にこれを利用出来るようになった。

◎船舶

広島港を基点とする四国、九州、各島との航路が発達しており、交通極めて便利である。(港湾編に詳述)

鉄 道
国鉄駅別乗降人員

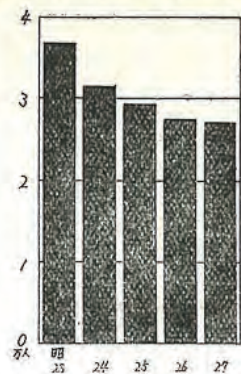
(広島鉄道管理局調)

種別	月別	線別							
		山 陽 本 線				芸備線	可部線		
		広 島	横 川	己 斐	向 洋	矢 賀	三 滝	大洲口	
乗 車 人 員	1月	800,860	191,065	65,114	132,811	25,159	7,251	18,764	
	2	742,406	172,984	61,457	124,074	23,447	7,063	16,803	
	3	830,404	189,787	70,455	130,632	22,957	7,930	16,918	
	4	850,195	199,825	74,782	132,553	33,127	7,795	17,188	
	5	907,941	211,542	76,617	137,692	23,741	8,116	19,695	
	6	840,118	191,075	71,039	130,435	22,111	7,016	18,699	
	7	833,249	202,137	68,411	132,854	22,633	7,157	18,654	
	8	855,942	201,901	70,899	125,352	16,355	6,703	17,734	
	9	811,273	199,331	65,734	129,477	18,633	7,452	19,703	
	10	861,149	192,209	74,863	133,831	20,592	8,332	20,883	
	11	824,145	191,635	70,253	137,513	18,950	8,973	18,718	
	12	829,922	192,429	73,140	139,896	18,165	8,498	16,500	
計		9,993,604	2,335,973	844,815	1,592,185	265,936	92,306	220,269	
降 車 人 員	1月	713,221	182,965	65,914	133,117	24,790	7,453	18,547	
	2	655,799	165,691	62,119	124,355	23,057	7,297	16,793	
	3	736,404	181,503	71,934	131,075	22,471	8,303	17,024	
	4	754,300	190,173	76,291	132,576	22,453	8,250	17,147	
	5	810,460	202,797	79,192	133,614	23,355	8,436	19,916	
	6	725,045	185,749	74,677	131,335	22,005	7,299	18,555	
	7	761,378	196,194	70,159	133,895	22,526	7,432	18,430	
	8	777,183	193,957	73,002	126,218	15,737	6,833	17,653	
	9	741,865	175,318	69,843	130,786	18,505	7,621	19,552	
	10	773,935	187,829	79,443	140,043	20,160	8,523	20,790	
	11	747,103	187,103	73,780	133,789	18,432	9,303	18,557	
	12	743,845	185,434	77,394	141,118	17,823	8,777	16,757	
計		8,950,544	2,235,769	874,748	1,601,932	251,325	95,587	219,742	

種別	線別		宇 品 線					合 計	1 日 平 均
	月 別	駅別	南 段 原	上 大 河	下大河	丹 那	宇 品		
乗 車 人 員	1 月		23,404	110,121	28,821	29,022	39,493	1,472,901	47,513
	2		22,617	103,715	26,233	28,263	34,993	1,359,070	47,209
	3		21,251	115,307	23,188	28,057	35,807	1,498,724	43,346
	4		23,239	114,490	29,033	28,435	36,544	1,547,372	51,246
	5		29,179	128,095	33,341	31,314	37,399	1,644,672	53,054
	6		29,293	123,451	30,251	30,594	33,794	1,527,896	49,730
	7		27,714	120,450	31,349	32,332	37,348	1,539,293	49,655
	8		20,853	98,843	23,118	28,374	33,427	1,500,517	48,404
	9		26,853	103,174	25,774	29,932	36,709	1,481,150	49,372
	10		29,050	109,432	27,043	33,299	38,155	1,553,888	50,125
	11		27,232	100,391	29,754	29,169	33,924	1,490,703	49,690
	12		26,171	92,877	26,899	27,545	33,643	1,435,690	47,925
計		306,966	1,330,396	340,864	356,301	432,246	78,111,861	49,360	
降 車 人 員	1 月		23,674	111,778	29,793	30,205	28,971	1,371,434	44,240
	2		22,627	110,052	26,905	28,991	34,853	1,289,555	44,467
	3		21,970	116,253	29,149	28,893	34,551	1,399,550	45,147
	4		23,963	116,766	30,111	29,823	36,124	1,437,987	47,933
	5		29,633	129,763	34,272	32,391	33,415	1,547,305	49,913
	6		29,424	125,260	30,940	31,232	35,135	1,416,717	47,224
	7		27,885	121,854	32,038	32,922	39,303	1,464,065	47,228
	8		20,987	100,251	24,155	29,293	34,796	1,420,076	45,809
	9		26,935	109,916	28,057	30,599	35,930	1,395,927	46,531
	10		29,939	111,004	28,053	34,038	39,559	1,473,432	47,530
	11		27,793	102,250	30,833	29,906	34,677	1,418,546	47,235
	12		26,535	94,194	27,326	27,735	31,836	1,398,825	45,123
計		311,421	1,349,366	351,699	366,133	425,155	17,033,421	46,539	

備考 定期券利用者を含む。

広島駅における1日平均乗客数



広島駅における1日(時間別)の乗降者数(単位=人) (広島駅調)

乗降別	時間別	6時 まで	7	8	9	10	11	12	13
乗 者	定期	171	174	732	1,019	473	187	174	281
	定期外	569	136	810	616	1,235	157	1,079	1,579
	計	740	310	1,542	1,635	1,708	344	1,253	1,860
降 者	定期	125	267	7,402	4,337	619	493	176	187
	定期外	353	256	901	788	1,753	492	304	771
	計	478	523	8,303	5,675	2,377	985	480	958
合 計		1,218	833	9,845	7,310	4,085	1,329	1,733	2,818

乗降別	時間別	14	15	16	17	18	24 時 まで	合 計
乗 者	定期	142	712	4,467	5,482	618	2,637	17,319
	定期外	1,273	1,115	1,519	2,214	4,260	2,631	19,193
	計	1,415	1,827	5,986	7,696	4,878	5,268	36,512
降 者	定期	575	107	204	291	478	624	16,435
	定期外	323	238	359	464	517	1,784	9,303
	計	898	345	563	755	995	2,408	25,738
合 計		2,313	2,172	6,549	8,451	5,873	7,676	62,255

備考 3月15、16日の調査による。途中下車人員を含む。

広島駅における1日の乗換人員

山陽本線		呉線	藝備線	宇品線	合 計
上り	下り				
4.341	3.257	2.961	3.351	6.232	20.142

註 3月15、16日の調査による。

電車乗客数

(広島電鉄株式会社調)

線別 区分 年月別	市内線			市外線(宮島線)		
	乗 客 数	延 行 数	運 送 数	乗 客 数	延 行 数	運 送 数
	定期	定期外	合計	定期	定期外	合計
昭和21年	4,073,930	23,867,185	27,941,115	3,699,750	9,985,533	13,685,283
" 22 "	8,749,650	40,033,973	48,783,623	2,830,596	10,554,433	13,385,029
" 23 "	15,865,931	35,812,967	51,678,898	3,423,818	7,645,464	11,069,282
" 24 "	14,829,780	32,165,497	46,995,277	4,229,053	5,475,907	9,704,960
" 25 "	14,554,830	29,957,671	44,512,501	4,191,232	5,150,737	9,341,969
" 26 "	12,687,300	27,491,826	39,179,126	3,882,930	5,095,659	8,978,589
" 27 "	12,387,130	24,718,789	37,105,919	4,459,674	4,501,584	8,961,258
1月	1,098,300	1,900,321	2,998,621	363,720	347,744	711,464
2月	1,073,700	1,639,034	2,712,734	354,800	274,916	629,716
3月	907,440	2,114,557	3,021,997	309,780	403,263	713,043
4月	982,020	2,084,176	3,066,196	355,134	447,714	802,848
5月	1,221,720	2,178,121	3,399,841	393,240	420,670	813,910
6月	1,030,860	1,955,039	2,985,899	393,640	316,187	709,827
7月	896,520	2,100,773	2,997,293	371,940	351,461	723,401
8月	657,300	2,547,962	3,205,262	266,940	521,091	788,031
9月	1,201,620	2,007,000	3,208,620	415,620	331,682	747,302
10月	1,140,500	2,136,604	3,277,104	417,780	383,182	800,962
11月	1,146,180	2,075,533	3,221,713	444,900	374,993	819,893
12月	1,030,870	1,979,609	3,010,479	356,180	318,631	674,811

国鉄バス乗客数

(国鉄広島自動車事務所調)

線別 区分 年月別	広島線		安芸線		岩日線		雲芸線	
	運延台数	走行延料数 人	運延台数	走行延料数 人	運延台数	走行延料数 人	運延台数	走行延料数 人
昭和25年度	6,619	876,723	12,007	1,636,101	2,070	284,565	9,331	1,274,047
" 26年	7,045	996,710	12,505	1,832,340	—	—	—	—
" 27 "	8,408	1,174,873	13,307	2,223,357	—	—	—	—
1月	591	84,946	1,078	176,306	—	—	—	—
2	595	76,912	1,002	164,753	—	—	—	—
3	693	93,876	1,145	185,019	—	—	—	—
4	963	124,326	1,103	188,092	—	—	815	105,572
5	735	95,599	1,114	189,870	—	—	1,053	146,517
6	682	96,932	1,075	183,209	—	—	962	135,117
7	705	101,947	1,079	189,980	—	—	1,093	147,790
8	721	103,705	1,118	191,790	—	—	1,031	149,304
9	683	99,224	1,099	183,912	—	—	1,074	144,824
10	691	100,595	1,203	191,419	—	—	1,103	150,454
11	679	96,630	1,115	184,031	1,016	140,002	1,053	144,803
12	680	100,140	1,171	194,921	1,054	144,553	1,092	147,655

備考 1. 雲芸線は4月1日に運転開始 2. 岩日線は11月1日に運転開始 3. 定期券による乗客数を含む

広島電鉄バス乗客数

(広島電鉄株式会社調)

線別 区分 年月別	市内線		市内線		市外線	
	運延台数	走行延料数 人	運延台数	走行延料数 人	運延台数	走行延料数 人
昭和21年	2,969	289,617	1,780,903	1,999,099	4,402	1,124,170
" 22 "	3,707	307,933	1,537,439	2,482,005	5,324	1,423,216
" 23 "	2,953	301,904	1,247,842	1,683,559	6,164	1,683,559
" 24 "	5,875	524,654	2,311,418	2,444,084	7,701	2,444,084
" 25 "	17,792	2,196,733	8,074,183	2,422,395	20,816	2,422,395
" 26 "	22,063	3,153,249	11,814,527	3,237,784	24,814	3,237,784
" 27 "	23,972	3,246,886	11,146,205	5,032,585	35,730	5,032,585
1月	1,526	229,855	784,530	255,440	2,863	399,384
2	1,501	230,759	788,731	189,600	2,631	353,797
3	1,714	252,302	885,740	162,540	2,905	401,824
4	1,637	235,657	818,500	205,100	2,814	405,194
5	1,765	255,564	833,007	210,530	3,038	438,545
6	1,805	256,281	821,296	180,640	2,938	411,753
7	2,073	283,134	939,895	189,780	2,955	414,828
8	2,194	287,153	1,051,370	160,920	3,054	441,700
9	2,233	282,428	953,783	211,531	2,965	409,575
10	2,452	307,521	1,042,074	227,480	3,110	435,028
11	2,427	311,988	1,041,263	255,300	3,123	445,989
12	2,540	314,244	1,185,961	129,320	3,314	469,963

広島バス乗客数

(広島バス株式会社調)

区分 年月別	運転 延台数	走行 延料数	乗客数	区分 年月別	運転 延台数	走行 延料数	乗客数
昭和25年	2,715	380,520	813,536	6	1,558	228,849	697,559
" 26 "	13,353	1,744,753	4,951,643	7	1,640	229,314	702,667
" 27 "	19,031	2,741,106	8,719,460	8	1,656	235,249	802,926
1月	1,525	219,982	629,057	9	1,551	223,445	683,401
2	1,358	201,755	567,997	10	1,626	231,333	747,296
3	1,533	224,431	716,419	11	1,643	241,697	788,965
4	1,581	221,619	767,187	12	1,741	247,586	864,615
5	1,619	235,846	746,350				

国鉄バス路線別距離

線名	区間	料程
安芸線	広島～仁方	39
広島	"～浜田	121
雲芸	"～十日市	67
岩日	"～大竹	35

広島電鉄バス市内路線別距離

路線名	区間	料程	路線名	区間	料程
淵崎線	広島駅～杵木	4.75	己斐線	己斐～旭町	8.00
駅県庁	"～県庁	3.20	グランド	鷹ノ橋～綜合グラ	4.35
牛田	"～牛田	2.60	江波	"～江波	4.15
横川	"～白鳥～横川	3.00	宇品	広島駅～宇品	8.50
鷹・牛田	鷹ノ橋～牛田	4.70	府中	八丁堀～府中	5.70
新庄	新庄～八丁堀	5.75	日宇那	鷹ノ橋～日宇那	5.80
横・県庁	横川～県庁	6.20	宇・県庁	宇品～県庁	5.03

広島電鉄バス郊外路線別距離

路線名	区間	料程	路線名	区間	料程
呉線	紙屋町～呉	31.0	湯来線	広島～湯来	39.8
矢野	"～矢野	11.0	三吉	"～三吉	71.5
熊野	広島駅～熊野	20.5	生田	吉田～生田	45.5
小河原	鷹ノ橋～小河原	16.8	雄ヶ原	広島～雄ヶ原	73.7
大朝	広島駅～大朝	67.4	戸河内	"～三段峽	20.5
出羽	"～出羽	64.1	都谷	澄合～都谷	77.4
南方	上野～南方～大朝	77.8	志路原	広島～志路原	68.2
戸山	広島駅～戸山	41.5	鈴張	"～鈴張	64.0
宇賀	"～宇賀	30.2	来女木	吉田～来女木	16.4
後山	"～布	24.4	舟木	"～舟木	54.1
大塚	"～大塚	23.1	玖島	廿日市～玖島	48.2
岩国	"～大竹	19.6	津田	広島～津田	30.4
本村	吉田～本村	45.4	本郷	廿日市～本郷	19.1
阿須那	"～阿須那	35.3	吉和	広島～吉和	23.9
吉木	布～吉木	12.8	浅原	"～浅原	18.4
八幡	加計～樽床	45.9	吉田口	吉田～吉田口	32.4
壬生	"～壬生	20.8	寺領	戸河内～寺領	19.6
坂原	"～坂原	45.6	秋掛	廿日市～秋掛	53.1
波佐	戸河内～波佐	51.9	石内	廿日市～石内	61.2
栗谷	廿日市～栗谷	50.3	上水内	広島～本多田	39.2
奥畑	広島～奥畑	35.6			5.0
久日市	"～久日市	38.1			6.3
		20.3			20.9
		45.0			33.4
		42.6			18.0
					41.7
					15.0

広島バス路線別距離

路線名	区間	距離	主なる経由地
宇品線	宇品橋～仁保町大原	12.50	専売公社、紙屋町、広島駅
基県	紙屋町～県庁	5.80	東白鳥、広島駅、比治山下
横川	横川駅～広島駅	4.75	十日市、八丁堀
横県	"～県庁	6.10	西白鳥、基町、八丁堀、富士見町
吉島	広島駅～吉島町	5.40	紙屋町、中央卸市場、水主町
草津	"～草津町	9.40	紙屋町、十日市、己斐駅
八丁堀	八丁堀～向宇品	6.80	富士見町、専売公社

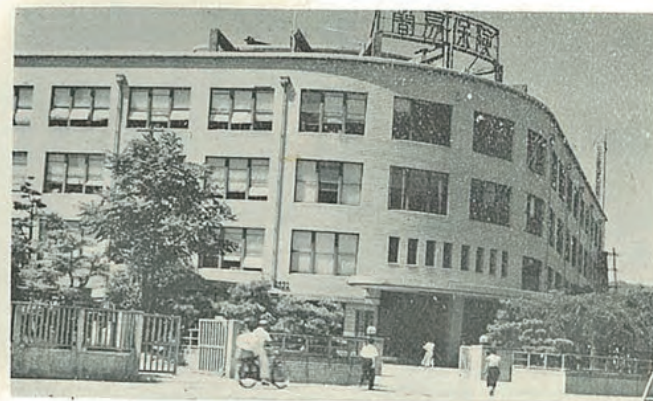
[illegible]

駅別	品目別	到											計	
		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12
大	鉄産品	3,803	2,062	3,595	1,738	1,704	2,228	2,285	1,956	1,930	1,923	2,116	2,596	27,930
	林産品	497	638	729	456	611	761	844	500	205	469	923	625	7,305
	農産品	4,092	4,601	2,248	2,132	3,903	3,070	6,340	4,351	4,075	4,899	4,419	5,638	49,833
	畜産品	12	24	60	8	42	—	28	28	28	24	—	20	214
	水産品	114	76	52	103	77	227	100	90	73	343	170	119	1,547
島	化学工業品	3,126	3,370	3,686	3,605	3,902	4,347	5,547	6,451	5,309	4,189	3,765	2,657	49,899
	食料工業品	875	1,265	1,640	1,140	1,050	875	1,175	862	630	755	880	923	12,070
	繊維工業品	745	885	715	507	725	837	817	1,130	570	920	874	1,035	9,860
	事業用品	20,893	15,617	15,679	14,913	18,713	13,117	14,023	13,598	13,233	11,800	18,005	11,756	181,348
	その他	8,701	11,278	10,893	12,155	13,030	12,462	12,011	12,274	11,753	11,289	11,539	8,548	135,034
	計	42,858	39,866	39,237	36,862	43,762	37,924	43,170	41,250	37,806	36,611	42,742	34,067	476,155
横	鉄産品	604	772	888	407	869	650	471	763	759	809	684	693	8,378
	林産品	796	530	544	484	595	889	651	624	378	634	639	631	7,505
	農産品	929	1,209	595	864	1,050	937	1,050	545	862	1,284	654	877	10,926
	畜産品	36	—	24	12	18	—	—	8	—	8	8	8	122
	水産品	10	20	10	10	20	25	10	10	30	30	37	50	252
川	化学工業品	1,162	915	1,105	1,437	1,602	1,735	1,575	1,452	1,039	1,392	1,281	892	15,637
	食料工業品	250	575	440	530	515	530	475	485	440	595	445	390	5,650
	繊維工業品	10	95	10	55	55	25	65	50	30	50	35	10	490
	事業用品	25	106	17	132	—	8	—	77	62	15	—	91	533
	その他	1,164	1,349	2,040	1,459	753	1,023	1,257	1,595	1,741	1,907	1,433	1,471	17,192
	計	4,986	5,621	5,673	5,390	5,476	5,882	5,564	5,609	5,391	6,764	5,226	5,713	66,695

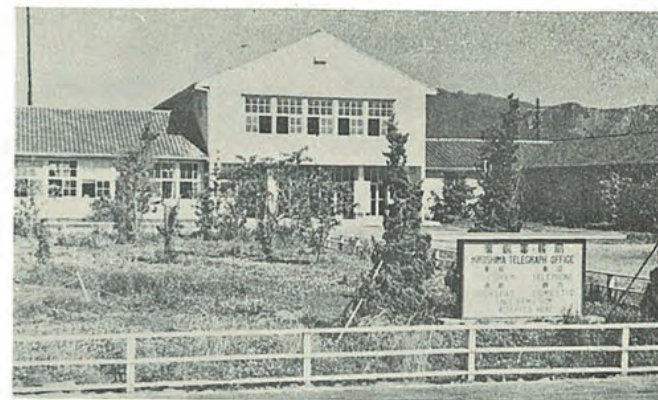
已	敏	477	741	762	826	912	929	1,327	876	1,062	865	985	708	10,470
	林	251	341	304	335	165	323	609	421	197	207	140	705	3,443
	産	1,451	1,207	1,336	1,265	726	848	607	1,120	2,384	2,655	1,455	1,741	16,815
	産	216	334	482	443	356	303	316	420	323	345	288	452	4,323
	産	3,493	3,186	4,233	3,486	3,547	3,000	2,461	2,652	3,622	330	3,057	3,938	37,055
	産	225	195	252	270	372	365	155	340	212	185	327	320	3,218
斐	化学工業品	225	370	295	705	770	745	1,300	895	1,050	1,035	1,062	342	8,844
	纖維工業品	143	10	130	150	140	60	110	145	115	135	85	115	1,333
	事業用品	15	—	—	—	—	8	—	—	—	—	15	75	113
	その他	2,482	2,633	2,649	2,449	2,653	2,164	2,897	2,850	3,211	6,563	2,992	3,248	35,796
	計	8,978	9,052	10,443	9,984	9,841	8,750	9,782	9,719	12,181	12,380	10,416	11,094	122,420
字	敏	787	1,341	1,136	1,013	1,312	1,335	1,015	1,133	959	817	842	1,057	12,752
	林	35	25	70	55	47	70	33	97	30	42	15	17	541
	産	1,005	185	62	49	70	180	210	195	135	360	435	205	3,092
	産	—	—	12	—	8	16	—	—	—	—	—	8	44
	産	12	58	32	22	133	103	49	67	48	36	—	144	714
	産	130	140	192	200	170	310	165	185	120	115	114	145	1,986
	化学工業品	250	320	195	290	265	225	515	515	315	585	220	455	4,180
	纖維工業品	—	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10
	事業用品	—	—	10	—	—	—	—	126	—	—	15	—	151
	その他	439	503	379	854	296	728	409	211	332	332	676	451	5,715
品	計	2,659	2,577	2,098	2,483	2,306	3,002	2,401	2,534	1,989	2,337	2,317	2,482	29,185

第14編 通 信

東京電報局



広島郵政局



広島電報局



市外電話の交換（広島電話局）

概 要

市内には、普通局4（広島、広島駅前、宇品、鉄道）特定局39合計43局の郵便局があり、電報局は広島、広島駅前、宇品の3局の外に広島、横川、己斐の各駅に電報取扱支所が置かれている。電話局は現在中、西の2局の外に、草津、似島の2局が設置されているが、電話加入者の増加に伴い近く南局が新築され、昭和28年中には業務を開始する予定である。また草津、似島の両局は、共に市内にありながら市外局として取扱われているので、非常に不便を生じているが、近く草津局は市内線に編入されることになっている。

郵 便

郵便施設

（広島郵政局調）

郵便局数				切手 売さばき所	郵便ポスト	
普通郵便局	特定郵便局					合計
	集配局	無集配局	計			
4	一	39	39	43	203	233

- 備考 1 普通郵便局には鉄道郵便局を含む
 2 切手売さばき所には収入印紙さばき所を含む
 3 郵便ポストには柱、掛箱（私設、公設）を含む

郵便物取扱状況（内国、引受）

区 分 月 別	通常郵便物		小包郵便物	
	普通扱	特殊扱	普通扱	特殊扱
1 月	1,659,439	100,755	22,051	8,241
2 月	1,687,735	94,847	18,802	7,045
3 月	2,033,375	183,005	20,262	12,210
4 月	1,548,486	123,931	22,163	7,590
5 月	1,653,295	111,225	22,028	7,383
6 月	1,393,651	92,590	23,039	7,523
7 月	1,757,794	102,188	24,418	7,538
8 月	1,510,618	82,354	16,895	5,043
9 月	1,557,038	102,643	21,143	8,359
10 月	1,727,204	114,456	21,992	9,141
11 月	1,484,639	96,213	19,376	7,959
12 月	2,141,711	125,399	33,093	12,045
合 計	20,165,096	1,329,606	265,312	100,077

- 備考 1. 本表は、それぞれ普通局分と特定局との1ヵ月間(推計)の合計である。
 2. 特殊扱とは速達と書留の合計である。

電 報

内国電報取扱状況

(中国電気通信局、広島電報局調)

区分 月別	発 信	着 信	中 継 信	合 計
1 月	67,767	60,630	283,832	412,229
2	63,794	62,832	276,353	407,984
3	86,923	83,301	347,107	517,331
4	80,554	69,279	324,759	474,602
5	77,496	64,597	297,806	439,899
6	70,548	58,930	259,201	388,679
7	76,832	65,725	283,559	427,126
8	75,471	65,129	293,639	435,239
9	75,676	64,553	286,136	426,365
10	84,878	72,154	347,490	504,522
11	76,157	77,202	289,164	442,523
12	103,444	89,618	490,720	683,782
合 計	944,550	835,950	3,779,781	5,560,281

備考 広島、広島駅前、宇品各電報局、市内各特定郵便局、広島駅、横川駅、己斐駅各電報取扱支所の合計である。

電 話

局別電話加入数及び通話状況

(広島電話局調)

区分 局別	単 独		共 同		通話局	公 衆		計
	事務用	住宅用	事務用	住宅用		委 託	簡 易	
中	5,139	32	212	36	36	32	1	5,488
西	3,441	16	109	15	15	20	5	3,621
草 津	140	28	17	1	1	—	—	187
似 島	26	—	2	—	1	—	—	29

区分 局別	乙 増 電 話			甲 増 電 話			市内専用電話		通話 (昭和27年 一ヵ月平均) 度数	
	件数	個数	ベル	件数	加入 回線	内線電 話機数	回数	機数	市 内	市 外
中	900	1,037	2	78	440	3,843	213	247	1,533,049	130,303
西	609	719	11	24	96	599	8	7	788,589	62,371
草 津	31	32	8	—	—	—	—	—	均 一 制	3,053
似 島	3	4	—	—	—	—	—	—	”	1,191

第15編 港 湾

齊 魯 縣 己 策



果 營 棧 橋

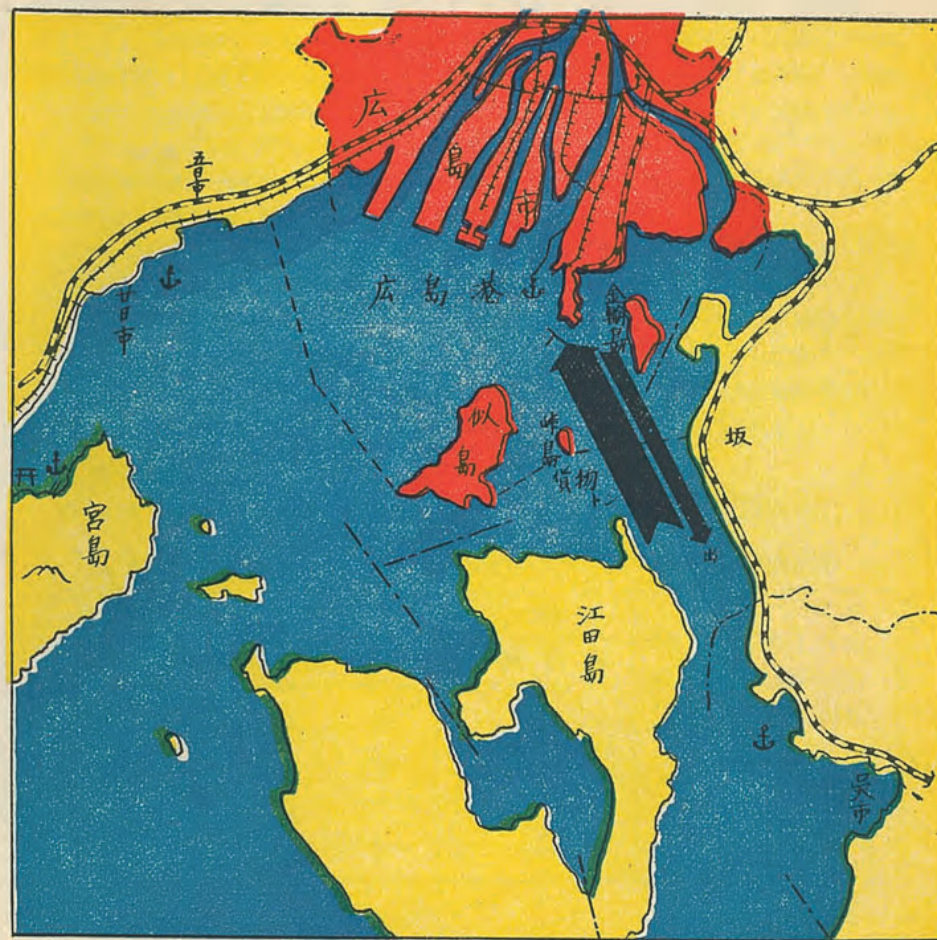


市 營 棧 橋



外国船の入港

広島港附近



広島港

広島港は従来宇品港といい、明治22年、時の県令千田貞暁侯の異常な熱意により、約5年の才月を費し完成したものである。

その後日清、日露の両戦役には、陸軍の輸送総基地として活動を続け、その優れた立地条件とともに、当港の果して来た偉大な港湾機能については、広く一般に知られて来たところである。しかし日露戦役以来、港湾の大半は軍部に占有されて来たので、商港としての宇品港の機能は後年ますます制約を受けるに至つたが、昭和9年宇品港の西側に内務省の直轄工事として商港地区が完成した。この間に港域を拡張して港名を「広島港」と改めた。続いて昭和15年に工業港の築造に着手したが、太平洋戦争の影響により工事は遅々として進まず、同23年に至つてようやく完成した。

昭和20年8月原子爆弾により市街の大部分は、壊滅的被害を被つたにもかかわらず、幸に広島港は市の南端にあつたため、港湾施設の被害は僅少であつた。

終戦と同時に軍部より解放された広島港は、昭和23年に開港の指定を受け、同26年には甲種港湾に指定せられ、中国5県を背後地として急速に復活して来た。

広島港は現在大型船舶の接岸能力が十分でないので、1万トン級、2千トン級等の船舶が同時に接岸できる突堤を築造する大拡張工事計画が近く着工されようとしており、これが完成の暁には、港湾機能は一段と増進され、本郷線、三江線を始めとする陰陽交通網の完成とあわせて背後経済圏の確保に伴い、新生広島港将来の躍進が期待される。

位置

瀬戸内海に面する広島湾の北隅に位し、北緯34°20' 東経132°25'を中心とする。

港内水面積 (単位=1万平方米)

(広島港事務所調)

水深別	水面積		計
	防波堤内	防波堤外	
7.3m 未満	60	97	157
7.3m ~ 9m	—	610	610
9m 以上	—	1,690	1,690
計	60	2,397	2,457

港湾施設

船舶泊地 大型船 (単位=1万平方米)

種別	水面積	内訳(水深別)			摘要
		3.5m~7.3m	7.3m~9m	9m 以上	
被覆外	2,400	100	610	1,690	大型船泊地は防波堤外

小 型 船

泊 地 名 称	経 営 者	被 覆 水 域		
		所 在 場 所	水 面 積	水 深
宇品島西側船泊	広島県	宇品西側防波堤内	50万平方メートル	2 m ~ 7.5 m
宇品島北側船泊	"	宇品島北側	7万平方メートル	2 m ~ 5 m

けい船岸壁及び棧橋

名	称	延 長	巾	水 深	構 造
岸 壁	(一) 4 m 岸 壁	260 m	— m	(一) 4 m	平行式コンクリート
	三菱造船(株)広島造船所 "	546	—	(一) 6	"
	中国電力(株)坂 元電所 "	220	—	(一) 3	"
	三菱造船(株)鯛 尾 船 渠 "	32	—	(一) 4	"
	金輪島船渠(株) "	106	—	(一) 4	"
	計	1,164	—	—	
棧 橋	(株)宇品造船所 棧 橋	18	8.0	(一) 3	縦鉄製浮棧橋
	県 営 "	110	7.0	(一) 3	縦鉄筋コンクリート "
	市 営 "	65	7.0	(一) 3	" "
	保安部 "	100	5.5	(一) 5	縦鉄製 "
	三菱造船(株)広島造船所 "	20	4.5	(一) 3	縦鉄筋コンクリート "
橋	金輪島船渠(株) "	24	6.1	(一) 6	木 製 "
	計	337	—	—	

防波堤及び防砂堤

名 称	管理者	延 長	構 造		摘 要
			様 式	主要用材	
防 波 堤	広島県	500 m	混成堤	粗石・方塊	昭和13年建設
防 砂 堤	"	1,824	"	"	" 12 " "

上 屋 及 び 倉 庫

上 屋			倉 庫		
種 別	棟 数	面 積	種 別	棟 数	面 積
専 用	10	3,432 m ²	専 用	14	19,908 m ²
営 業 用	1	1,524	営 業 用	57	40,793

荷役労務者 (昭27.3.末現在)

(調査課調)

船内仲仕			沿岸仲仕			いかだ仲仕			はしけ仲仕			倉庫仲仕			合 計		
常雇	臨時	計	常雇	臨時	計	常雇	臨時	計	常雇	臨時	計	常雇	臨時	計	常雇	臨時	計
人 32	人 16	人 48	人 75	人 69	人 144	人 1	人 1	人 2	人 41	人 1	人 41	人 20	人 77	人 97	人 169	人 152	人 331

は し け

(広島港事務所調)

隻 数					積 載 ト ン 数
50トン未満	100トン "	200トン "	200トン以上	計	
17	41	53	14	125	14,245 ^{トン}

ひ き 船

25馬力 未 満		25 ~ 50		50 ~ 100		100 ~ 150		計	
隻 数	トン数	隻 数	トン数	隻 数	トン数	隻 数	トン数	隻数	トン数
4	23	4	55	1	16	1	13	10	118

1 日 最 大 荷 役 能 力

荷 役 別		船 内 荷 役	海 岸 荷 役	はしけ回そう
貨 物	炭	1,500 ^{トン}	1,500 ^{トン}	1,500 ^{トン}
	雑 貨	1,000	3,000	3,000

船舶入港状況

戦後全たく混沌とした状態にあつた広島港は、我が国の経済が回復するにつれて逐年活況を呈しつつある。

すなわち、入港船舶状況をみると、隻数において昭和23年の約6倍、昨年の約1.3倍、次にトン数においては昭和23年の3.8倍、昨年の1.4倍とそれぞれ増加している。

また、入港船種は、宇品港時代より圧倒的に多かつた機帆船並びに帆船に代り、汽船が今日では、入港総数の約53%を占めている。

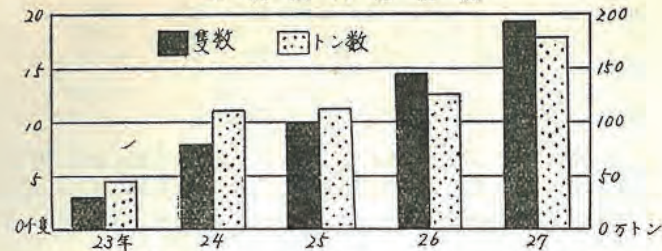
次に貨物の取扱状況をみると、戦前の最高取扱数量 262万トン（昭和11年）に比べ昭和23年には、そのわずか6%であつたが現在では23%までに回復し逐年順調な経過をたどつてゐる。

年次別入港船舶数

(調査課調)

種別 年次別	汽 船		機 帆 船		帆 船		合 計	
	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数
昭和23年	70	95,700	3,074	354,778	2	40	3,166	451,518
" 24 "	4,593	896,357	3,332	225,788	16	1,494	7,941	1,123,639
" 25 "	7,132	997,321	3,116	130,167	5	28	10,253	1,127,516
" 26 "	7,520	967,246	6,687	281,851	210	9,238	14,417	1,253,335
" 27 "	10,385	1,448,653	8,717	321,543	272	13,453	19,374	1,783,649
1 月	739	81,492	576	29,190	13	547	1,328	111,229
2	760	130,133	724	29,016	13	2,854	1,497	162,003
3	830	107,751	679	27,231	18	711	1,527	135,743
4	821	104,018	721	23,833	14	553	1,556	123,404
5	820	139,331	703	26,597	20	790	1,543	166,718
6	768	135,578	655	21,532	32	1,331	1,455	153,441
7	1,105	144,223	737	27,141	32	1,264	1,874	172,628
8	1,365	156,030	876	26,354	22	869	2,263	183,303
9	757	110,101	760	24,938	25	1,130	1,542	135,219
10	791	99,656	769	29,070	32	1,328	1,592	130,064
11	824	109,636	679	24,455	24	948	1,527	135,040
12	805	130,644	839	32,035	27	1,128	1,670	163,857

年次別入港船舶



国籍別外国貿易船入港数

国籍別 年 別	日 本		米 国		英 国		中 国		韓 国		その他の国		合 計	
	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数
昭和26年	16	78,281	4	27,524	—	—	1	6,903	—	—	3	21,607	24	134,315
" 27 "	65	404,059	2	14,380	1	7,109	3	8,343	21	787	10	57,660	102	492,338

貨物出入状況

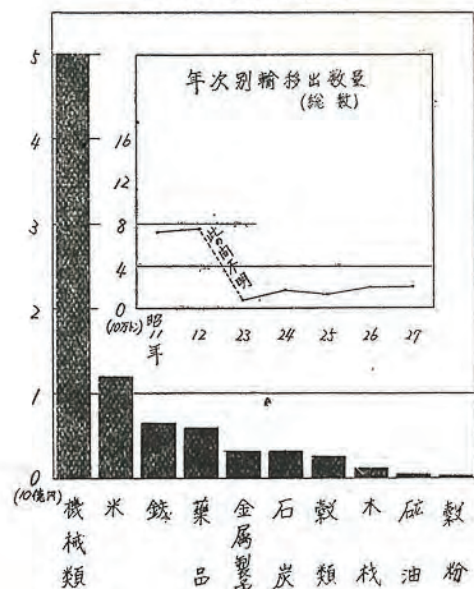
輸移出入貨物

輸 移 出			輸 移 入		
品 名	数 量	価 格	品 名	数 量	価 格
米	18,586	1,226,676	米	46,389	3,311,049
穀類	5,683	284,150	穀類	48,347	1,537,701
大豆	814	36,630	大豆	1,060	47,700
油	1,754	60,712	油	11,635	436,824
薬石	11,058	603,802	薬石	5,075	325,933
コークス	50,302	329,830	コークス	248,100	1,626,792
土	491	8,224	土	4,158	69,647
セメント	305	702	セメント	4,100	7,052
鉄	2,532	21,016	鉄	23,377	235,529
銅	33,535	657,758	銅	16,426	280,756
その他金属	187	1,777	その他金属	278	9,440
金属製品	2,699	17,544	金属製品	1,245	11,053
肥料	7,388	332,460	肥料	32,188	1,448,460
木材	362	9,169	木材	1,084	27,458
木製品	37,725	128,265	木製品	25,708	87,407
塩	5,047	25,235	塩	3,175	15,875
食料	151	2,265	食料	17,885	119,357
飲料	4,527	15,907	飲料	7,764	25,117
塗料	250	75,000	塗料	2,299	13,794
紙原料	614	54,032	紙原料	150	3,583

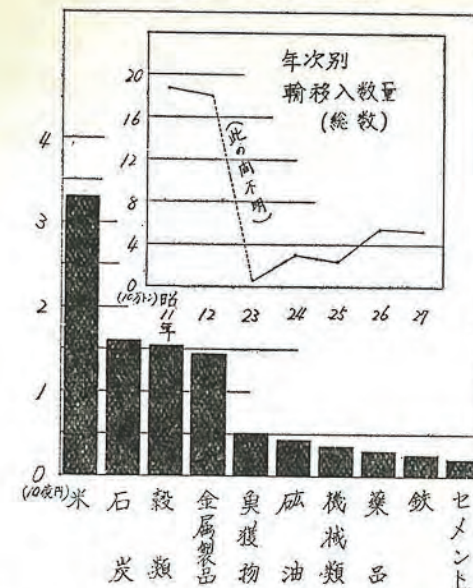
機 械 類	11,038	4,967,100	機 械 類	891	375,600
陶 器 硝	1,263	3,724	陶 器 硝	1,892	155,144
衣 類	100	5,600	魚 獲 物	3,511	509,643
雑 品	18,635	1,360,355	雑 品	18,692	1,308,440
の 他	58	22,932	の 他	223	33,192
合 計	215,109	10,250,884	合 計	530,652	12,072,546

備考 価格1,000円未満は4捨5入

主要品目別輸移出貨物



主要品目別輸移入貨物



船舶乗降人員

(内国航路)

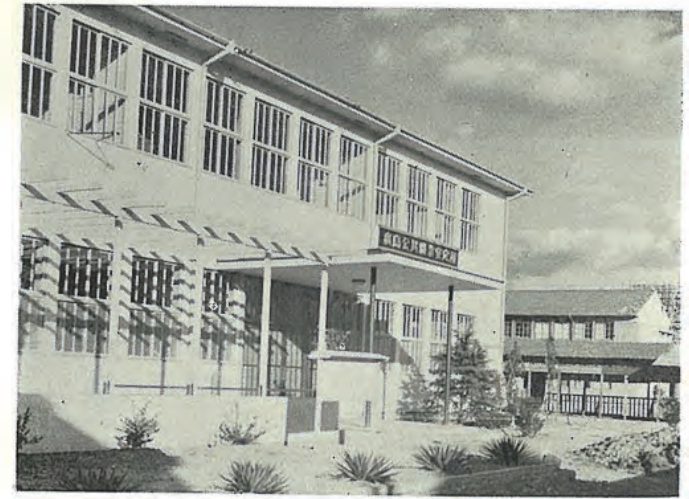
航 路 名	乗 船 人 員	上 陸 人 員	合 計
芸 予 線	37,403	36,704	74,112
今 治 "	25,575	23,764	49,339
倉 橋 "	12,494	12,391	24,885
豊 島 "	7,091	5,512	12,603
大 君 "	95,054	94,032	189,096
中 村 "	57,905	43,477	101,383
大 原 "	30,483	33,566	64,054
似 島 "	63,574	66,464	130,038
切 串 "	12,755	14,706	27,461
別 府 "	13,340	8,825	22,165
宇 和 木 "	6,055	11,324	17,379
大 崎 "	4,917	6,788	11,705

柳	井	線	2,203	2,295	4,503
音	戸	"	9,853	5,870	15,723
内	能	美	122,941	119,730	242,721
飛	渡	瀬	15,522	18,112	33,634
大	原	"	4,557	4,735	9,302
宮	島	"	2,429	3,143	5,572
能	美	"	1,507	817	2,324
臨		時	71,351	63,490	134,841
合	計		597,050	575,795	1,172,845

備考 1 学生定期券による通学者は除く

2 港内航路を除く

第16編 労働



広島公共職業安定所



広島県広島第一綜合公共職業補導所
(国泰寺教室)



失業対策事業就労状況

労働人口

この年10月1日現在により実施された、労働力調査の結果によると、本市の14才以上人口は、総人口の約65%に当る207,225人で、その内、労働力人口（就業者、休業者、完全失業者）は、118,350人（14才以上人口に対し57.1%総人口に対し37.8%）、非労働力人口（通学、家事、働けない者、その他）は88,875人（14才以上人口に対し42.9%総人口に対し28.4%）となっており、この労働力状態別割合を全国都市平均（昭和25年国勢調査の1/5抽出集計によるもの）と比較すると、ほぼ同率となつている。

次に産業別人口（労働力人口の内完全失業者を除く）をみると、卸売及び小売業が総数の23.5%で首位を占め、続いて製造業22.3%、サービス業20.0%、運輸通信業及びその他の公益事業10.7%の順になつており、全都市平均と比較してみると、本市の性格は消費都市としての性格がはなはだ大であることがうかがえる。

職業紹介

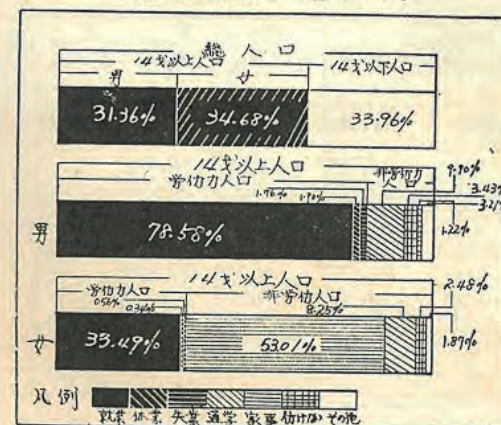
本年内の職業紹介状況を昨年に比較してみると、（（ ）内は日雇を示す。）求人数は44.9%（17%）紹介数は54.5%（17.2%）就職数は36.9%（17.9%）とそれぞれ大幅に増加しているが、紹介数に対する就職率は、昨年に比し一般は6.3%も減少し、就職難時代の一面を物語っているが、日雇はわずかではあるが0.5%の上昇を示している。

失業者

企業の合理化に伴う人員整理、あるいは行政整理等により、失業者の増加は全国的傾向にある。この1年間における本市の離職者の状況は、一般は6,279人（昨年に比し2倍の増加）日雇は53,541人（昨年に比し24.3%の増加）とともに急激に増加しており、深刻な問題を投げているが、市としてはその対策として年々予算総額（一般会計）の1割前後を失業対策事業に振当て、失業者の救済、あるいは生活困窮者の生活安定等のため努力を続けている。

なお、現在失業対策事業就労適格者は総数（市内常住者）4,307人（但しこの外に市外常住者852人住所不明43人がいるので総数は5,202人となる。）で総人口の1.4%に当る。

労働状態別人口（昭27.10.1）



労働統計

労働力状態及び男女別14才以上人口（10月1日現在）

（調査課調）

性 別 状 態 別	総 数	男	女	労働力状態別割合	
				広島市	全都市
総 数	207,225	98,440	108,825	100	100
労働力	118,350	80,925	37,425	57.1	57.0
従業者	116,025	79,200	36,825	56.0	54.9
就業者	113,775	77,325	36,450	54.9	53.8
休業者	2,250	1,375	375	1.1	1.1
完全失業者	2,325	1,725	600	1.1	2.1
非労働力	88,875	17,475	71,400	42.9	42.9
通学	19,125	9,750	9,375	9.5	9.2
家事	58,500	1,200	57,300	28.2	27.2
働けない その他及び不詳	6,075	3,375	2,700	2.9	4.7
	5,175	3,150	2,025	2.5	1.8

備考 1. 本表は $\frac{1}{25}$ 抽出調査による。

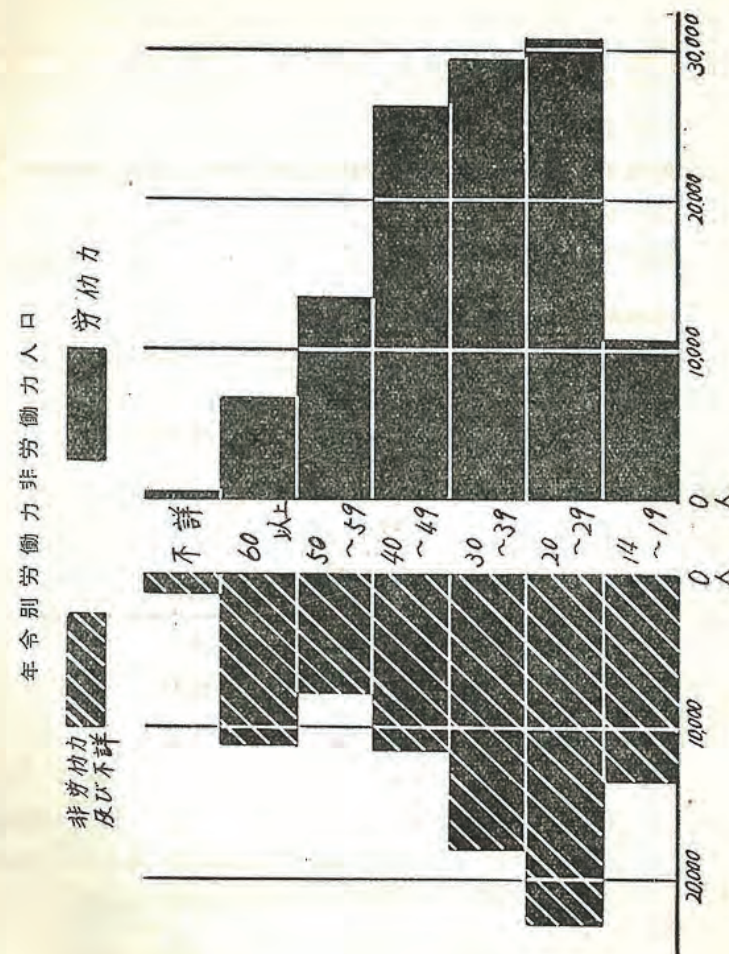
2. 労働力状態別割合は4捨5入しているので必ずしも総数に合わない。

3. 労働力状態別割合中全都市の分は昭和25年国勢調査の1%抽出集計によるものである。

労働力状態及び年令別14才以上人口（10月1日現在）

年 令 別	総 数	労 働 力					非労働力
		総 数	就 業 者			完 全 失業者	及び不詳
			総 数	従業中	休業中		
総 数	207,225	118,350	116,025	113,775	2,250	2,325	88,875
14才～19才	26,775	10,725	10,500	10,425	75	225	16,050
20～29	53,850	30,900	30,375	30,000	375	525	22,950
30～39	47,625	29,475	28,800	28,425	375	675	18,150
40～49	37,875	26,325	25,575	25,050	525	750	11,550
50～59	21,300	13,500	13,350	12,825	525	150	7,800
60以上	18,075	6,900	6,900	6,525	375	0	11,175
年令不詳	1,725	525	525	525	0	0	1,200

備考 本表は $\frac{1}{25}$ 抽出調査による。



産業別従業者（休業中を含む）数（昭和27年10月1日現在）

性 別	産業 別	全産業	農業	林業及び狩猟業	漁業及び水産養殖業	鉱業	建設業	製造業	卸売業及び小売業	金融保険及び不動産業	運輸通信及び他の公益事業	サービス業	公務	分類不能の産業及び不詳
男		78,755	2,925	—	525	150	5,675	20,780	15,100	2,325	10,950	11,825	7,275	225
女		37,270	3,375	—	75	—	75	5,155	12,185	1,425	1,575	10,855	2,550	—
総数		116,025	6,300	—	600	150	6,750	25,935	27,285	3,750	12,525	22,680	9,825	225
百分比	広島 全国 (都市)	100	5.4	—	0.5	0.1	5.7	22.3	23.5	3.2	10.7	20.0	8.5	0.2
		100	13.1	0.3	1.0	1.3	5.5	27.6	19.6	2.1	7.8	14.5	6.9	0.4

備考 1. 本調査は $\frac{1}{25}$ 抽出調査による。

2. 百分比中全国都市の分は、昭和25年国勢調査の1%抽出集計によるものである。

職業紹介状況

（広島公共職業安定所調）

区 分 産業 別	求 人		紹 介		就 職	
	一 般	日 雇	一 般	日 雇	一 般	日 雇
農 業	16	751	19	751	12	751
林業及び狩猟業	27	233	30	233	21	233
漁業及び水産養殖業	5	118	9	118	2	118
鉱 業	19	1,535	144	1,535	69	1,535
建 設 業	899	1,228,419	1,632	1,231,142	828	1,219,802
製 造 業	7,743	35,511	12,458	35,699	6,605	34,699
卸売及び小売業	4,270	2,177	7,915	2,253	3,643	2,122
金融及び保険業	240	33	529	33	218	33
不 動 産 業	9	—	20	—	8	—
運輸通信及び其の他公益事業	673	73,411	1,676	74,823	578	70,899
サ ー ビ ス 業	2,099	28,794	3,538	29,037	1,856	28,719
公 務	280	747	807	735	265	746
合 計	16,280	1,371,834	28,777	1,377,504	14,105	1,359,762

失業保険給付状況

（一般の部）

区 分 月 別	離職票受付件数			初 回 受 給 者			給 付 実 人 員			保 険 金 給付総額
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1 月	395	297	692	257	175	432	1,733	913	2,646	10,253,970
2	359	158	527	269	135	405	1,697	951	2,658	9,536,747
3	432	192	624	359	149	503	1,764	923	2,687	10,793,624
4	422	217	639	325	111	436	1,902	927	2,829	11,575,335
5	316	232	548	295	175	470	1,880	933	2,813	12,873,535
6	315	185	500	248	154	402	1,947	1,059	3,016	12,340,393
7	263	154	417	182	120	302	1,857	1,103	2,965	13,432,825
8	256	113	379	150	76	226	1,573	932	2,505	11,461,620
9	369	169	538	247	130	377	1,629	985	2,614	12,020,357
10	336	169	505	234	123	357	1,543	950	2,493	11,537,444
11	283	154	437	226	136	362	1,437	873	2,310	9,413,200
12	309	164	473	236	139	375	1,434	834	2,268	12,201,482
合 計	4,075	2,204	6,279	3,078	1,624	4,702	20,407	11,458	31,865	137,450,537

（日雇の部）

区 分 月 別	初回失業認定件数			初 回 受 給 者			手 帳 交 付 数			保 険 金 給付総額
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1 月	2,050	2,174	4,224	2,033	2,150	4,183	914	355	1,269	6,005,130
2	2,035	2,101	4,186	1,815	1,964	3,779	896	538	1,434	2,358,030
3	2,169	2,188	4,357	1,911	1,031	2,942	1,011	659	1,670	920,060
4	2,098	2,187	4,285	1,737	2,013	3,750	885	643	1,528	1,832,030
5	1,876	2,504	4,380	1,697	2,409	4,106	988	599	1,587	5,417,970
6	2,023	2,187	4,210	1,732	2,141	3,873	871	591	1,462	2,921,230
7	2,148	2,489	4,637	1,849	2,403	4,252	859	516	1,375	3,657,400
8	2,161	2,355	4,517	1,881	2,308	4,189	838	400	1,238	3,185,270
9	2,063	2,423	4,486	1,837	2,391	4,228	1,122	736	1,858	4,970,130
10	2,039	2,705	4,795	1,866	2,672	4,538	1,219	1,019	2,238	3,923,640
11	2,041	2,677	4,718	1,792	2,643	4,435	848	559	1,407	3,614,140
12	2,045	2,701	4,746	329	254	583	861	601	1,462	1,168,090
合 計	24,848	28,693	53,541	18,759	23,451	42,210	11,312	7,216	18,528	39,973,220

産業別、原因別、死傷災害発生状況

(広島労働基準監督署)

産業別	原因別 災害別	労働 災害	作業 災害	特殊 災害	原因 災害	合計	産業別	原因別 災害別	労働 災害	作業 災害	特殊 災害	原因 災害	合計
全産業	死亡	11	11	4	3	29	製造業	死亡	23	31	—	—	57
	重傷	422	977	65	12	1,477		重傷	14	36	4	—	54
	軽傷	324	1,335	191	15	1,855		計	37	67	7	—	111
製造業	死亡	3	3	—	1	7	印刷工業	死亡	—	—	—	—	—
	重傷	290	462	51	2	805		重傷	9	5	—	—	14
	軽傷	293	1,127	186	11	1,617		計	9	6	—	—	15
金属工業	死亡	2	—	—	—	2	その他の業	死亡	—	—	—	—	—
	重傷	35	78	25	—	138		重傷	4	2	1	—	7
	軽傷	12	78	17	—	107		計	4	2	1	—	7
機械器具業	死亡	1	1	—	—	2	鉱業	死亡	—	—	—	—	—
	重傷	133	227	19	2	381		重傷	1	6	1	—	8
	軽傷	260	936	162	10	1,368		計	1	6	1	—	8
化学工業	死亡	—	1	—	—	1	運輸事業	死亡	3	—	—	—	3
	重傷	6	21	2	—	29		重傷	80	122	8	1	211
	軽傷	—	4	—	—	4		計	26	113	4	4	147
窯業及土石工業	死亡	—	—	—	—	—	土木建築業	死亡	4	6	1	—	11
	重傷	4	18	1	—	23		重傷	20	252	6	4	282
	軽傷	3	27	2	1	33		計	26	296	8	4	334
木材製品工業	死亡	—	1	—	—	1	貨物取扱業	死亡	—	1	—	—	1
	重傷	72	69	—	—	140		重傷	26	108	—	3	137
	軽傷	4	37	—	—	41		計	28	155	—	3	186
繊維工業	死亡	—	—	—	—	—	林業	死亡	—	1	—	—	1
	重傷	4	—	—	—	4		重傷	1	13	—	—	14
	軽傷	—	—	—	—	—		計	1	14	—	—	15
ガス・水道・電気業	死亡	—	—	—	—	—	その他の業	死亡	1	—	3	2	6
	重傷	—	12	1	—	12		重傷	4	14	—	2	20
	軽傷	—	8	—	—	9		計	6	15	3	4	28
計	死亡	11	11	4	3	29	計	死亡	23	31	—	—	57
	重傷	422	977	65	12	1,477		重傷	14	36	4	—	54
	軽傷	324	1,335	191	15	1,855		計	37	67	7	—	111

失業対策事業

出張所別失業対策事業就労適格者数

(労政課調)

出張所別	人 口			就 労 適 格 者			対 人口比
	男	女	総 数	男	女	総 数	
牛尾	4,599	4,939	9,533	34	25	59	0.6
田長	7,029	7,261	14,290	133	127	260	1.8
青段	4,953	4,958	9,911	44	59	103	2.1
比治	10,629	11,069	21,693	152	93	250	1.2
山保	9,105	8,654	17,759	83	59	142	0.8
河実	2,843	2,991	5,834	40	132	172	2.9
大皆	5,991	5,769	11,760	118	103	221	1.8
宇似	9,059	8,334	17,403	86	53	139	0.8
品島	12,466	12,453	24,919	241	314	555	2.2
基元	936	1,171	2,157	18	14	32	1.5
町央	14,759	15,233	29,992	209	119	328	1.1
中	21,443	21,306	42,749	229	202	431	1.0
日市	10,956	11,095	22,051	105	68	173	0.8
十舟	7,530	7,631	15,211	102	131	233	1.5
観己	10,227	9,502	19,729	85	97	182	0.9
音斐	9,420	10,062	19,482	331	381	712	3.7
三章	8,832	8,846	17,678	103	114	222	1.3
篠津	6,753	6,924	13,677	40	53	93	0.7
合 計	157,640	158,198	315,838	2,158	2,149	4,307	1.4

備考 上記適格者の外に市外常住者 852 人（男 420 人、女 432 人）居住地不明 43 人がいるので総数 5,202 人である。

業務上災害発生状況

区 分	月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
死 重 軽	亡	—	—	1	—	1	—	—	1	—	—	—	—	3
	傷	1	2	1	1	—	1	—	1	—	1	1	1	10
	傷	20	13	43	28	28	41	39	49	37	37	37	24	396
合 計		21	15	45	29	29	42	39	51	37	38	38	25	409

就職資金貸付状況

区 分	月 別	5月	6	7	8	9	10	11	12	合 計
申 込 件 数		13	8	14	6	3	6	3	3	56
貸 付 件 数		2	8	5	5	3	—	3	2	28
貸 付 金 額		10,000	35,000	21,500	23,000	14,000	—	15,000	10,000	128,500
徴 収 金 額		834	28,344	14,678	8,840	4,670	—	—	—	57,366
貸 付 利 息		15	355	204	122	80	—	—	—	786

産業別定職就職状況

(労政課調)

産 業 別	月 別	5月	6	7	8	9	10	11	12	合 計
性 別		男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女	男 女
建 設 業		1	—	—	—	—	—	—	—	1
製 造 業		4	1	3	—	5	—	2	1	20
卸 売 及 小 売 業		1	—	1	—	—	—	1	—	4
金 融 及 保 険 業		—	—	—	—	—	—	—	1	1
運 輸 通 信 業		1	—	—	1	—	—	—	—	5
公 益 事 業		3	—	2	—	5	2	3	—	15
そ の 他		1	—	2	—	1	—	—	1	4
合 計		12	1	8	—	12	2	5	1	51
										5

月別就労人員及び労力費支出状況

月別	区分	市			営	県			営
		就 労 延 人 員			支払労力費	就 労 延 人 員			支払労力費
		男	女	計		男	女	計	
1 月	人	人	人	円	人	人	人	円	
2	29,721	26,347	56,058	12,233,570	7,446	8,671	16,117	3,391,509	
3	31,613	26,516	58,129	12,756,101	7,459	10,309	17,768	3,720,322	
4	41,162	37,217	78,379	17,051,826	11,464	16,265	27,730	5,751,453	
5	27,312	26,605	53,917	11,772,321	8,065	13,713	21,778	4,507,599	
6	30,800	30,489	61,289	13,419,473	8,364	14,853	23,217	4,663,026	
7	29,453	28,217	57,670	12,783,911	8,003	15,539	23,542	4,693,045	
8	31,828	30,542	62,370	14,030,610	7,486	15,044	22,530	4,818,610	
9	30,944	30,035	61,029	14,421,411	8,211	14,712	22,923	5,201,786	
10	25,898	26,252	52,150	11,997,219	8,344	14,564	22,908	6,046,155	
11	30,540	32,533	63,123	15,052,697	8,993	14,639	23,632	5,499,989	
12	27,321	29,473	56,794	13,575,910	7,893	13,079	20,972	4,908,817	
計	38,207	42,877	81,084	21,754,831	10,275	18,265	28,540	7,490,457	
計	374,799	367,203	742,002	170,805,388	102,003	169,654	271,657	60,692,773	

事業別就労人員及び労力費支出状況

(市営関係のみ)

区 分	事業 別	就 労 人 員	支 払 労 力 費	区 分	事業 別	就 労 人 員	支 払 労 力 費
		人	円			人	円
街路新設補修事業		147,721	33,502,810	下水道新設補修事業		51,801	12,602,500
学校運動場整備事業		81,363	18,377,528	排水路新設補修事業		66,732	15,906,441
荒廃市街地整備事業		12,349	2,760,000	農道新設補修事業		37,219	8,655,175
公園緑地等整備事業		136,074	30,982,500	衛生環境整備事業		41,010	9,531,414
道路補修整備事業		160,167	36,636,020	合 計		742,002	170,805,388
河川整備事業		7,556	1,800,000				

年度別失業対策事業費

区 分	年 度 別	昭和21年度	" 22 "	" 23 "	" 24 "
失 業 対 策 事 業 費		2,393,617	7,372,241	17,936,875	25,157,962
対 予 算 総 額 比		3.5	5.6	4.2	3.7
(一般会計)					
区 分	年 度 別	" 25 "	" 26 "	" 27 "	" 28 "
失 業 対 策 事 業 費		81,223,512	170,594,935	211,147,500	256,130,000
対 予 算 総 額 比		8.7	12.3	9.5	12.4
(一般会計)					

備考 1. 昭和25年度までは失業応急事業費と言う。

2. 昭和27年度は最終予算、28年度は当初算予算である。

労働情勢

本年の労働情勢は中央、地方共に深刻な様相を呈していた。まず今年3月より6月にかけて行われた破壊活動防止法、労働関係法改正反対斗争を皮切りに労働攻勢は展開され、当広島地方でも中央の斗争に呼応して、弾圧法紛争総決起大会が開かれたのを始めとし、経済的要求をからませたの反対斗争が、県下基幹産業労組を主軸とする組合員により職場大会あるいは陽謀陰謀、抗議スト等の方法により繰広げられた。しかし労働組合必死の反対にもかかわらず両法とも成立するに至つて、この斗争は終止符を打たれ、労働攻勢は本格的、賃金斗争とも言うべき秋期賃金斗争に引継がれ、特に電産及び炭労の2大ストは政治的問題として更に越年斗争へと発展していった。特に越年斗争は終にはそれぞれ妥結したとは言え、民間労組、及び官公労組が相次いで斗争を展開した。概して本年の労働争議は政治的要素を多分に含んでいたと云える。

組織別労働組合数及び組合員数

(広島労政事務所調)

区 分	組合数	組合員数	区 分	組合数	組合員数
一般労働組合	126	23,031	地方公務員団体	6	3,177
公共企業労働組合	33	12,937	合 計	192	42,097
国家公務員団体	22	2,852			

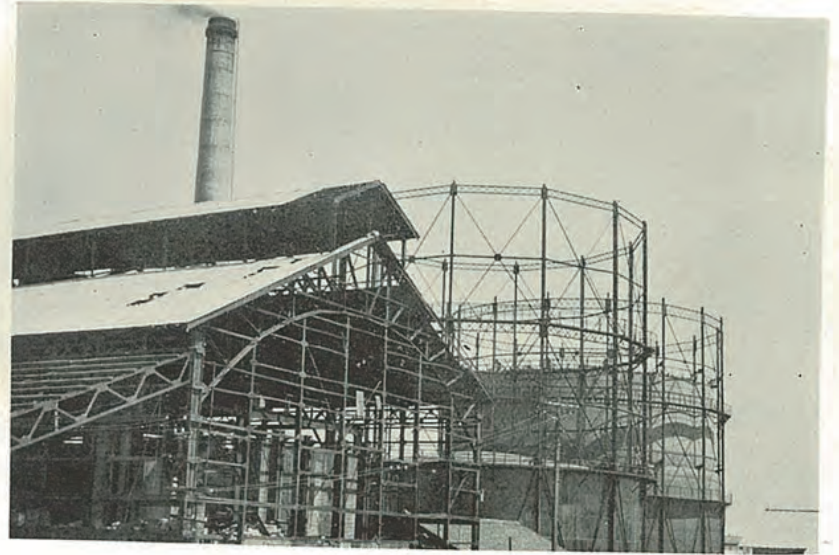
産業別規模別組合数及び組合員数

産 業 模 別	総 数		20名未満		50名〃		100名〃		500名〃		500名以上	
	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数
建 設 工 業	13	2,596	—	4	115	4	300	4	631	1	1,550	
製 造	金 属 製 品 工 業	2	176	—	—	2	176	—	—	—	—	
	機 械 器 具 製 造 業	2	93	1	19	—	1	74	—	—	—	
	化 学 工 業	2	151	—	2	151	—	—	—	—	—	
	ゴ ム 製 品 製 造 業	5	478	—	1	24	2	165	2	239	—	
	紡 織 工 業	1	107	—	—	—	—	1	107	—	—	
工 業	木 材 及 び 木 製 品 工 業	1	9	1	9	—	—	—	—	—	—	
	印 刷 製 本 工 業	2	403	—	1	28	—	1	380	—	—	
	ガ ラ ス 及 び 土 石 製 造 業	2	391	—	—	1	66	1	325	—	—	
	食 料 品 製 造 業	3	171	1	15	—	2	156	—	—	—	
	石 油 及 び 石 炭 製 造 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
業	輸 送 用 設 備 製 造 業	3	3,813	—	—	—	—	1	170	2	3,642	
	第 一 次 製 品 製 造 業	1	98	—	—	1	98	—	—	—	—	
	電 気 機 械 器 具 製 造 業	5	603	—	3	102	—	2	501	—	—	
卸 小 売 業	そ の 他	13	1,257	1	15	2	79	3	263	7	900	
	卸 熱 光 及 び 動 力 供 給 業	6	1,203	2	30	1	50	1	72	1	251	805
金 融 保 險 業	医 療 保 健 業	6	2,275	—	—	—	2	130	2	521	2	1,624
	金 融 保 險 業	33	4,040	6	62	20	732	6	367	5	1,139	1,740
運 通 陸 水 運 業	信 通 業	2	232	1	10	—	—	—	1	222	—	—
	輸 送 業	10	3,443	—	1	24	2	190	6	1,397	1	1,837
公 務 及 び 団 体 他	公 務 及 び 団 体 他	2	71	—	2	71	—	—	—	—	—	—
	輸 送 業	1	486	—	—	—	—	1	486	—	—	—
合 計	70	19,948	3	33	11	434	9	775	34	8,124	13	10,582
	2	33	2	33	—	—	—	—	—	—	—	—
	192	42,097	18	231	48	1,810	36	2,832	69	15,443	21	21,781

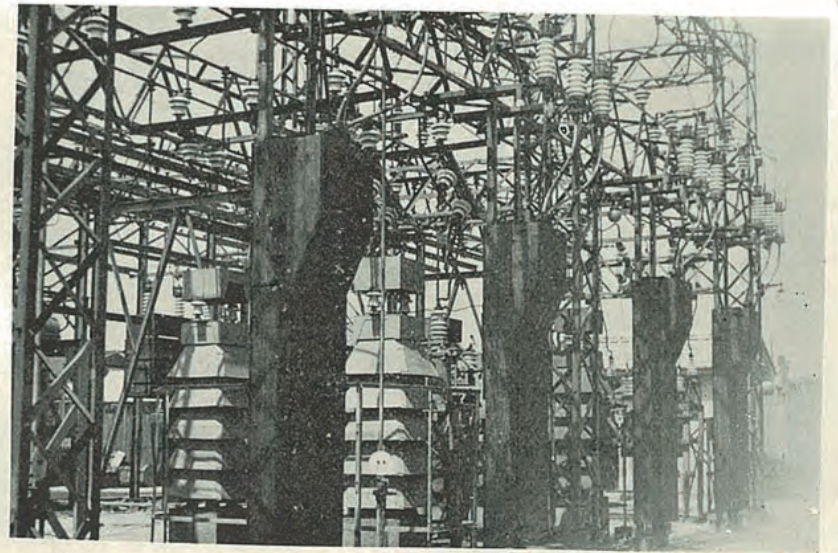
労働紛争議要求別表

要 求 別	月 別												合 計
	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
労 働 協 約	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
賃 金 増 額	2	—	1	2	1	—	1	1	2	1	—	—	11
賃 金 支 払	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
夏 季 手 当	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年 末 手 当	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	5	8
賞与その他賃金要求	2	1	1	1	—	—	1	1	—	—	1	—	8
組合に対する不当干渉	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	2
人事に関する事項	1	—	1	—	2	—	1	—	1	1	—	—	7
解雇反対及び復職要求	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	6	1	4	3	3	—	4	2	3	2	5	5	38

第17編 ガス、電氣



ガス工場



段原変電所

ガ ス

前年に引続き供給区域の拡張に努め、市内中心部より逐次周辺地区（西北部）への敷設を実施し、現在同地区への供給を開始している。

需要戸数も本年末で8,740戸となり、前年に比し約25%増加し、また戦前の73%までに復旧した。最近ではガス諸器具の販売は、とみに活発となり、ガス風呂・料理器・ストーブ等の特殊器具の販売も逐次増加しているので、今後益々ガス需用の増加が予想される。

次に生産設備も、順次戦前に復旧し円滑な供給を行つてゐるが、10月より行われた炭労争議により石炭の確保が困難となり、止むを得ず2月には2旬にわたり時間制限供給を実施したが、争議の解決により昭和28年当初には石炭の確保にも見通しがついたので、時間制限供給を廃止し市民の文化生活の向上に努力している。

生産設備状況

（広島瓦斯株式会社調）

区 分	発生炉	ガス溜	排送機	圧送機	脱硫器	冷却器	揚炭機	装炭機	敷設ガス管	屋内管
	門	基	台	台	基	基	基	台	m	m
原爆前設備数	8	2	3	2	3	4	1	1	264,300	112,302
現在設備数	7	2	3	2	3	4	1	1		
稼働数	5	1	2	2	2	4	1	1	285,462	80,355

ガス及び副産物生産量

区分 月別	石炭 消費量	ガス 生産量	コークス 生産量	コール タル生産 量	区分 月別	石炭 消費量	ガス 生産量	コークス 生産量	コール タル生産 量
	トン	m ³	トン	トン		トン	m ³	トン	トン
1月	1,176	576,404	809	47	8月	781	417,788	530	27
2	1,233	578,710	845	49	9	907	452,490	611	32
3	1,117	556,600	764	45	10	982	524,960	652	34
4	997	502,530	632	40	11	1,091	555,030	731	38
5	943	501,275	648	33	12	1,232	534,300	828	43
6	933	475,040	637	33					
7	927	457,970	638	32	合 計	12,319	6,203,147	8,385	453

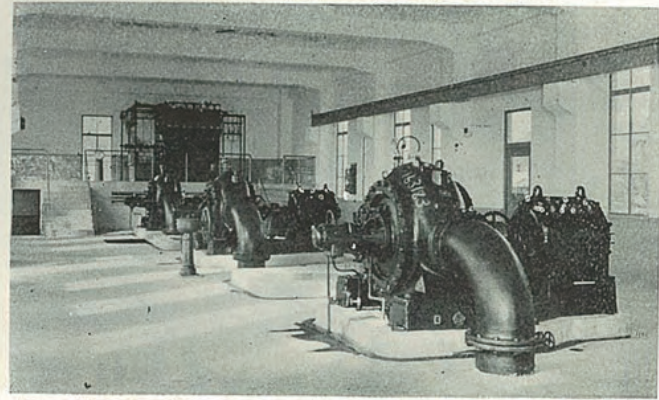
需用戸数

工業用	公用	医療用	商業用	家庭用	自家用	合 計
戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
26	45	159	1,123	7,376	11	8,740

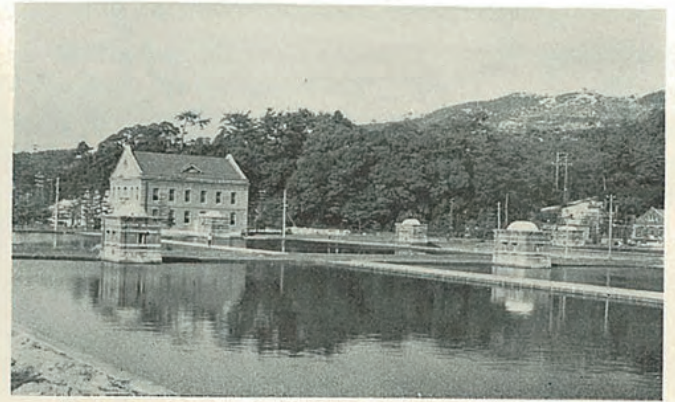
第18編 上水道

第18編 上水道

策士水館



送 水 ポ ン プ



水 源 池 (浄水場)

沿 革

清流太田川のデルタに位し、7つの川をまたげて「水都広島」の名をほしいままにする広島市も、往時は良質の地下水に恵まれず、市民の不便は言語に絶するものがあつた。よつて市では、市制施行当初（明治22年4月）から上水道の必要性を痛感していたのであるが、何しろ多大な経費を必要とするので、当時の市財政としては、時期を待つより外はなかつた。しかるに明治27年に至りようやくこれが具体計画に入り、同年4月まづ英人バルトン氏を招いて実地調査の上、上水道布設計画案をものにし、翌28年バルトン氏案による上水道布設方を本省に申請したのであるが、同年11月突然臨時広島軍用水道布設官制が発布となり、本市の申請は一応却下の憂目を見るに至つた。

ここにおいて、止むを得ず軍用水道へ市水道の接続方を申請したところ、さいわい許可されたので、軍用水道と並行して接続水道の工事を進め、3/年8月両者完成（工費、軍側64万円市側29万5千円）と同時に向う30年間軍用水道の許可を得、両者を合わせて市において管理することとなり、32年1月から軍並びに市内一円に対し、いよいよ待望の給水を開始したのである。その後市勢の発展に伴い明治40年3月から4/年3月まで工費14万6千円、大正10年5月から13年6月まで工費190万円、昭和5年8月から10年3月まで工費202万5千円それぞれ拡張工事を実施し、これと昭和7年3月に完成した水源地区急施工事によつて1日最大10万立方メートルの給水能力を有するに至つた。

一方支那事変の拡大と、当時の国際情勢よりして、将来広島市の飛躍的膨張が予想せられていたので市では、昭和16年度において同30年末における1日最大給水量20万立方メートルとする第4期水道拡張工事を計画したのであるが、工事着手と同時に太平洋戦争に突入し、情勢の悪化に伴い折角の計画も、ほとんど中止状態に立ち至つたばかりでなく、20年8月には「原爆」のため上水道施設もまた壊滅的被害を被つたのである。

終戦後、市街の復旧に並行して戦災復旧工事に全力を注ぎ、26年3月大体これを完了、1日6万立方メートルの給水能力にまで復旧することを得たのであるが、市街の復旧は実に目覚ましいものがあり、6万立方メートルの能力をもつてしては、到底これをまかない切れない状態となつた。この難関を切り抜け、なお将来の市勢の発展に対応するためには、この際急遽拡張工事を実施するの外、途はないので、市では前記第4期水道拡張計画に再検討を加え、これが根本的計画変更を行い、昭和38年度における総人口を40万人と推定し、給水人口35万人/日/人当たり最大給水量0.340立方メートル、1日最大給水量12万立方メートルの設備を目途として昭和26年7月以来年々その工事を急いでいる。

水道設備拡張推移

(水道局調)

区 分	起 工 年 月	完 成 年 月	計画配水量 (人/日)		計画配給人口
			平 均	最 大	
創 設	明治29.5	明治31.8	70.79	106.79	120,000
第1期拡張工事	" 40.3	" 41.8	70.79	106.19	160,000
第2期 "	大正10.5	大正13.6	99.11	148.65	250,000
旧配水池覆蓋工事	" 13.6	" 14.2	—	—	—
塩素滅菌設備	" 14.1	" 14.8	—	—	—
内燃機関すえ付	" 15.4	昭和2.3	—	—	—
油 送 設 備	" 15.8	" 2.3	—	—	—
第3期拡張工事	昭和5.8	" 10.3	127.40	191.14	400,000
比治山ポンプ所設置	" 14.5	" 15.2	—	—	—
水源地応急施設	" 14.12	" 17.3	—	—	400,000
元字品水圧調整場工事	" 25.12	" 26.3	—	—	—
大洲水圧 "	" 26.2.28	" 26.3.31	—	—	—
第4期拡張継続工事	" 26.7.10	—	230.00	340.00	350,000
送 水 ポ ン プ 室	" 27.2.27	" 27.12.10	354.00	413.00	—

水道復旧並びに補強改良事業種別

事業名	総工費	昭和27年度 まで実施額	昭和28年度以降 残工事額	摘 要
	円	円	円	
水道事業費	223,022,000	54,320,000	168,702,000	区画整理事務に伴う配水管の移設工事(昭和24年度より5ヵ年計画)
第4期拡張工事	1,035,000,000	60,000,000	1,025,000,000	第4期水道拡張工事(昭和27年度より6ヵ年計画)
災害復旧事業費	51,900,000	12,400,000	39,500,000	昭和26年度ルース災害復旧費
合 計	1,359,922,000	126,720,000	1,233,202,000	

配水施設状況

取水、ろ過池、送水ポンプ設備状況

区 分	戦 前	戦 後
取水設備	最大取水能力 0.99m³/s (1台能力0.33)	1.98m³/s (1台能力0.33)
	最大送水能力 0.99m³/s (1台能力0.33)	1.98m³/s (1台能力0.33)
	取水用ポンプ台数 4 予備(1)	6 予備(2)
ろ 過 池	池 数 10 予備(2)	12 予備(2)
	有効総面積(予備) 16,590m² (3,316)	21,496m² (3,592)
	1 昼夜標準ろ過速度 7.2m	5.0m
送水ポンプ	1 昼夜ろ過能力 95,594m³	89,570m³
	塩素滅菌設備 3基	4基
	台 数 10台 予備(5) [内ディーゼル内燃機直結ポンプ3台]	10台 予備(5) [内ディーゼル内燃機直結ポンプ3台]
名 称	うず巻タービンポンプ	うず巻タービンポンプ
型 式	横 型	横 型

配 水 管 (単位=米)

管 種 別 (管 径 別 (号))	鋼鉄管 延長 (鋼管を 含む)	エ タ ニ ッ ト バ イ プ 延 長	水 管 橋			
			水管橋	添 加	伏 越	
75	5,189	—	—	—	—	—
100	253,029	2,575	—	—	—	—
125	19,092	—	—	—	—	—
150	35,000	800	—	—	—	—
175	7,350	—	—	—	—	—
200	7,477	—	—	—	—	—
250	23,444	—	—	—	—	—
300	17,712	—	—	—	—	—
350	6,381	—	—	—	—	—
400	12,986	—	新大橋	—	—	—
450	13,437	—	猿猴橋	—	—	—
500	7,316	—	—	—	—	—
550	2,958	—	—	—	—	—
600	376	—	—	—	—	—
650	753	—	—	—	—	—
700	—	139	—	—	—	—
750	3,972	—	栄 橋	—	—	—
900	253	—	神田橋	—	—	—
合計	422,725	3,574	計 4	計 16	計 4	

口径別量水器設置数

小口徑									大口徑								合計
13mm		16 "		20 "		25 "		計	mm	"	"	"	"	150 "	計		
單匣	復匣	單匣	復匣	單匣	復匣	單匣	復匣	單匣	復匣	30	40	50	70	100	以上		
—	4,228	—	—	—	1,092	—	1,431	—	6,751	—	244	119	76	43	24	506	7,257

配 水 状 況
給水戸数及び栓数

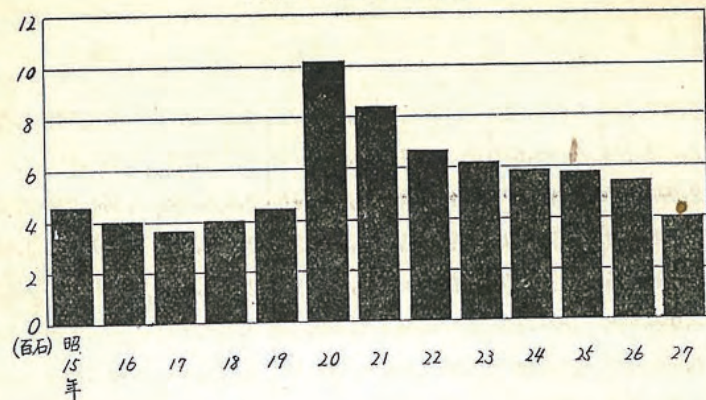
		計 量 栓							計	
		家事用	官公署 学校用	営業用	工場用	湯屋 営業用	船舶用	原動力 工事用		共用
昭和24年 12月現在	給水栓数	138	254	1,718	202	58	2	24	—	2,396
	給水戸数	138	254	1,718	202	58	6	24	—	2,400
昭和26年 1月現在	給水栓数	896	9,559	5,857	561	66	—	40	—	16,979
	給水戸数	334	256	2,638	189	66	—	—	—	3,543
昭和27年 1月現在	給水栓数	1,371	9,332	6,801	705	836	3	164	—	19,262
	給水戸数	865	277	3,463	278	76	—	164	—	5,123
昭和28年 1月現在	給水栓数	5,533	10,011	9,346	535	847	—	212	6	26,491
	給水戸数	1,719	906	3,743	111	84	—	212	67	6,842
		定 額 栓						合 計		
		専 用	連 合	共 用	計					
昭和24年 12月現在	給水栓数	32,937	—	1,411	34,348	36,744				
	給水戸数	32,937	7,573	7,446	47,956	50,356				
昭和26年 1月現在	給水栓数	49,535	—	1,541	51,076	68,105				
	給水戸数	34,265	7,453	7,218	48,941	52,484				
昭和27年 1月現在	給水栓数	52,328	—	1,491	53,819	73,081				
	給水戸数	35,471	6,305	7,058	48,834	53,957				
昭和28年 1月現在	給水栓数	59,177	—	1,460	60,637	87,128				
	給水戸数	37,600	5,942	6,546	50,088	56,930				

備 考 共用栓内訳 { 昭和24年12月 公設 418 私設 993
 " 26 " 1 " " 604 " 937
 " 27 " 1 " " 536 " 905
 " 28 " 1 " " 444 " 1,016

配 水 状 況 (単位=立方米)

区分	1 月	2	3	4	5	6	7
昭和 15年	2,020,368	1,912,134	2,128,602	2,308,992	2,507,421	2,453,304	2,778,006
" 16 "	2,272,914	2,146,641	2,345,070	2,331,148	2,723,889	2,687,811	2,940,357
" 17 "	2,092,524	1,894,095	2,236,836	2,272,914	2,435,265	2,363,109	2,886,240
" 18 "	1,948,212	1,713,705	1,948,212	1,984,290	2,272,914	2,290,953	2,651,733
" 19 "	2,056,446	1,930,173	2,056,446	2,110,563	2,435,265	2,471,343	2,651,733
" 20 "	2,056,446	1,821,939	2,110,563	2,200,758	2,327,031	2,345,070	2,525,460
" 21 "	1,966,251	1,358,017	2,092,524	2,182,719	2,272,914	2,543,499	2,489,332
" 22 "	2,020,368	1,767,822	2,254,875	2,254,875	2,331,148	2,236,836	2,345,070
" 23 "	2,308,992	2,020,368	2,164,680	2,128,602	2,236,836	2,363,109	2,345,070
" 24 "	2,254,875	1,713,705	2,236,836	2,633,694	2,597,616	2,218,797	2,417,226
" 25 "	2,489,332	1,984,290	2,597,616	2,471,343	2,579,577	2,507,421	2,687,811
" 26 "	2,579,577	2,327,031	2,597,616	2,579,577	2,669,779	2,651,733	2,507,421
" 27 "	2,272,914	2,164,680	2,363,109	2,363,109	2,507,421	2,399,187	2,489,332
区分	8	9	10	11	12	合 計	
昭和 15年	2,669,772	2,543,499	2,525,460	2,417,226	2,417,226	28,682,070	
" 16 "	2,940,357	2,633,694	2,471,343	2,471,343	2,272,914	30,287,481	
" 17 "	2,814,084	2,525,460	2,417,226	2,200,758	2,200,758	28,339,269	
" 18 "	2,723,889	2,417,226	2,327,031	2,164,680	2,182,719	26,625,584	
" 19 "	2,561,538	2,345,070	2,345,070	2,200,758	2,200,758	27,365,163	
" 20 "	1,966,251	1,839,978	1,984,290	2,002,329	2,128,602	25,308,717	
" 21 "	2,507,421	2,218,797	2,272,914	1,984,290	1,767,822	26,156,550	
" 22 "	2,345,070	2,381,148	2,453,304	2,218,797	2,308,992	26,968,305	
" 23 "	2,525,460	2,381,148	2,381,148	2,272,914	2,417,226	27,545,553	
" 24 "	2,778,006	2,669,772	2,669,772	2,435,265	2,579,577	29,205,141	
" 25 "	2,832,123	2,687,811	2,723,889	2,507,421	2,597,616	30,666,300	
" 26 "	2,507,421	2,507,421	2,435,265	2,345,070	2,507,421	30,215,332	
" 27 "	2,723,889	2,507,421	2,543,499	2,345,070	2,200,758	28,880,439	

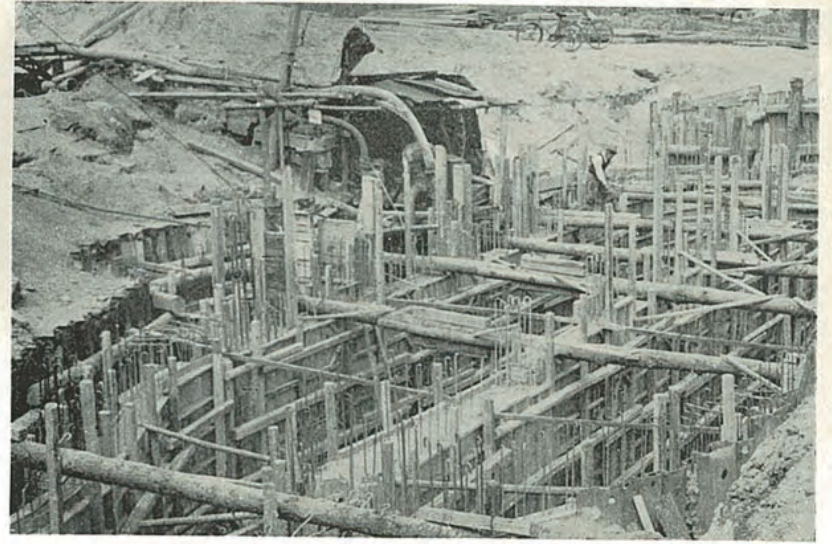
年次別 1人当りの配水量



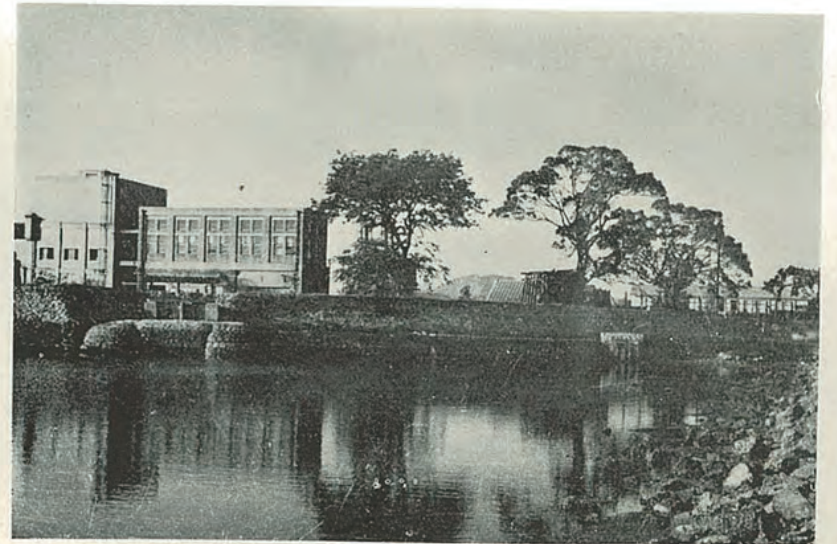
年度別配水状況 (単位=立方米)

種 別 年 度	年間総配水量	1日最大配水量		1日平均 配水量	1日 / 人平均 配水量
		月 日	水 量		
昭和21年度	26,156,550	7.10	85,993	71,661	0.612
" 22 "	26,963,305	3.30	88,662	73,885	0.527
" 23 "	27,545,553	8. 5	90,506	75,467	0.399
" 24 "	29,205,141	9. 8	96,015	80,013	0.399
" 25 "	30,666,300	8.24	100,820	84,017	0.398
" 26 "	30,215,325	9.19	99,337	82,781	0.373
" 27 "	28,880,439	8.27	94,948	79,124	0.337

第19編 下 水 道



下水管埋設工事



樋 門

概 要

本市は、市街地の大部分が高水面よりも低位にある特殊な地勢の関係上、下水道の創設はわが国でも最も古い一つに数えられている。すなわち明治33年には早くも事業計画を立て、同41年3月に着工、主として旧市内一円（排水面積約5/3ヘクタール）に施行し、大正5年5月に完成した。

その後市勢の発展に呼応し年々若干の増補工事を行つて来たが、支那事変を契機として本市は飛躍的發展を見るに及び、下水道設備も全面的改良の必要に迫られ、特に昭和10年度より下水道調査費を予算に計上し下水道改良の計画を急ぐことになった。しかし続いて太平洋戦争がはつたが昭和20年8月6日には原爆の被害をこうむるに至つて折角の貴重な調査資料も烏有に帰してしまつた。

戦後は、都市復興計画の線に沿ひ再び調査検討に数年を費してようやく昭和24年戦災区域はもちろん、全市にわたる根本的な改良下水道計画の樹立を見、同年都市復興5ヵ年計画事業の一環として工事に着手、昭和26年主務省より第1期下水道築造事業（10ヵ年継続）の施行認可を得て目下施行中である。

現在施設の概要

管 き よ

（暗きよ）

（下水課調）

種 別	形 状	延 長	径 別 延 長 内 訳					備 考
			40cm 未 満	40cm 以 上	45 "	100 "	150 "	
陶 管	円 形	141,500 ^m	107,200 ^m	11,100 ^m	23,200 ^m	—	—	改良水道施設
鉄筋コンクリート管	"	20,620	11,400	2,110	4,970	1,460	680	
現 場 打	馬てい形、鉛形、卵形	9,100	—	—	3,570	4,820	710	
合 計		171,220	118,600	13,210	31,740	6,280	1,390	一部同上

（開きよ）

種 別	延 長	幅 員 別 延 長 内 訳			
		100cm未満	100cm以上	200 "	300 "
硬質構造(石積)	197,130 ^m	38,880 ^m	90,760 ^m	42,630 ^m	24,860 ^m

ポンプ場

名	称	ポンプ施設			排水能力		排水区		備考
		ボンプ型式	口径 mm	原動機	馬力 HP	台数 合計 馬力	区	城名	
宇品	抽水所	横型軸流	800	電動機	150	4	宇品町一円	207	改良下水道施設
江波	"	"	"	"	110	1	舟入、江波町	111	
庚午	"	"	750	"	100	3	古田、庚午町	509	
観音	"	"	"	"	"	3	観音町一円	349	改良下水道施設
鶴見	"	"	700	"	"	1	鉄砲、流川、鶴、平塚、鶴見、宝町	110	
御幸橋	"	縦型軸流	800	"	150	2	基、八丁堀、袋、国泰寺、平野町	338	
千田	"	"	"	"	"	2	大手、千田町	100	改良下水道施設
大洲	"	"	"	"	100	3	大洲、矢賀町	504	
東雲	"	"	"	"	"	2	東雲、段原町	234	
大河	"	複吸水渦巻	650	"	80	3	皆美、翠、霞、旭、大河町	403	改良下水道施設
牛田	"	"	600	"	60	1	牛田町一円	124	
榎町	"	"	"	"	"	1	榎、堺、新市町	16	
常盤	"	"	550	"	"	1	白鳥町一円	58	
広瀬	"	"	"	"	"	1	広瀬町一円	19	
青崎	"	"	350	"	30	3	向洋町一円	131	
合	計	—	—	—	—	31	—	3,263	

ポンプ場沈砂池

ポンプ場名称	形式	池数	池の寸法			計画滞留時間	流速 cm/s	附属機関設備	備考
			長さ または 直径 m	幅 m	水深 m				
庚午抽水所	長方形	1	14.00	10.00	3.40	1.00	24.00	スクリーン及制水扉 各1組	改良下水道施設
観音 "	"	1	14.00	10.00	3.40	1.00	24.00	"	
鶴見 "	"	1	10.50	6.00	5.40	0.60	30.00	スクリーン 2組 制水扉 4組	
合 計	—	3	—	—	—	—	—	—	

貯留池

名	称	貯留池の目的	池数	構造	形状寸法			総有効容量	貯留時間	備考
					形状	長さ m	幅 m			
千田	貯留池	放流調節	1	土留石積護岸	てい形	320.00	100.00	3.00	時間 3	
吉島	"	"	1	"	"	160.00	130.00	2.50	8	
江波	"	"	1	"	"	230.00	150.00	2.70	6	
南観音	"	"	2	"	長方形	160.00 250.00	73.00 70.00	1.40 1.60	3	
庚午	"	"	2	"	てい形	175.00 320.00	57.00 43.00	0.86 1.80	2	
青崎	"	"	1	"	"	145.00	13.00	1.10	1	
合 計	—	—	8	—	—	—	—	—	—	

樋門及び吐口

種 別	型 式	構 造	数 量
樋 門	上、下開閉式	鉄製扉、電動捲揚	1カ所
	{ 上、下開閉式	木製扉、手動捲揚	44
	{ 自在扉開閉式	" "	12
計	—	—	57
吐 口	自在扉開閉式	木製扉	93
	—	—	93

かんがい所

名 称	ポンプ施設						灌漑能力 m ³ /s	灌漑区域	
	型 式	口径	原動機	馬力	台数	合計馬力		地 域	面 積
空 鞆 灌漑所	複吸水渦巻	mm	電動機	HP	合	HP	m ³ /s	観音農区	ヘクタール
小 網 "	"	300	"	25	2	50	0.17	"	86
河 原 "	"	400	"	80	1	80	0.50	江波 "	79
吉 島 "	"	300	"	25	1	25	0.19	吉島 "	60
新多聞 "	"	350	"	30	2	60	0.44	東雲 "	167
合 計	—	—	—	—	7	268	1.64	—	478

私設下水道普及状況

私設下水道施設義務区域			私設下水道施設済区域			普及率	昭和27年度 施設済戸数
面積	戸 数	人 口	面積	戸 数	人 口		
ヘクタール	戸	人	ヘクタール	戸	人	%	戸
850	27,827	109,960	455	14,300	56,470	50	633

改良下水道計画概要及び実施状況

改良下水道は、合流式を採用して同一管きよ内に雨水及び汚水（家庭汚水、し尿、工場排水）を収容し、附近の水流に直接放流することなく、すべて流末に設ける下水処理場に導流して適当に処理した上、河海にポンプ排水することとし豪雨時管きよ内の下水量が増加して平素汚水量の3倍以上に達した場合に限り、超過水量を余水吐より放流する計画で、河海の清浄保持につとめると共に、し尿処理の問題をも同時に解決して真に平和記念都市の衛生文化施設としての使命を果たさんとするものである。なお全体計画概要は次のとおりである。

改良下水道全体計画概要

計画区域	排水面積	計画排水人口	排水方式	下水量 mm/h	雨水量 mm/h	基準式 ピーク係数	下水道基準 1/10日最大汚水量	管きよ m	ポンプ場 カ所	汚水処理場 カ所	施設 カ所	事業費概算 億円
全市域 (山林その他を除く)	ヘクタール 約 3,400	人 400,000	合流式	45	ピーク係数 ピーク係数	ピーク係数	490	約353,000	15	6	カ所	約 30

この計画を実施するには、総工費約30億円の巨額を要する大事業であつて、本市財政の現状よりして到底短時間で完成することは不可能であるから、これを第1期、第2期に分けて、その重要度に応じて施行する方針である。
なお、施設事業別の計画概要及びその進捗状況は次表のとおりである。

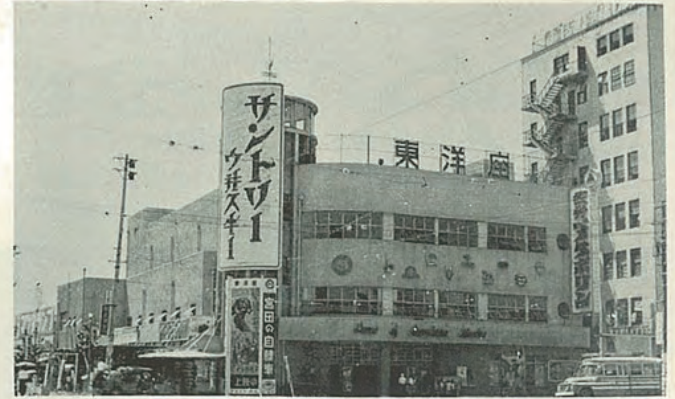
事業別計画概要

事業名	施行区域	排水面積 ヘクタール	計画排水人口	管きよ m	ポンプ場 カ所	汚水処理場 カ所	起工年月日	完成予定 年月日	事業費概算 千円
第1期下水道築造事業	被災区域一円	1,170	163,400	221,100	4	カ所	昭26. 4. 1	昭36. 3. 31	1,579,600
宇品幹線下水道築造事業	宇品町一部	30	4,300	490	—	—	" 27. 4. 1	" 29. 3. 31	11,000
排水施設整備事業	牛田、尾長、大淵、段原、旭、吉島、江波、草津	1,230	121,000	(幹線水柱) 11,900	5	—	" 26. 4. 1	" 36. 3. 31	572,000 (都市計画)決定のみ認可済
計	—	2,430	288,700	239,490	9	1	—	—	2,162,600

事業別進ちよく状況

事業別	年度別 施行済	施 種	施 別	行		客 数	客 量	事業費	進ちよく率
				工	種				
第1期下水道築造事業	昭和26年度 施行済	管きよ築造	管きよ築造	千田、鶴見、江波排水区幹枝線築造	管きよ築造	4,740m	4,740m	54,851千円	3%
		ポンプ場 "	ポンプ場 "	鶴見ポンプ場築造(第1期)	ポンプ場 "	1カ所	1カ所	11,200	12
	昭和27年度 施行済	管きよ築造	管きよ築造	千田、鶴見、江波、三條排水区幹枝線築造	管きよ築造	6,670m	6,670m	66,051	4
		ポンプ場 "	ポンプ場 "	鶴見ポンプ場築造(第2期)	ポンプ場 "	(継続) 1カ所	(継続) 1カ所	53,829	3
宇品下水幹線築造事業	昭和27年度 施行済	管きよ築造	管きよ築造	管きよ築造	管きよ築造	(管きよ) 11,410m	(管きよ) 11,410m	16,000	17
		ポンプ場 "	ポンプ場 "	鶴見ポンプ場築造(第2期)	ポンプ場 "	1カ所	1カ所	69,829	4
	昭和27年度 未現在	合 計	合 計	合 計	合 計	(管きよ) 11,410m	(管きよ) 11,410m	135,880	8
		管きよ築造	管きよ築造	管きよ築造	管きよ築造	220m	220m	6,000	54
排水施設整備事業	昭和26年度 施行済	管きよ築造	管きよ築造	管きよ築造	管きよ築造	(管きよ) 220m	(管きよ) 220m	6,000	54
		ポンプ場 "	ポンプ場 "	江波ポンプ場築造(第1期)	ポンプ場 "	(継続) 1カ所	(継続) 1カ所	6,412	1
	昭和27年度 施行済	管きよ築造	管きよ築造	管きよ築造	管きよ築造	1カ所	1カ所	5,973	1
		ポンプ場 "	ポンプ場 "	江波ポンプ場築造(第2期)	ポンプ場 "	(ポンプ場) 1カ所	(ポンプ場) 1カ所	12,333	2
総 計	昭和27年度 未現在	合 計	合 計	合 計	合 計	(管きよ) 11,630m	(管きよ) 11,630m	154,265	7

第20編 市民生活



映 画 館 (東洋座)



タバコの包装 (日本専売公社広島地方局)



広 島 中 央 放 送 局

消費生活

物価と家庭経済

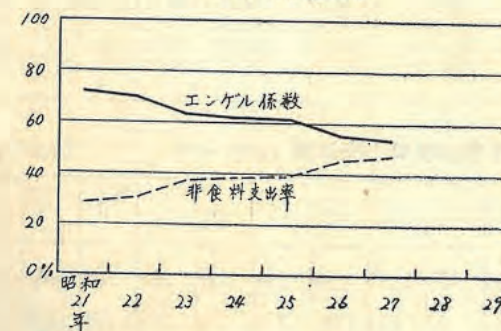
昭和27年中の本市の消費者物価指数は、一部を除いてはほぼ横ばい状態をたどってきた。その中で衣料品は崩落著しく、12月の指数は朝鮮動乱前の水準以下に下落してきた。店頭には商品が山積しており、顧客の購買を促進する策として現金取引から月お販売、掛売への移行も目立ち、一方では活発な販売宣伝と対消費者サービスの強化が顕著となり、ようやく往年の自由経済時代の状況に復帰しつつある。

このように物価が部分的にも安定すれば消費者側には有利となるが一般的に雑費、光熱費、娯楽費の支出率が増加して家計は依然余裕がなく、賃金向上を要求する勤労者の叫びが後をたたない。戦後70を上廻っていた市民生活上のエンゲル係数は食糧事情の好転とともに逐年下落してきたが、食糧の絶対量の不足のために今後係数の下降にも限界があるであろうがそれでも27年/2月には別表の如く50.4まで下落し辛うじて文化生活を営める域に達してきた。これは戦前のわが国の40内外の係数に比較すればはるかに及ばないが、戦後のあの食糧難の時代を回顧すれば市民の家計は今ようやく一息ついたところであろう。



中央卸売市場の取引風景

エンゲル係数推移



広島市自由物価小売価格指数 (昭和22年1月~12月=100) (広島商工会議所調)

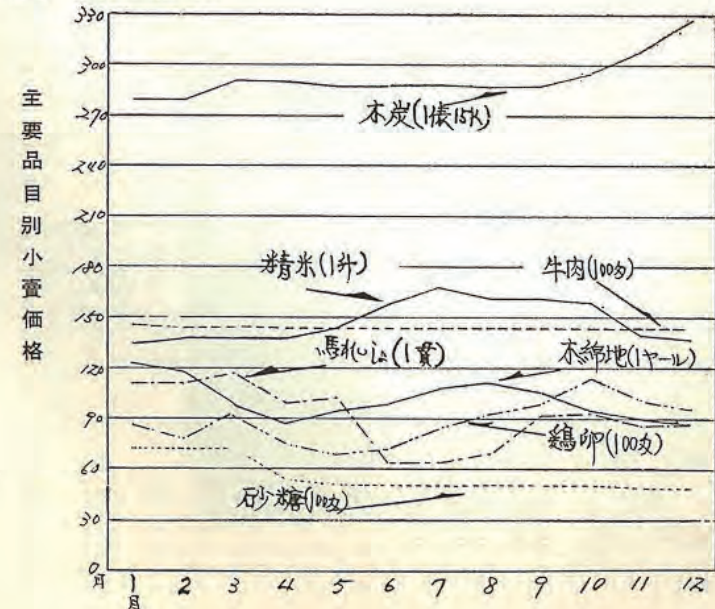
年 月 別	区 分	総平均指数	食料品	衣料品	身廻品	雑品	建築材料	燃料品
昭和21年平均		49.4	46.3	42.3	36.8	54.5	52.0	64.2
" 22 "		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
" 23 "		191.9	152.1	185.5	161.7	190.9	194.5	226.8
" 24 "		203.8	172.3	226.7	178.7	205.1	202.9	242.0
" 25 "		157.4	137.7	153.4	124.6	140.1	169.4	215.1
" 26 "		194.0	147.1	184.9	149.6	170.4	222.3	289.5
" 27 "		191.6	153.0	138.5	146.5	153.2	218.5	340.1
1 月		199.9	161.9	162.5	154.5	157.8	228.7	334.3
2		198.2	155.7	151.0	150.2	157.8	228.5	345.8
3		196.0	155.7	144.7	150.2	155.4	222.6	345.8
4		190.2	152.8	132.6	142.3	155.0	219.3	339.3
5		187.1	146.2	132.5	142.3	153.1	218.1	330.2
6		185.4	144.6	130.8	142.3	152.9	211.4	330.2
7		187.3	153.8	131.1	145.1	147.1	210.0	330.2
8		190.1	160.9	142.7	145.1	148.6	213.1	330.2
9		188.8	156.7	139.0	141.1	152.9	213.1	330.2
10		189.9	155.4	137.7	147.0	152.5	211.8	334.3
11		193.7	146.0	133.8	149.1	152.1	219.9	361.4
12		193.1	139.9	123.2	149.1	152.1	225.3	369.3

昭和27年広島市自由物価小売価格 (単位=円) (総理府統計局調)

品名	月別 単位	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
精米	1升	135	137	137	138	144	159	163	163	161	158	146	137
小麦粉	1貫	231	230	230	236	236	204	204	196	192	192	191	193
食パン	100匁	23	23	23	24	24	24	24	24	23	24	23	24
いわし	"	27	19	22	21	16	13	19	17	17	19	22	24
煮干	"	83	84	83	83	78	79	79	80	73	76	82	86
牛肉	"	146	144	144	143	143	144	144	144	144	144	144	144
豚肉	"	151	149	148	143	144	143	144	139	138	130	130	123
牛乳	1本 (1合)	13	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13
鶏卵	100匁	86	78	74	70	70	73	85	93	100	113	101	97
甘しよ	1貫	76	76	80	72	76	82	113	144	98	70	59	60
馬れい しよ	"	112	112	117	101	103	64	64	84	92	94	86	87
大根	100匁	4	5	5	3	—	—	8	12	12	8	4	2
玉ねぎ	"	13	13	13	15	10	6	7	7	8	13	14	14

乾のり	10枚	48	51	50	53	53	54	57	59	61	64	69	66
豆腐	100匁	15	15	15	14	13	13	13	15	15	15	15	15
しよ油	1びん (2立)	171	171	171	171	168	164	164	164	163	162	166	167
みそ	100匁	29	29	29	29	29	28	28	27	28	27	28	30
砂糖	"	73	71	72	53	51	50	51	50	51	50	49	49
食用油	1合	39	39	39	38	38	36	36	35	36	35	33	32
りんご	100匁	34	33	37	41	45	52	56	55	50	25	21	23
木綿地	1ヤ ール	123	116	98	87	95	99	109	111	104	95	90	86
毛織地	"	2,144	1,863	1,688	1,513	1,475	1,542	1,607	1,664	1,656	1,656	1,656	2,389
ぬい糸	5匁	30	28	27	25	25	23	23	21	21	21	21	20
毛糸	1ポ ンド	2,031	1,900	1,811	1,756	1,706	1,628	1,644	1,783	1,819	1,807	1,806	1,807
靴下 (男子用)	1足	76	70	68	66	67	69	79	67	66	62	57	56
木炭	1表 (15kg)	280	280	292	291	287	288	289	287	287	295	308	327
まき	1束	32	32	33	32	32	31	31	31	31	32	32	34
なべ	1コ (フル用)	245	239	236	238	223	224	224	225	224	224	226	226
ちり紙	100枚	11	11	11	11	11	11	10	10	9	9	9	9
石けん	1コ	40	39	39	39	39	39	39	30	30	30	30	30

備考 円以下4捨5入

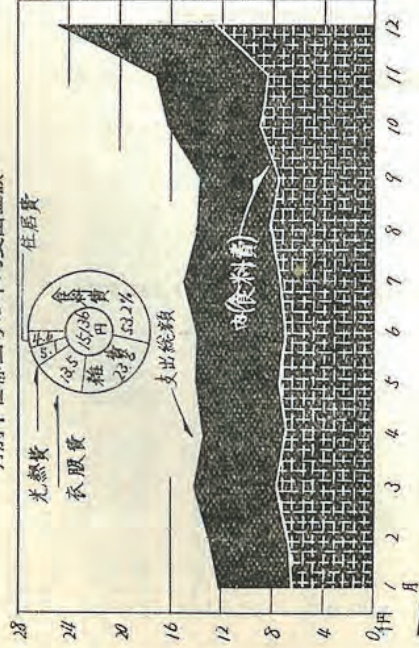


広島市における1世帯当り1カ月間の月別平均支出金額

(総理府統計局調)

区分 年月別	合計		内 容				職		貯蓄及び 負担費		被調査 世帯数
	金額	昭和22年 を100と して対比	食	料	費	被服費	光熱費	住居費	雑費	平均人員	
昭和21年平均	2,221	50.5	主 食	非主食	計	円	円	円	円	円	人
" 22 "	4,397	100.0	1,117	978	1,597	185	58	141	240	22	4.45
" 23 "	7,274	165.4	1,740	2,865	4,605	333	302	335	1,198	208	4.35
" 24 "	10,072	231.4	2,532	3,633	6,215	964	337	474	2,032	673	4.42
" 25 "	9,535	216.9	2,332	3,463	5,800	1,031	425	332	1,897	830	4.39
" 26 "	12,376	281.6	2,614	4,202	6,816	1,634	573	505	2,798	2,226	4.53
" 27 "	15,136	344.2	3,085	4,967	8,052	2,051	767	689	3,577	2,722	4.41
1 月	12,146	276.3	2,273	4,043	6,316	1,303	765	365	3,396	2,179	4.44
2 月	12,936	294.2	2,814	4,119	6,933	1,415	917	430	3,241	2,994	4.50
3 月	14,214	323.3	3,036	4,743	7,779	1,558	848	695	3,344	2,202	4.21
4 月	13,494	306.9	2,664	4,331	7,015	1,760	735	350	3,604	1,930	4.12
5 月	13,926	316.7	3,043	4,492	7,535	1,392	580	824	3,595	3,489	4.32
6 月	13,925	316.7	3,033	4,281	7,319	1,702	634	935	3,335	2,803	4.35
7 月	14,963	340.4	2,968	4,612	7,580	2,245	599	935	3,609	3,325	4.50
8 月	14,093	320.5	2,650	5,631	8,331	1,370	598	505	3,289	2,173	4.64
9 月	13,724	312.1	2,979	4,692	7,661	1,473	763	634	3,193	2,421	4.47
10 月	16,226	369.2	3,173	5,811	8,984	2,287	692	734	3,529	2,717	4.45
11 月	17,144	389.9	3,510	5,111	8,621	3,117	792	656	3,958	2,783	4.42
12 月	24,833	564.8	4,867	7,653	12,520	4,989	1,328	1,169	4,827	3,712	4.53

月別1世帯当りの平均支出金額



昭和27年米食率 (一般消費者及び妊婦加配米)

月別 区分	総数											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
内地米	144	16	10	11	11	12	12	13	12	12	12	11
外地米	41	5	4	4	4	3	3	2	3	3	3	4

昭和27年精米配給数量 (単位=トン)

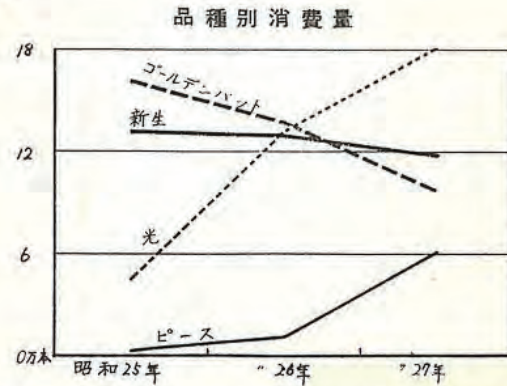
(農水産課調)

消費別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	21,143	1,437	1,599	1,794	1,737	1,752	1,698	1,740	1,768	1,751	1,758	1,758	2,351
一般消費者配給	19,219	1,252	1,435	1,563	1,577	1,562	1,552	1,601	1,627	1,612	1,608	1,606	2,209
一般労務加配	1,043	93	85	123	77	113	75	81	77	77	84	84	79
特定業務加配	842	90	76	101	80	74	58	55	61	61	63	63	60
妊婦病人加配	34	2	3	2	3	3	3	3	3	1	3	5	3

備考 単位以下4捨5入

煙草の需給状況

本年中の市内における煙草の売さばき状況は、総体的には漸増の傾向を示してきた。これを品種別にみると、従来需給の多かった新生、ゴールデンバットが急激に減少し、ピース、光がこれに代つて著しく増加して全体の51%を占めている。これは、これらの煙草がパチンコの景品として出廻り需要を増加したこと、また、ピースの品質が改善されたこと、あるいは市民の経済生活が幾分か安定してきたことなどにより、好みが移行してきたものと思われる。これを消費者1本当りの平均価額の変せんでみると、昨年の2円23銭に対して本年は2円53銭となり約14%の支出の増加となつている。また、広島地方局の市内売上総額は1億余円で昨年よりも約2割多くなつている。この外、輸入煙草が3,182千円販売されている。



広島地方局（直轄工場）の煙草製造高（日本専売公社広島地方局調）

品名別 年月別	総 数	ピース	光	新 生	ゴールデンバット	總
昭和23年	2,846,019	640,715	964,532	—	653,790	536,932
" 24 "	4,110,137	125,061	1,033,013	779,016	1,187,020	935,027
" 25 "	4,385,040	27,540	535,321	1,022,373	2,553,663	196,143
" 26 "	4,635,891	—	1,692,317	1,256,219	1,712,315	25,040
" 27 "	4,980,325	758,282	1,714,759	1,259,212	1,248,072	—
1 月	333,890	—	130,014	90,012	118,864	—
2	405,016	—	133,014	126,354	95,638	—
3	405,671	—	132,994	113,602	109,075	—
4	359,920	59,321	119,215	75,348	106,036	—
5	410,362	95,400	103,800	81,765	124,377	—
6	440,333	121,140	128,330	82,716	103,102	—
7	490,609	126,130	153,400	86,010	120,019	—
8	423,209	56,440	163,701	104,115	93,953	—
9	423,517	74,430	141,420	172,459	40,153	—
10	442,074	69,221	154,441	172,630	45,782	—
11	392,194	79,700	115,330	70,407	126,707	—
12	393,525	76,400	79,000	83,784	154,341	—

広島市における煙草消費数量（単位＝千円）

品名別 年月別	総 数	朝 日	ピース	光	總	新 生	ゴールデンバット	ハツピー	ききよう	みのり	富貴煙	特殊品	営業所数
昭和25年	454,037	1,463	3,946	46,216	71,331	132,286	162,188	7,593	10,836	17,477	24	622	307
" 26 "	439,363	2,083	11,153	132,037	7,304	130,610	137,182	—	10,040	8,275	—	679	599
" 27 "	476,499	2,869	62,166	181,836	—	118,608	97,990	—	3,696	8,833	—	501	566
1 月	30,476	203	969	9,885	—	7,741	9,673	—	463	1,494	—	43	—
2	34,090	283	1,853	12,461	—	10,027	9,004	—	191	254	—	12	—
3	36,045	252	1,548	13,593	—	11,493	7,743	—	351	997	—	63	—
4	39,334	293	4,147	14,803	—	10,282	8,629	—	401	756	—	23	—
5	41,867	236	4,528	16,202	—	9,990	9,624	—	352	857	—	78	—
6	39,448	22	5,151	16,201	—	9,603	7,564	—	279	591	—	32	—
7	40,157	364	5,540	17,022	—	9,099	7,347	—	219	511	—	55	—
8	44,527	162	6,420	16,980	—	10,894	8,955	—	322	733	—	60	—
9	35,102	233	5,747	12,556	—	8,925	6,842	—	216	559	—	19	—
10	41,207	315	7,495	15,706	—	9,669	7,131	—	244	599	—	48	—
11	40,640	270	7,923	15,198	—	9,251	7,040	—	270	653	—	30	—
12	53,606	231	10,840	21,229	—	11,629	8,432	—	333	824	—	33	—

広島市における塩消費数量 (単位=kg)

区分 年月別	総 数	小売人売	直 接 消費者売	区分 月別	総 数	小売人売	直 接 消費者売
昭和25年	2,490,021	1,396,140	1,093,881	6 月	350,342	221,742	138,600
" 26 "	2,976,455	1,552,570	1,423,886	7	412,865	243,105	164,760
" 27 "	5,679,862	3,641,017	2,038,845	8	424,599	250,187	174,412
1 月	497,427	318,987	178,440	9	447,553	275,633	171,880
2	365,147	167,575	197,572	10	506,837	350,607	156,280
3	331,007	183,516	197,491	11	723,930	576,290	147,640
4	320,670	162,700	157,970	12	915,554	700,114	215,440
5	323,871	185,511	138,360				

中央卸売市場

昭和24年秋落成以来、満3年余を経過した本市の中央卸売市場は、年とともに取引量が増大し、27年中の取引量は前年に比較して約45%も増加し、市場の機能を十分発揮してきた。

しかし、取引量の増大するに伴って現有売場では狭あいとなつたので、半馬けい当所の一部を売場に充てるなど施設を最高度に利用して急場をしのいでいる現状である。また、冷蔵庫の利用の増加に伴って業者より拡張の要望もある。昨春より、じん速で公正明朗な取引を期するために果実部にせり取引を断行したが、本年に入つて軌道にのると入荷量は前年に比して37%も増加した。更にそ菜部においてもせり取引を実現すべく協議され、漸次取引の根本的な改善気運が熟しつつある。

事 務 機 構

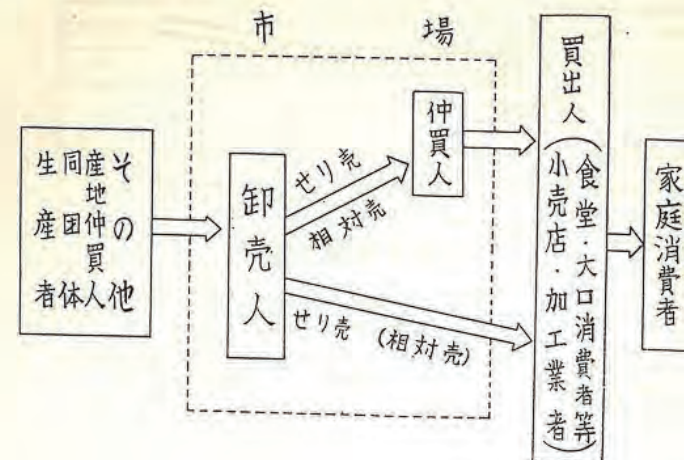
管 理 事 務 所 (営業者の業務監督と市場設備の管理)

市 場 長 { 管理課 (庶務係、管理係)
業務課 (農産品係、水産品係)

運 営 委 員 会 (市場運営の重要事項の審議)

取引改善委員会 (市場取引の改善事項の審議)

取 引 機 構 (そ菜)



場 内 営 業 者

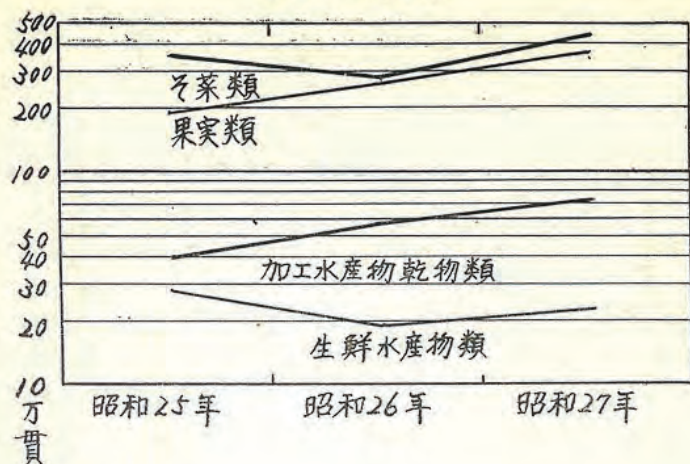
区 分	総 数	そ 菜	果 実	加 工 水産物	鮮 魚	び ん 詰 かん詰	漬 物	鶏 卵
卸 売 人	22	3	6	5	3	3	1	1
仲 買 人	47	11	18	9	—	—	9	—

備考 以上の外に附属営業人32人がいる。

月 別 入 荷 状 況

品 種 別 年月別	総 数	そ 菜 類	果 実 類	生 鮮 水産物類	加工水産物 及び乾物類	味 所 漬物類
昭和25年	貴	貴	貴	貴	貴	貴
" 26 "	6,127,655	3,476,512	1,965,565	285,194	400,393	—
" 27 "	6,242,977	2,824,919	2,652,561	193,029	572,469	—
	9,045,284	4,370,494	3,640,309	225,329	718,293	90,859
1 月	555,327	283,782	196,336	16,883	51,756	6,570
2	531,790	321,651	143,182	17,977	41,344	7,626
3	566,376	331,478	160,865	21,531	44,883	7,618
4	529,442	310,736	152,635	17,976	40,265	7,780
5	553,322	344,981	133,972	16,963	48,862	8,544
6	646,106	370,333	193,054	16,905	58,233	7,576
7	786,369	423,961	286,830	16,951	51,829	6,798
8	919,900	348,740	493,922	16,544	53,552	7,132
9	698,112	349,444	251,509	16,759	70,202	10,198
10	836,491	333,607	394,874	19,441	79,474	9,095
11	995,814	413,855	464,249	19,031	92,044	6,635
12	1,426,235	537,916	763,830	28,368	85,834	5,287

品種別入荷状況



地域別入荷状況 (昭和27年中)

品種別 産地別	総 数	そ 菜 類	果 実 類	生 鮮 水産物類	加工水産物 及び乾物類	味 ぞ 漬 物 類
総 数	9,045,284	4,370,494	3,640,309	225,329	778,293	90,859
広 島 県	5,089,307	3,384,641	1,542,918	50,217	65,137	46,394
北 海 道	948,064	93,432	675,553	3,304	175,775	—
青 森 県	23,593	15,553	—	—	8,030	—
秋 田 〃	16,250	16,097	153	—	—	—
山 形 〃	24,138	24,096	42	—	—	—
岩 手 〃	66,157	61,279	—	—	4,878	—
宮 城 〃	39,695	1,344	—	—	38,351	—
福 島 〃	36,755	—	10,810	4,280	21,655	—
群 馬 〃	49,816	49,816	—	—	—	—
茨 城 〃	51,601	30,179	—	—	21,422	—
栃 木 〃	46	—	—	—	45	—
千 葉 〃	59,438	—	—	2,992	56,446	—
埼 玉 〃	27,030	25,950	—	—	—	1,030
東 京 都	1,180	—	—	—	1,180	—
神 奈 川 県	35	—	—	—	35	—

新 潟 〃	5,665	3,971	1,694	—	—	—
山 梨 〃	1,293	—	1,293	—	—	—
長 野 〃	274,862	61,055	203,437	—	—	5,320
静 岡 〃	83,333	51,355	2,030	—	1,943	28,010
愛 知 〃	23,416	15,324	30	—	7,940	122
岐 阜 〃	4,335	4,335	—	—	—	—
富 山 〃	5,181	—	—	—	5,181	—
石 川 〃	3,076	—	2,422	654	—	—
福 井 〃	794	—	—	—	794	—
大 阪 府	9,925	2,895	4,316	—	2,214	—
京 都 〃	145	—	29	116	—	—
和 歌 山 県	5,118	623	4,495	—	—	—
三 重 〃	32,996	—	—	5,530	27,466	—
兵 庫 〃	183,392	175,350	207	—	7,211	624
岡 山 〃	323,244	101,043	220,033	—	2,070	48
鳥 取 〃	95,391	340	72,439	2,422	20,190	—
島 根 〃	195,373	5,358	16,126	55,291	118,598	—
山 口 〃	150,356	24,145	7,614	89,099	29,498	—
香 川 〃	30,330	234	29,749	—	397	—
愛 媛 〃	644,882	57,506	556,090	1,747	29,539	—
徳 島 〃	3,194	560	—	—	2,634	—
高 知 〃	114,233	20,964	87,914	2,436	2,919	—
福 岡 〃	38,372	34,493	3,455	—	424	—
佐 賀 〃	12,017	—	10,344	—	1,673	—
長 崎 〃	73,726	80	5,189	5,553	62,426	468
熊 本 〃	18,776	13,737	3,339	—	1,700	—
大 分 〃	5,216	—	4,128	831	257	—
宮 崎 〃	82,940	69,509	3,843	541	254	8,793
鹿 児 島 〃	29,076	23,114	5,656	306	—	—
そ の 他 台 米 湾 国	1,986 159,441 40	1,986 120 —	— 159,321 40	— — —	— — —	— — —

広島中央魚市場

本市西玄関の水陸両交通の便なる所に、約2千坪の施設を擁し、組合員組織によつて設立され水産業の振興に寄与している本魚市場は、市内は勿論県内8郡及び県外等広範囲にわたり約百万人の食糧に魚類を供給している。将来県内は勿論県外をも販路の対象として大量に移出されるのも間近いことであろう。現在組合員は1,036名にのぼり卸売人は8名で自由に荷引競走が行われている。魚類入荷量は次表に示すごとく毎年増加の一途をたどっている。

魚類入荷数量（広島中央魚市場商業協同組合調）

年 別	昭和23年	" 24 "	" 25 "	" 26 "	" 27 "
入 荷 量	3,566,903 ^貫	5,233,900 ^貫	5,747,894 ^貫	5,825,149 ^貫	6,837,059 ^貫

魚類消費状況（昭和27年中）

消費 別	総 数	市 内	郡 部	加 工
消費数量	6,837,059 ^貫	2,543,336 ^貫	2,057,233 ^貫	2,236,440 ^貫

文 化、娛 楽

社会の安定と都市の復興に伴つて文化的な意欲は急速に拡大し、一面娯楽も強く要求され、近代都市の娯楽施設は観光施設と相まつて都市地域圏の一大アミューズメント・センターを形成し、この都市の繁栄を助長している。

体育施設 本市の健全娯楽、スポーツ競技施設としては県営総合グラウンド、市民グラウンド及び国体開催に当つて充実された各学校の附属体育施設があり、広く一般スポーツ愛好者に利用されている。また年の瀬から私営アイススケート場が開かれ、軽快なリズムに乗つて若い男女がスリルを満喫し連日盛況を極め異彩を放っている。

球 團 昭和25年に結成された郷土球団広島カープは、地元の強力な後援会あるいは地元独得の熱狂的ファンなどにバックアップされて健全娯楽の推進に寄与している。

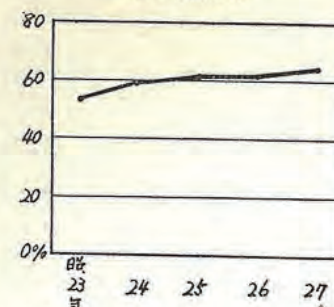
競 輪 昭和27年末より宇品町に市営広島競輪場が開幕され、近県からも多数のファンを吸収し実施の都度数千の観衆を興奮のつばに追いやつている。

演劇映画 映画劇場は、現在24館が興業しており、その外に児童文化会館も各種演劇舞踊等に広く利用されている。

ラジオ放送 放送施設には従来からの広島中央放送局（JOFK）があり、第1、第2放

送を通じて市民の情報、文化、娯楽等に貢献し、現在聴取契約者数は世帯総数の64%に当り毎年上昇している。また中国地方唯一の民間放送施設として、ラジオ中国（RCG）がスタジオを中国ビル

ラジオ普及率



の64%に当り毎年上昇している。また中国地方唯一の民間放送施設として、ラジオ中国（RCG）がスタジオを中国ビルにおき、周波数1,260KC、出力1KWでこの年の10月1日から放送を開始し多彩な番組の下に情報、文化、娯楽等の無料サービスを行つて親しまれている。

以上の如く本市の文化娯楽面の華々しさは、終戦直後の荒涼さに比較する時全く感慨深い復活を見せ、更に急速な前進を続けている。

映 画 劇 場

名 称	所 在 地	名 称	所 在 地
東 洋 座	鉄 砲 町	文 化 映 画 劇 場	八 丁 堀
広島興映映画劇場	段原大畑町	日 本 劇 場	荒 神 町
広島帝国劇場	鉄 砲 町	広 栄 座	大 手 町
ラッキー映画劇場	立 町	有 楽 映 画 劇 場	小 網 町
双葉映画劇場	立 町	衆 楽 映 画 劇 場	己 斐 町
広島映画劇場	荒 神 町	草 津 花 月 劇 場	草 津 本 町
福屋名画劇場	八 丁 堀	南 座	皆 実 町
銀座東宝映画劇場	斜 屋 町	宝 塚 劇 場	堀 川 町
平和劇場	荒 神 町	港 映 画 劇 場	宇 品 町
太 陽 館	的 場 町	新 天 地 劇 場	下 流 川 町
旭 映 画 劇 場	横 川 町	若 草 劇 場	小 網 町
ステーションシネマ	松 原 町	第二有楽映画劇場	南 観 音 町

市内ラジオ聴取者状況（広島中央放送局調）

年 別	区 分	年末聴取 契約者数	年 間 増 加 数		年間減少数		差引年間 増 加 数	普及率
			加 入	転 入	廃 止	転 出		
昭和23年度		34,443	10,181	1,716	2,851	737	8,299	53%
" 24 "		40,373	8,167	2,035	3,053	1,214	5,930	59%
" 25 "		45,038	7,626	2,028	3,461	1,498	4,695	61%
" 26 年		46,614	4,212	1,673	3,074	1,245	1,546	61%
" 27 "		51,332	7,941	2,306	3,625	1,354	4,769	64%

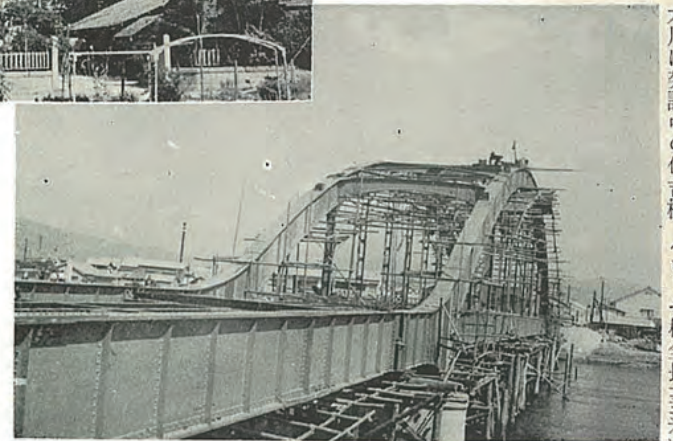
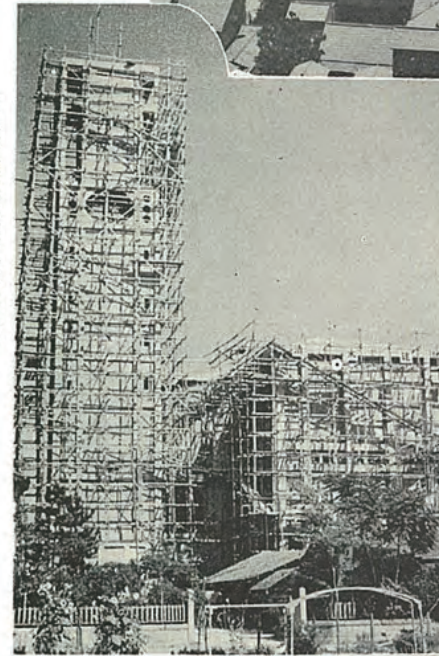
第21編 都市建設

市街の建設譜



平和記念聖堂から広島湾をのぞむ

広島平和記念聖堂建設工事



本川に架設中の住吉橋（ローゼ桁全長二三米）



市内中央部を東西に貫く平和大通（百米道路）



幹線街路（紙屋町交差点）



河岸緑地の一部（元安川河岸）

広島平和記念都市建設計画図 （都市計画）



工業地	準工業地	商業地	住居地	墓苑	公園緑地	鉄道	都市計画街路	広島市区域界	凡例
域	域	域	域	苑	地	道	路	界	

廣島平和記念都市建設計画図

(都市計画)



工業地域	準工業地域	商業地域	住居地域	墓苑	公園緑地	鉄道	都市計画街路	広島市区域界	凡例
------	-------	------	------	----	------	----	--------	--------	----

都市計画の概要

本市は、大正/2年7月都市計画法の適用を受け、同/4年/月には、隣接7カ町村を包含（この7カ町村は昭和4年4月本市に合併された）した都市計画区域が決定され、昭和22年を目標に、大広島建設は進められて来たが、戦争のために、この建設事業も中絶を余儀なくされた。

昭和20年8月6日原爆投下により、市街地の大部分は、瞬時にして破壊され、更に同年引続いて起つた大水害により、市街地は全く荒れ果て、その惨状は見るに忍びないものであつた。しかし市民の復興意欲と国の援助により、同/2年2月復興審議会を組織し、復興に関する基本計画の樹立を図り、まず同年/0月に復興都市計画街路、土地区画整理の計画が、続く//月には公園が、それぞれ決定され都市計画の基礎は、次々と確立され事業も直ちに着手された。折から同年9月「特別都市計画法」が公布され/0月同法適用都市となり、これが都市復興の端緒となつた。

しかして同24年8月6日には、世界平和の理想を広島市に象徴しようとする、市民の熱烈な要望に応じて「広島市平和記念都市建設法」が公布され、ここに広島市は単なる戦災復興でなく、新しい都市建設の段階に移行し特にその建設に当つては、恒久平和を記念すべき施設、その他平和記念都市にふさわしい文化施設等の計画も包含されることになつた。しかし同法の目的である理想都市の建設には、高度の技術結集と、広範な調査及び審議、並びに多大な経費を要することは勿論であるが、現在実施中のものは、その基盤をなす緊急事業のみでありその主なるものは、次のとおりである。

広島平和記念都市建設計画の概要

平和記念都市としての、すべての施設計画は、理想人口40万人を対象としている。現在までに計画が決定された主要なものは

- 1 原爆爆心地近く、本市の中心部に位する中島地区の約3万7千坪を平和記念公園として計画、この公園を平和記念施設として指定する。
- 2 広島城跡を含む基町地区約/7万8千坪を中央公園とし、レクリエーション、文化施設を配置して市民生活の基盤とする。
- 3 市内中央部を東西に横断する幅員百メートルの広路を計画し、交通幹線としてその機能を發揮させる外、市内を貫流する各河川と相まつて防火的機能を具備させ、また観光、レクリエーションにも役立たせる。
- 4 7つの川には、それぞれ河川美を生かし、保健衛生の見地から、河岸緑地を計画している。
- 5 幹線街路網は、中国地方の中核都市としての将来の交通量等に留意し、主として20～40メートルの幹線街路を配置しこれに関係する橋りようはすべて永久橋を架設する。
- 6 市内に散在する墓地を整理し、周辺の山地部に近代的墓地を計画移転させる。
- 7 多数の公園を配し、公園系統を樹立し市民生活に寄与する。
- 8 市内の大部分が満潮時には水面以下になる関係上、下水道の整備は緊急を要するので中心市街地には下水道計画を実施、周辺部地区には、排水路、排水ポンプ場等の施設

整備を実施する。

9 用途地域を指定して、土地の合理的統制を図り、また防火対策として、防火地域を指定し耐火構造建築の促進を図り危険地区には防火水槽を配する。

10 市街地を幾多の水害から守るため、また河岸及び港湾の完全利用を図るため、既定計画である、太田川放水路計画の促進完成を図る。

以上が平和記念都市計画の主要構想で、法的には特別都市計画法に基いて、計画決定されたものであるが、平和記念都市建設法の施行に伴い同建設計画施設として、決定の必要を生じたので、昭和27年3月3日従来の計画にある程度の修正を加え、これに切換えたものである。

広島平和記念都市建設計画区域

(計画課調)

区 分	指定全区域	住居地区	商業地区	準工業地区	工業地区
面 積(坪)	11,023,100	6,515,850	1,594,175	765,325	2,147,750
百 分 比	100	59.11	14.46	6.95	19.48

広島平和記念都市建設計画準防火及び防火地域

区 分	準防火地域	防火地域	備 考
面 積(坪)	1,588,125	24,043	防火地域は昭和27年12月耐火建築促進による「防火建築帯」に指定された。

広島平和記念都市建設事業実施計画

平和文化都市建設協議会

広島平和記念都市建設法の公布後(昭和24年9月)、広島及び長崎両市の特別都市建設法の趣旨にかんがみ、政府関係各機関及び当該都市が建設事業促進と相互間の連絡調整を図るため、平和文化都市建設協議会が建設省に設置された。

広島市を中心とする建設運営機関

更に本市を中心とする建設運営機関として、広島平和記念都市建設協議会同事業執行者連絡協議会、同専門委員会を設置している。

事業全体計画

昭和24年10月第1回平和文化都市建設協議会が開催され、緊急を要する基礎的事業計画(5カ年計画)案が次のとおり一応樹立された。

広島平和記念都市建設事業全体計画

区 分	昭和25年度より 5カ年計画	後 年 度	合 計
戦 災 復 興	4,132,363	1,023,264	5,160,632
平 和 記 念 施 設	713,410	—	713,410
排 水 施 設	473,830	—	473,830
幹 線 街 路	2,874,743	5,125,252	8,000,000
都 市 公 共 施 設	335,450	594,900	930,350
小 計	8,529,806	6,743,416	15,273,222
文 教 施 設	1,469,160	239,840	1,709,000
住 宅 施 設	536,900	930,300	1,467,200
観 光 施 設	303,900	150,000	453,900
厚生 施 設	495,630	200,500	696,130
小 計	2,805,640	1,520,640	4,326,280
河 川 改 良	2,200,000	—	2,200,000
港 湾 改 修	1,596,690	4,215,300	5,811,990
小 計	3,796,690	4,215,300	8,011,990
合 計	15,132,136	12,484,356	27,616,492

備考 昭和24年10月計画案(第1回平和文化都市建設協議会)

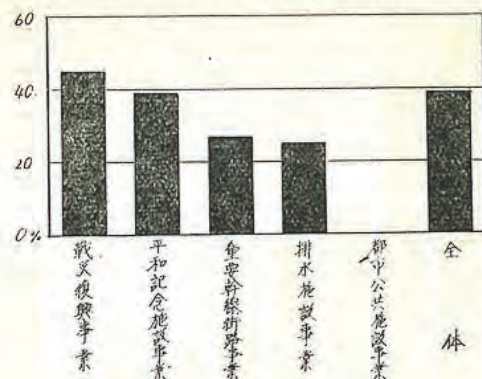
上記計画案は総額276億円(内5カ年計画151億円)に達するもので、その実施に当つては、大半を国庫に依存する状態で、従つて実施可能なものとして、(いわゆる都市計画事業)次期の計画に基き、目下事業を鋭意推進している。

広島平和記念都市建設事業5カ年計画

区 分	昭和25年度 より 5カ年計画	更 正 額	実 施 額				進捗率
			昭和 25年度	" 25 "	" 27 "	合 計	
戦 災 復 興	千円 1,253,450	千円 1,635,200	千円 248,330	千円 248,600	千円 264,000	千円 760,980	% 45
平和記念施設	173,280	219,960	24,430	32,100	30,000	86,580	39
排水施設	69,410	84,020	9,070	6,440	6,000	21,510	25
重要幹線街路	530,400	641,632	65,170	60,760	50,000	175,930	27
都市公共施設	64,530	65,500	—	—	—	—	—
合 計	2,091,120	2,696,362	347,100	347,900	350,000	1,045,000	39

備考 昭和25年度分には、昭和24年度補正予算分を含む。

平和記念都市建設事業進捗状況



(一) 戦災復興事業

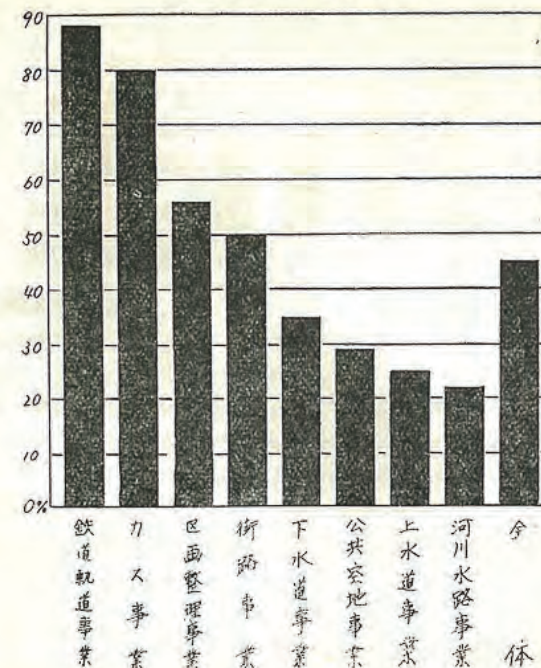
荒廃した本市を復興させる計画は、昭和21年土地区画整理事業から出発し、当初 400万坪を対象に事業に着手したが、国家財政の立場を考慮し、また早急実施の見地から、その計画面積を2割減じ約320万坪とし5カ年計画で一応完成させることに決定した。

戦災復興事業費内訳 (昭和24年度まで執行及び5カ年計画)

事業名	昭和24年度 まで執行額	昭和25年度 より5カ年 計画	更正額	実施額				進捗率
				昭和25 年度	"26"	"27"	合計	
区画整理	千円 105,907	千円 457,730	千円 654,959.5	千円 93,553	千円 120,600	千円 150,000	千円 364,153	% 56
街路	25,188	277,400	340,043.5	68,146	54,328	46,000	168,474	50
ガス	1,890	9,930	11,263	4,000	3,000	2,000	9,000	80
鉄道軌道	3,920	14,930	17,330	7,980	5,600	2,000	15,580	88
公共空地	3,754	58,410	64,000	7,681	6,000	5,000	18,681	29
河川水路	4,200	8,000	14,600	—	—	3,000	3,000	22
上水道	5,790	122,000	223,022	17,480	18,840	18,000	54,320	25
下水道	9,890	305,000	359,982	49,540	40,232	38,000	127,772	35
合計	160,539	1,253,450	1,685,200	248,380	248,600	264,000	760,980	45

備考 昭和25年度分には、昭和24年度補正予算分を含む。

戦災復興事業進捗状況



1 (復興) 土地区画整理事業

事業面積約 32/万坪は次表の分担により実施されている。本事業の主体は、換地と、これに伴う建物、電柱、墓地等の移転であり、また、事業の進捗に伴い町名、地番の整理も必要となり昭和27年11月広島市町名、地番整理審議会を設置して準備を進めている。

事業執行分担

地区名	区	域	事業計画 面積 千坪	事業執行者	執行機関
東部	元安川以東 (但し中島町の一部を含む)		1,756	広島市長	広島市東部復興事務所
西部	元安川以西 (但し中島町の一部を除く)		1,456	広島県知事	広島県広島復興事務所
合計			3,212		

事業進ちよく状況

区 分	計 画 量	実 施 量			進ちよく率
		昭和26年度末まで	" 27年度	合 計	
確 定 測 量	3,212,000坪	2,777,250坪	150,000坪	2,927,250坪	91.4%
建 物 移 転	12,150戸	5,375戸	2,435戸	7,860戸	64.5
使用開始面積	3,212,000坪	703,500坪	1,028,671坪	1,732,171坪	53.9

2 街 路 事 業

区画整理により、幹線街路は都市計画街路に基き確保され、補助街路は幅員6米以上の道路を適当に配し、特殊の場所に限り幅員4米の道路とし、四通八達の街路網を構成している。本事業は側溝の築造工事を主体として進められているが、昭和26年度よりは幹線街路に対し街路樹を植え市街の緑化美観に資している。

街路幅員別延長

幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長
米	米	米	米	米	米	米	米	米	米
100	3,110	36	4,535	22	1,415	10	39,581		
80	233	30	14,125	20	5,189	8	62,548		
50	426	27	3,523	15	21,234	6	60,476		
40	8,959	25	4,919	11	894	4	6,436	合 計	237,613

側溝築造進ちよく状況

区 分	昭和26年度まで	" 27 年 度	合 計
幹 線 街 路	34,990 米	13,165 米	48,155 米
補 助 街 路	84,225	23,880	108,105
合 計	119,215	37,045	156,260

3 ガス及び鉄道軌道事業

本事業は街路変更に伴う、ガス管及び鉄道軌道の移設工事で、いずれも最小限度の移設を計画し、その大半を完了している。なお、鉄道軌道の計画街路中心への移設は、5

カ年計画に含まれていないが、街路事業の進ちよくに伴い、本工事の早期実施が要請せられている。

ガス及び鉄道軌道事業進ちよく状況

区 分	昭和26年度まで	" 27 年 度	合 計
ガ ス	22,252 米	4,700 米	26,952 米
鉄 道 軌 道	1,917	160	2,077

4 公共空地整備事業

本事業は区画整理区域内公園、緑地の整備、及び区画整理に伴う墓地移転用地として、三滝墓地の新設工事を実施するものである。

昭和26年までに、17カ所の児童公園を新設し、昭和27年度には7カ所について工事を実施し、合計24カ所が一応完成した。また河岸緑地は32,200坪を完成し、三滝墓地は計画面積35,000坪中約15,700坪を完成している。

5 河川水路事業

本事業は、区画整理に伴う排水路の移設を実施するもので、昭和27年度において、横川地区に対し1,750米を実施した。

6 上水道、下水道事業

本事業において施行するものは、区画整理に伴う上、下水道管の移設工事であるが、上水道は最大給水量2万トンを目標とする第4期拡張事業として、下水道は第1期下水道築造事業として実施中である。

上下水道進ちよく状況

区 分	昭和26年度まで	" 27 年 度	合 計
上 水 道	25,746 米	10,361 米	36,107 米
下 水 道	12,439	6,276	18,715

(二) 記念施設事業

平和都市広島を象徴する事業として、中島地区及び旧産業奨励館の残がいを残す対岸の細工町を含めた約37,000坪を平和記念公園とし、同地区内に平和記念館、慰霊碑を設置し、世界平和に寄与すると共に、市民はもとより国際人交歓の中心地とする計画である。すなわち、平和会館には国際会議に使用できる集会場、原爆資料陳列館、各種平和団体の事務所を含む本館を設ける。また、本公園の中央には約2,300坪の芝生広場を設け、公園

の中心（芝生広場の北端）に慰霊碑を設ける。

本事業は、昭和25年度より着工し、既に慰霊碑及び、陳列館（外かくのみ）を完成した。陳列館は階下が通り抜けになっており、公園内の景観に寄与している。

また慰霊碑は古代ハニワを型取って作成され昭和27年8月6日の原爆7週年に除幕され、そこに納められた石櫃には「安らかに眠つて下さい、過ちは繰返しませぬから」の碑文が刻まれ、原爆犠牲者の過去帳が奉納されている。

平和記念施設5カ年計画及び工事進捗状況

名 称	昭和25年度より5カ年計画		実 施 額							
			昭和25年度		" 26 "		" 27 "		合 計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
記 念 館 本 館	439坪 テラス 422 1,167.5	千円 20,000	439坪 テラス 422 1,167.5	千円 20,000	坪 346 1,321.5	千円 —	坪 283.2 1,657.5	千円 —	439坪 テラス 422 1,657.5	千円 20,000
慰 霊 碑	1基 402.2	3,000	1基 402.2	3,000	1基 119 24,000	3,000	1基 283.2 25,000	3,000	1基 402.2 49,000	3,000
記念公園	37,000	55,659	6,250	4,480	4,130	5,100	5,000	5,000	15,380	14,580
合 計	—	219,960	—	24,480	—	32,100	—	30,000	—	86,580

(三) 排水施設事業

本市は太田川のデルタ地帯に発達した都市であつて、土地は極めて低湿で市街の大半は、高水位より低位にあり、従つて周囲は高い堤防によつて囲まれた地形のため、少し激しい降雨にも、市内の一部ははん濫することがある状態である。

現在土地区画整理内は、下水道事業を実施中であるが、本事業は同区域外に対し排水路排水ポンプ場を設置して、雨水の排除を良好にし、衛生的都市を建設しようとするものである。

排水施設5カ年計画及び工事進捗状況

名 称	計画施設		実 施 額								備 考
			昭和25年度		" 26 "		" 27 "		合 計		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
牛田ポンプ場	1カ所	千円 5,070	1カ所	千円 5,070	—	千円 —	—	千円 —	1カ所	千円 5,070	口径600耗 60HP/台 昭和26年 3月完成
段原"	1 "	25,690	—	—	—	—	—	—	—	—	口径800耗 100HP 2台
江波"	1 "	15,400	—	—	1カ所	6,440	継続	6,000	1カ所	12,440	" 1台
吉島"	1 "	11,520	—	—	—	—	—	—	—	—	口径 600耗 60HP 2台
段原排水路	米 744	22,300	—	—	—	—	—	—	—	—	—
翠町"	" 6/0	4,000	米 6/0	4,000	—	—	—	—	米 6/0	4,000	昭和25年 3月完成
合計	—	83,980	—	9,070	—	6,440	—	6,000	—	21,510	—

(四) 都市幹線街路事業

都市計画に基く幹線街路計画は、総数27本延長95,435米で、本事業においては区画整理区域内の路面は装等の街路整備区域外においては街路新設工事を、その他橋りよう架設、立体交差の築造等を実施するものである。

重要幹線街路事業費内訳 (5カ年計画)

区 分	昭和25年度より5カ年計画	実 施 額				進捗率
		昭和25年度	" 26 "	" 27 "	合 計	
橋 り よ う	千円 325,850	千円 23,280	千円 46,300	千円 39,000	千円 108,580	% 33
ほ 装	97,506	18,180	6,000	6,000	30,180	31
重 幹 街 路	112,526	23,710	8,460	5,000	37,170	33
立 体 交 差	105,800	—	—	—	—	0
合 計	641,682	65,170	60,760	50,000	175,930	27

橋りよう事業進ちよく状況

名 称	昭和25年度		" 26 "		" 27 "		合 計		摘 要
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
新観船橋	—	千円	72.5米 ×15	17,100	継 続	千円	72.5米 ×15	51,100	昭和27年度末完成
新明治橋	95米 ×7.5	23,280	継 続	5,500	—	—	95米 ×7.5	23,780	" 26年10月完成
昭和大橋	—	—	225.4 米×6	23,700	—	—	225.4米 ×6	23,700	"
庚午橋	—	—	—	—	3/3米 ×6	5,000	1 部	5,000	—
合 計	—	23,280	—	46,300	—	39,000	—	108,580	—

備考 1. 昭和の大橋は、災害復旧費8,155千円を加え総額31,895千円にて完成
 2. 庚午橋は、" 26,637千円を加え総額31,637千円にて現在工事中
 3. 住吉橋は、" により工事中

重要幹線街路工事進ちよく状況

路 線 名	計画幅員	昭和25年度		" 26 "		" 27 "		合 計	
		数 量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
I. 1. 3	30 米	—	千円	230米 ×15	3,170	—	—	230米 ×15	3,170
I. 2. 2	30	—	—	255米 ×15	3,030	—	—	255米 ×15	3,030
I. 2. 3	30	1,121米 ×15	7,550	97米 ×15	2,210	—	—	1,218米 ×15	9,760
I. 3. 7	25	725米 ×25	3,780	—	—	606米 ×25	5,000	1,331米 ×25	8,780
(I). 1	6	1,407米 ×6	8,520	—	—	—	—	1,407米 ×6	8,520
(I). 2	6	322米 ×6	3,860	—	—	—	—	322米 ×6	3,860
合 計	—	—	23,770	—	8,460	—	5,000	—	37,170

路面舗装工事進ちよく状況

路 線 名	計画幅員	昭和25年度		" 26 "		" 27 "		合 計	
		数 量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
I. 1. 2	40 米	1,350米 ×5.5	3,800	—	—	—	—	1,350米 ×5.5	3,800
I. 1. 3	40	1,070米 ×6	4,880	—	—	—	—	1,070米 ×6	4,880
I. 1. 5	40	500米 ×5.25	3,000	—	—	1,070米 ×5.25	6,000	1,670米 ×5.25	9,000
I. 2. 1	30	1,050米 ×6	4,200	—	—	—	—	1,050米 ×6	4,200
I. 2. 4	30	—	—	1,205米 ×6	6,000	—	—	1,205米 ×6	6,000
I. 3. 5	25	310米 ×5.5	2,300	—	—	—	—	310米 ×5.5	2,300
合 計	—	—	18,180	—	6,000	—	6,000	—	30,180

(五) 都市公共施設事業

本事業は、区画整理区域外に存在する、公園、運動場、墓地の築造が、その主体であり、5カ年計画においては、中島公園、その他で約11万1千坪の整備を計画しているが、他の事業との緩急度より勘案して未着手である。但し公園については戦災復興事業により整備が進められ、比治山、江波山公園等の既設公園は、失却事業により整備され、一応使用可能な状態にあり、縮景園も復興され昭和26年4月開園された。

一方昭和26年第6回国民体育大会が広島市を中心に開催され、中央公園内の中央庭球場、中央排球場、及び県営総合グラウンドの整備を実施し、その他国体会場たる学校運動場の整備を実施したので運動場については格段の進ちよくを見たのである。

なお、中央公園の17,800坪は、その東部に計画した公館地区と合わせて、本市の公共施設の中心地とする計画であり、現在同地区には庶民住宅が建ち上がっているが、南部地区には、上記体育施設の外、児童文化会館、中央公民館、児童図書館等の建設を終っている。

(六) 防火水槽施設事業

消防水利の実情及び大火発生の危険度等の見地から、防火水槽の設置を計画し、都市計画事業をもつて、昭和26年度より5カ年計画により65個を設置する計画であり現在までに12カ所が完成している。

防火水槽施設事業5カ年計画及び工業進ちよく状況

区 分	昭和26年度 より5カ年 計画		実 施 額						備 考
			昭和26年度		" 27 "		合 計		
	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	
防火貯水槽	個 65	千円 32,020	個 5	千円 2,020	個 7	千円 2,590	個 12	千円 4,610	トン 1個当り容量40

(七) 太田川改修事業

本市は太田川により、水都として発達してきたが、一面水害の危険も伴って来た。太田川改修事業は、太田川放水路の開きを根幹とするもので、これにより市内各河川の水位を安定せしめ、こう水時には各河川を安全に流下させて、本市を水害から完全に防護する一方流出土砂のたい積しつつある広島港の維持を容易にし、河岸一帯の運輸交通及び産業の発展促進等平和都市建設に当つては基本的かつ緊急を要する問題である。

本事業は国営により昭和7年より5カ年経続事業として着手されたが戦争のため総延長9.2料の内約35%に当る3.3料（下流）が完成したのみでその後は中絶された。しかし昭和26年10月中国、四国地方建設局、広島県及び広島市が主体となり「太田川放水路対策部」を市役所内に設置し、工事に伴う補償及び住宅、換地のあつたその他諸問題につき調査審議し、その実行を図りこれが解決の糸口を見るに至り、いよいよ本格的工事実行の期に達した。

事業概要

(イ) 位置

山手川を幅280～400米開さくし、河口より6.2軒附近で、本川より分流させる。

(ロ) こう水処理計画

計画こう水量は6,000m³/sで、こう水を放水路分流点の水門により調節し4,000m³/sを放水路より放流し、残余の2,000m³/sを本川並びにその他河川に分流させる。

(ハ) 事業費

約 2 2 億 円

(八) 広島港修築事業

広島港（旧称宇品港）は終戦時まで約55年の長きにわたり、陸軍の輸送基地として、その大半を利用されていた。そのため同港西側に、商業港及び工業港の築造が計画され、昭和8年及び昭和15年にそれぞれ着工し昭和22年ようやく完工した。

戦後軍用港から解放され昭和23年呉港とともに貿易港に、また昭和26年には重要港湾に指定されたのを契機に、理想的港湾としての機能を整備して、対外貿易並びに、対内移出入港として活用することは、地方経済開発上また国家経済再建のために寄与することはなほ大であり、更に西部瀬戸内海観光基地としての発展性を考えるとき、その意義はますます重要なものとなつた。

昭和23年4月広島港修築計画を樹立し県営により工事に着手、同27年度末をもつて水深4米、延長380米の物揚場を完成した。また昭和28年度よりは、1万トン級岸壁/基の築造、航路、しゅんせつ、鉄道引込線等が国営工事として着工される予定である。更に埋立工事による工業用地の築造、岸壁の増設等第2期、第3期修築計画を樹立中であり、広島港の前途は洋々たるものがある。

現在工事中の第1期事業の概要は次のとおりである。

(イ) 計画目標

取扱貨物量 260万トン（年間）………現在能力49万トン

乗降船客 12,000人（1日）………現在船客約4,000人

(ロ) 工事進ちょく状況

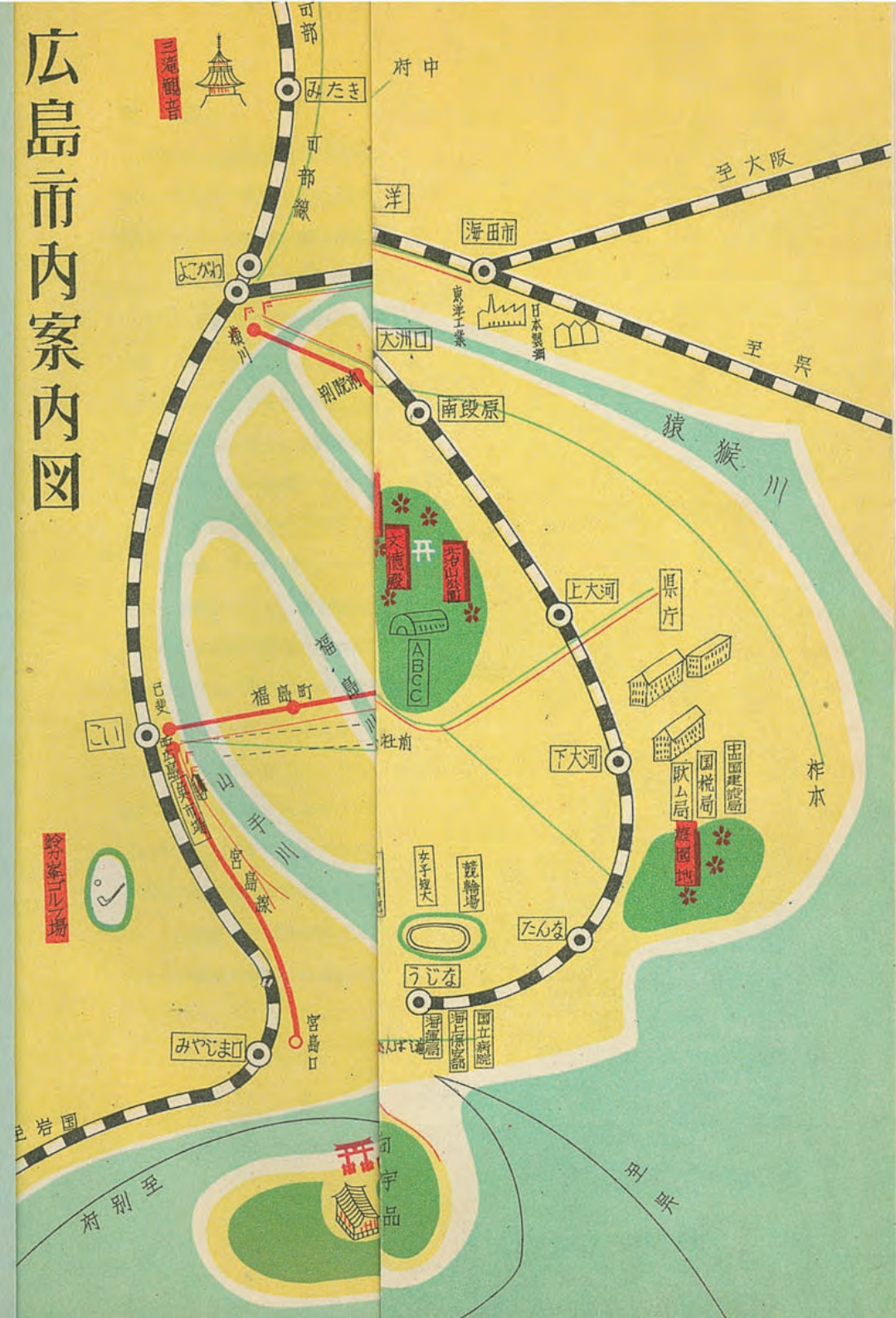
区 分	昭和23年度より 昭和26年度まで		昭和27年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
物 揚 場	米 270	千円	米 110	千円	米 380	千円
護 岸	—		米 17	44,400	米 17	
しゅんせつ	立方米 69,000	96,400	立方米 15,000		立方米 83,000	140,800
道 路	米 1,350				米 1,350	
合 計		96,400		44,400		140,800

(九) 広島平和記念都市建設法により本市が譲与を受けた普通財産

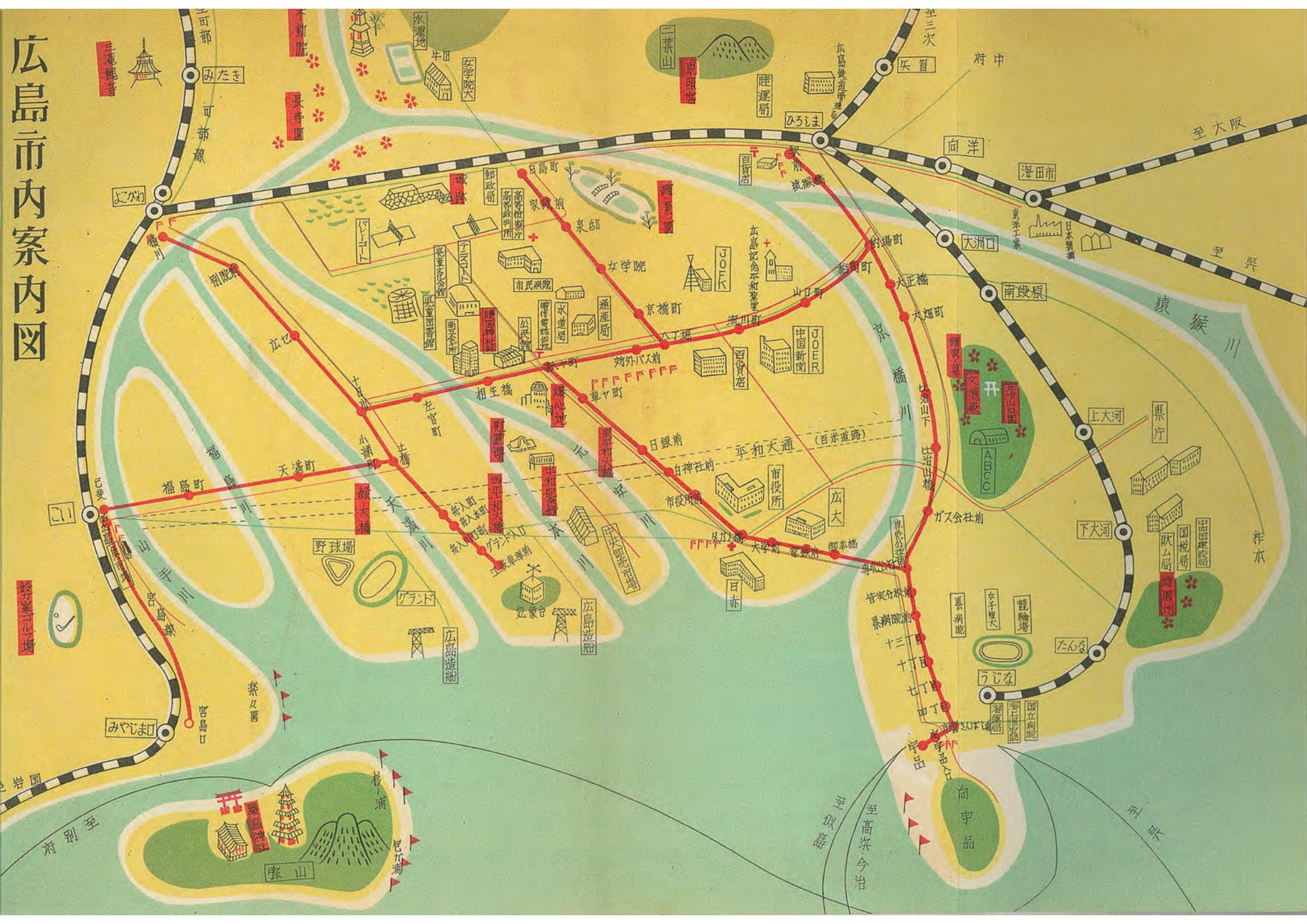
譲与決定 年 月 日	所在地	旧 名 称	使用目的	種 目	見 積 価 格
昭和 27. 6. 6	牛田町	牛田町軍用水源地	水 源 地	土地、建物、工 作物、その他	96,730,078
"	"	牛田町軍用取水場	取 水 場	土地、工作物 その他	
"	"	牛田町軍用水道	水道用地	"	
27. 8. 11	基 町	広島西練兵場	京口門公園	土 地	2,033,700
27. 8. 12	宇品町	陸軍運輸部金輪島工 場及び倉庫	墓地及び火 葬場	"	23,774
27. 10. 20	牛田町	牛 田 町 作 業 場	上水道施設 拡張用地	土地、工作物	6,571,020
27. 12. 22	宇品町	陸軍運輸部第5廠舎	生活困窮者 収容施設	建物、その他	140,555
合 計					105,499,127

第22編 觀 光

広島市内案内図



広島市内案内図



概 要

本市は、清流太田川の河口三角州に位置し、古来より山紫水明、温和な気候に恵まれており、広島につえ引くものの遊覧コースには必ず広島城跡、大本営跡、旧比治山御便殿、浅野泉邸等々が組まれ観光遊覧地として好適であつた。しかしこれらの名所、旧跡のほとんどは、戦禍に消えうせ、終戦後の数年間は本市を訪れる観光客の観光対象となつたものは原爆による荒廃であつた。従つて一時は顕著な原爆被害記録物とそれに伴う記念物の羅列になつていた。しかし本来の観光資源も年とともに整備され、真に楽しめるものが復活して来ており、また世界的に注視を集めている平和記念都市が着々と建設されているので、都市自体が観光の意義をもつようになり、世界平和のメッカとして平和を愛好する内外の人々の来訪が著増しつつあるのも本市観光の特色である。特に訪日観光団はそのほとんどが本市訪問をそのスケジュールに組んで母国への土産話にしている。

市街を貫く7つの川は、その水清く山緑を映し河畔の民家を写し夜のネオンを流して市街を一層麗わしくし、相生橋をはじめ30有余の橋りようととも水都広島的美観一入である。この水の注ぐ波静かな瀬戸内海国立公園は大小様々な島々を浮べその風光の美をたたえられている。東に進めば平清盛が開いた音戸の瀬戸があり、旧軍港呉市、野呂山高原がある。西に下れば手の届くところに日本三景の一つ安芸の宮島がある。更に北方には桜と、う飼の三次、つつじとスキーでにぎわう道後山公園、帝釈峽及び芸北の幽境三段峽がある。これらはいずれも本市からの交通も至便であるので、四季の移り変りに遊ぶ人多く、本市の観光を中心とする広範囲な観光ルート圏を形成している。

本市の観光行政に協力するため、昭和22年4月広島市観光協会が発足し市内観光ルート、ミス広島の選定及び観光客の案内等を行つている。

市内の観光対象物の主なるものは次のようなものである。

観光客

来広観光客（昭和27年中、推定総数）（国鉄、汽船、郊外電車、バス調）

区分 月別	総数	県内客	県外客	外人客
総数	1,157,420人	866,757人	287,073人	1,650人
1月	92,393	69,242	23,030	76
2	79,064	59,230	19,743	91
3	102,515	76,678	25,692	145
4	126,483	94,663	31,555	260
5	109,622	82,030	27,359	183
6	86,493	64,773	21,591	129
7	86,697	64,945	21,643	104
8	112,585	84,349	28,116	120
9	88,731	66,412	22,137	182
10	96,369	72,179	24,026	164
11	90,430	67,734	22,578	118
12	86,033	64,467	21,433	78

観光客数及び推定消費金額

外来客区分	人員	1人平均消費金額	金額
総数	1,157,420人	円	1,243,821,640円
県内客	866,757	1,000	866,757,000
県外客	289,073	1,280	369,936,640
ハワイ等観光客(39団体)	672	4,000	2,688,000
国外観光団(4団体)	450	4,000	1,800,000
個人観光団	528	5,000	2,640,000

広島名産

縫針 ミシン針 ゴム製品 かん詰 除虫菊製品 製線 和かさ 仏壇木製品
機械工具 かき羊かん 桜羊かん くり羊かん 味付のり のしかき 川魚料理
生かき 広島菜 かきめし かき船料理 清酒

観光施設

平和記念館

幅員100米の平和大通りと爆心地との間に建設中の本館は、東西に長い壮麗な鉄筋コンクリート建造物で、平和運動を推進する中枢機能となるにふさわしい施設である。完成後は全長250米、最高20米、幅40米となる。現在建築されているのは原爆資料陳列館で、将来はこの建物の西側に2,500人を収容出来る大集会場を、東側に平和文化運動事務室、研究討論会用の小会議室、美術展覧会場等に使用出来る会館が建築される。これをつなぐ陳列館の階下は平和大通りから公園に入る玄関として巨大な柱の間を通り抜けられるようになっている。



原爆資料館

基町、中央公民館の北隣にあり、原爆被害に関する種々の資料を一堂に集め、一般の観覧に供している。本館の資料は、将来平和記念館内に移される予定である。



旧産業奨励館

爆心地にあり、アトム広島の代表的記念物として、内外人の訪れは数知れず、その廃きよと化した容姿は当時の恐るべき破壊力と惨禍を今日も如実に物語っている。



死の影 像

紙屋町電停の南側住友銀行広島支店の玄関敷石の上には、あの原爆さく裂の瞬間、開店をまつて石段に腰かけていたであろう人の姿が、強烈なせん光で焼きつけられた石面に残っている。原爆10景の一つである。

元 護 国 神 社 跡

商工会議所裏にあり、鳥居、唐し、その他散在する御影石の表面が、数千度の原爆熱線でざらざらに焼けただれている。

似 島

宇品港より船で約30分、瀬戸内海国立公園内にある市内南端の島で、その山容美しく安芸の小富士と呼ばれている。戦時中は東洋一の陸軍検疫所があつたが、現在戦災孤児育成所の似島学園がある。

国 泰 寺 墓 地

国泰寺墓地の墓標は爆風のあるいは反対の方向に倒れたものが多かつたが、電車道に面した墓標で、爆風にあふれた瞬間、飛散してきたレンガの破片をくわえ込んだ塔石の珍しい風景がある。

不 動 院

市の北端牛田町、太田川の清流に臨む閑静な環境にあり、天正2年僧行基の開基と伝えられ、豊臣時代安国寺恵瓊が再建した。金堂は、室町時代の禅宗建築の偉作の一つであり銅装、鉤、葉師如来（木製）とともに国宝である。



東 照 宮

二葉の里にあり、正保3年藩主浅野光晃の創建にかかり、徳川家康の霊を祭つてある。境域5,300平方米、社殿は南面し、石段5/段である。往時は社殿壮麗、祭礼儀式も極めて盛大であつた。



三 滝 観 音 道 場

三滝町の山林中にある、1千年の昔弘法大師唐国より帰朝の途次この地に立寄り、「聖観音菩薩」の種子を天然石に彫刻し巖くつに安置した。以来その霊験のあらたかなこと、四季山水の風致雅趣の深さにより、一般信徒のつえ引く者絶えず、現在は水害、原爆の被害により、道場の荒廃はなほだしいので修築工事中である。



千 田 廟 と 千 田 男 爵 銅 像

往年日本の大玄関として名声のあつた宇品港は、明治17年時の県令千田貞晴によって起工せられ、工費30万余円50余年の年月を経て完成した。その後4年日清戦争とともに宇品港は重要基地となり、累次の戦役事変には陸軍運輸基地として、国運の進展に大いに寄与して来た。

市民は千田県令の偉大なる業績をしのび、大正4年宇品町御幸通り北端に、高く広島湾の海波を眺める銅像を建立し、後に千田びょうを祭り毎年4月盛大に千田祭を執行している。



向 宇 品

瀬戸内海国立公園内にあり、植物学上貴重なる資料が多く、山頂からは紺青の湾内に点在する島々や、躍動する広島港を手取る如く賞観することが出来る。また夏には海水浴場が開設せられ、市民のいこいの場所として有名である。





比治山公園

市の東部にあり、山容が虎のふした形に似ているので臥虎山の別称がある。面積15町余四季のながめを楽しめる丘陵公園であり、山頂より南面すれば広島湾の風光を、西面すれば市街の8割を展望出来る絶好の場所であり、市民散策の好適地である。

西側山腹には山陽文徳殿、頼家の墓及び多聞院があり、南側山頂にはA.B.C.C.（原爆傷害調査委員会）がある。



広島城跡

広島城は西国の雄毛利輝元が、京都聚楽第を模してこの地に天正19年20年の才月を費して築造したもので鯉城、在間城、当磨城、石黒城等の別称があつた。明治27年日清戦争の時大本営が城内に設置され、続いて師団司令部があつたが、5層の天主閣をはじめすべての建物は原爆により焼失して、今では礎と築石が昔をしのばせている。

山陽文徳殿

漢学者頼山陽の百年祭を記念するために昭和9年10月15日本市が創建したものである。



頼家の墓

頼家一門の墓は多聞院附近にある。山陽の父春水、長男津菴、叔父杏平等朱子学学者として藩主に仕えた人々及び母梅卿等20数基に上るが、山陽、三樹三郎の墓はここにはない。



縮景園

上流川町北端にあり、旧藩主浅野家の別邸で「泉邸」として通っている。元和6年に浅野長晃が起工し、後累代の藩主が規模を広め修補した。浅野重晟の時、園池を中華民国の杭州西湖の景に模して面目を更新した。境域4町余坪あり、奇石珍木の配置は巧妙を極め、さながら幽境に遊ぶ感があり、

原爆で建造物や草木が壊滅したが、現在では木石池橋修葺なり行楽ににぎわっている。



長寿園

市の北端、太田川の清流に沿う約300米の堤で桜樹多く、市民の散策地として有名である。





広島遊園地

仁保町本浦にあり、つ
つじ、藤の名所として有
名である。

慰 霊 碑

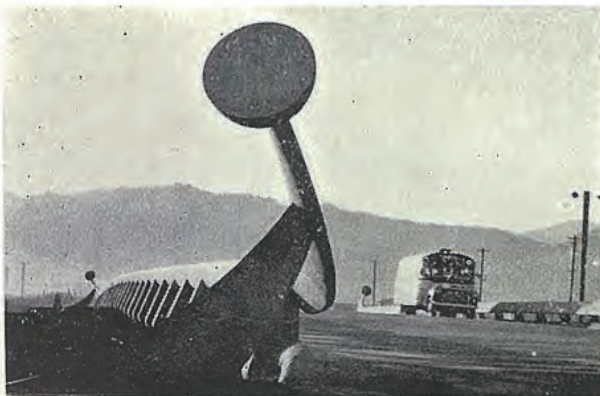
爆心地に近い中島の平和記念公園内にあ
り、昭和27年8月6日朝の式典において除幕
式を行い昭和20年8月6日の原子爆弾にたお
れた死没者の氏名を全国にわたって調査して
謹記された過去帳がこの慰霊碑内の石函の中
に安置奉納された。この石函の正面には「安
らかに眠つて下さい 過ちは 繰返しませぬか
ら」と刻み込まれている。毎年8月6日にはこ
の地点で盛大な平和式典がとり行われる。



中国新聞社提供

平和 大橋

百米道路が貫く中島の
東側の元安川にかかる平
和大橋と、西側の本川に
かかる西平和大橋の欄干
はともにイサム野口氏の
設計によるもので、その
新たな感覚によるデザ
インは平和都市にふさわ
しい逸作である。



広 島 音 頭

ピカで焼けやが 涙が降ろが

こころ広島 元気で伸びる
伸びるみどりの二葉山

ソウトモ ソウトモ ソヂヤナイカ
来い来い見に来い 寄つて来い

お城の鯉なら はねて来い

宇品朝霧 宮島夜霧

ぬれて広島 色ますものを

なぜにあなたは ひと夜ぎり

ソウトモ ソウトモ ソヂヤナイカ

来い来い見に来い 寄つて来い

お城の鯉なら はねて来い

広島よいとこ

一、春の堤は桜花
会うて別れる七筋が

シヤンシヤンシヤンときて太田川
こころ広島のお兄さんだよ
ヤットコドンときてドンと踊れ

二、たまに逢瀬はせかれても

相生橋ならまた会える
シヤンシヤンシヤンときて橋の上
粋なあゝの娘のめぐりあいだよ
ヤットコドンときてドンと踊れ

三、出舟入舟泊り舟

あかぬ別れに夜があける
シヤンシヤンシヤンときて夜があける
瀬戸は音戸の煙雨だよ
ヤットコドンときてドンと踊れ

四、安芸は宮島厳島

鹿の鳴く音が気をさそう

シヤンシヤンシヤンときて気もそぞろ
ひいたみくじは大吉だよ
ヤットコドンときてドンと踊れ

五、夜は金座か新天地

踊るあゝの娘の流し眼に
シヤンシヤンシヤンときて気が踊る
あれは広島のお嬢さんだよ
ヤットコドンときてドンと踊れ

第23編 附 錄

市 施 設 一 覧

名 称	所 在 地	電 話	名 称	所 在 地	電 話
市 役 所 (出張所)	国泰寺町	中 235/ 629/	中央卸売市場 (厚生局)	水主町	西 204/
東京出張所	千代田区日比 谷公園市政会 館内		東公益質屋	稲荷町	
三 篠 "	打越町	西 2553	西公益質屋	天満町	
牛 田 "	牛田町	中 3252	東 隣 保 館	尾長町	中 32/4
尾 長 "	愛宕町	中 3793	西 隣 保 館	福島町	西 1472
基 町 "	八丁堀	中 4146	東隣保館保育園	尾長町	中 32/4
十日市 "	榎 町	西 2218	西隣保館 "	福島町	西 1472
己 斐 "	己斐町	西 2327	青 崎 "	仁保町字洋	(呼)中3802
草 津 "	草津東町	西 4524	仁 保 "	仁保町淵崎	(呼)中2592
観 音 "	観音本町	西 1936	楠 那 "	仁保町楠那	(呼)中3007
舟 入 "	江波町	西 162/	大 河 "	仁保町大河	(呼)中0323
段 原 "	段原大畑町	中 4052	元字品 "	元字品町	(呼)中1910
比治山 "	東雲町	中 3792	南観音 "	南観音 2 丁目	(呼)西0548
青 崎 "	仁保町青崎	中 3802	基 町 "	基 町	(呼)西0277
仁 保 "	仁保町字大町	中 2592	己 斐 "	己斐上町	(呼)西2943
大 河 "	旭 町	中 3794	草 津 "	草津東町	(呼)西4524
皆 実 "	皆実町 3 丁目	中 380/	江 波 "	江波南町	(呼)西2272
宇 品 "	宇品町	中 2593	神 崎 "	河原町	(呼)西2400
似 島 "	似島町	似島 26	竹 屋 "	竹屋町・	(呼)中5536
(総務局)			古 田 "	古田町高須	(呼)西350/
競輪競馬事務局	宇品町	中 1152	三 篠 "	楠木町 3 丁目	(呼)西12/9
児童文化会館	基 町	西 3425	こぼと "	宇品町/3丁目	(呼)中0533
(産業局)			庚 午 "	庚午北町/2丁 目	(呼)西2980
商工相談所	国泰寺町	中 235/	保 養 院	宇品町/3丁目	中 1343
観光案内所	広島百貨店内	中 1877	喜 生 園	佐伯郡観音村	
工芸指導所	東雲町	中 0527	産 院	宇品町/3丁目	中 1345
家畜市場	福島町	西 2717	乳 児 院	"	"
園芸指導所	庚午北町		東 診 療 所	尾長町	中 32/4

西 診 療 所	福島町	西	1472	消 防 局	大手町8丁目	西	4211
母 子 寮	基 町	西	0277	東 消 防 署	段原大畑町	中	0268
身体障害者授産場	江波町			西 消 防 署	大手町8丁目	西	0269
戦災児育成所	佐伯郡五日市町	五日市	64	(警察本部)			
福祉事務所	国泰寺町	中	2351	警 察 本 部	国泰寺町	中	0309
向 西 館	中広町	西	0749	東 警 察 署	稲荷町	中	5688
展 場	福島町	西	1452	西 警 察 署	大手町 / 丁目	西	0028
保 健 所	富士見町	中	6591	宇 品 警 察 署	宇品町	中	0067
社会保険広島市民病	基 町	中	1441	(選挙管理委員会)			
舟入病院	舟入幸町	中	2657	選挙管理委員会	国泰寺町	中	6291
中央診療所	"	"	0170	(教育委員会)			
(建設局)				教育委員会事務局	国泰寺町	中	2351
市 営 棧 橋	宇品町	中	5112	浅野図書館	小 町	中	6291
広島海員会館	"	中	2897	中央公民館	基 町	西	5542
東部復興事務所	基 町	中	1506	児童図書館	"		2552
(水道局)				(監査事務局)			
水 道 局	基 町	中	2201	監 査 事 務 局	国泰寺町	中	2351
水道局浄水課	牛田新町	中	0072	(市会事務局)			6291
取 水 場	安佐郡原村	中	0639	市 会 事 務 局	国泰寺町	中	1656
(消防局)							2351

主 要 官 公 署

名 称	所在地	名 称	所在地
(県庁関係)		県 立 広 島 病 院	宇 品 町
広 島 県 庁	霞 町	広島県衛生研究所	宝 町
選挙管理委員会	"	県立中央労働学校	基 町
県 会 事 務 局	"	広島労働事務所	"
教育委員会事務局	"	県 税 事 務 所	霞 町
農 業 委 員 会	"	広島公共職業安定所	基 町
広島土木出張所	基 町	" 宇品労働出張所	宇 品 町
広島港事務所	宇 品 町	広島第一公共職業補導所	"
広島復興事務所	基 町	広島第二公共職業補導所	霞 町

広島女子公共職業補導所	国泰寺町	国 立 広 島 病 院	宇 品 町
県立中央児童相談所	基 町	(農林省)	
" 一時保護所	"	広島食糧事務所	南郷屋町
県立労働科学研究所	"	内海区水産試験所	宇 品 町
広島県醸造試験場	霞 町	広島営林署	基 町
広島県消防学校	"	広島統計調査事務所	皆 実 町
広島耕地出張所	尾長町	" 広島出張所	水 主 町
広島県陸運事務所	霞 町	神戸植物防疫所広島支所	宇 品 町
(人事院)		(労働省)	
人事院広島地方事務所	基 町	広島労働基準局	霞 町
(行政管理庁)		広島労働基準監督署	大手町
広島管区監察局	基 町	婦人少年局広島職員室	霞 町
(裁判所)		(建設省)	
広島高等裁判所	基 町	中国四国地方建設局	霞 町
広島地方裁判所	"	広島国道工事事務所	仁 保 町
広島家庭裁判所	"	太田川工事事務所	基 町
広島簡易裁判所	"	広島営繕工事事務所	霞 町
(法務省)		(文部省)	
広島高等検察庁	基 町	教育施設部広島工事事務所	千 田 町
広島地方検察庁	"	(通商産業省)	
広島地方区検察庁	"	広島通商産業局	基 町
広島法務局	"	広島鉱山保安監督部	"
中国公安調査局	上流川町	地質調査所広島駐在員事務所	"
広島矯正管区	吉 島 町	工業品検査所広島出張所	"
中国矯正保護研修所	"	(大蔵省)	
広島少年鑑別所	宇 品 町	中 国 財 務 局	霞 町
広島少年観護所	"	広島国 税 局	"
広島保護観察所	"	広島東 税 務 所	大手町
広島拘置所	基 町	広島西 税 務 所	水 主 町
広島刑務所	吉 島 町	広島税関支署	宇 品 町
(厚生省)		税務講習所広島支所	霞 町
中国地区駐在防疫官事務所	霞 町	(運輸省)	
中国医務出張所	宇 品 町	中 国 海 運 局	宇 品 町
中国地区麻薬取締官事務所	霞 町	広島陸 運 局	二葉の里
中部復員連絡局広島支部	仁 保 町	第六管区海上保安本部	宇 品 町
広島検 疫 所	宇 品 町		

広島海上保安部	宇品町	広島電気通信部	東白島町
広島地方気象台	江波町	中国電気通信資材部	基町
(日本国有鉄道)		広島無線監理所	"
広島鉄道管理局	二葉の里	広島電気通信監理所	東白島町
広島鉄道教習所	仁保町	広島電話局	下中町
中国地方自動車事務所	"	広島西電話局	北複町
山陽地方営業事務所	松原町	広島電報局	基町
広島地方資材事務所	大須賀町	広島駅前電報局	松原町
広島地方経理事務所	"	宇品電報局	宇品町
広島鉄道病院	尾長町	広島搬送通信部	比本町
(郵政省)		広島無線通信部	基町
中国電波監理局	宇品町	広島電気通信学園	宇品町
広島郵政監察局	基町	広島資材配給局	基町
広島郵政局	"	中国電気通信工作工場	宇品町
広島地方貯金局	千田町	日本放送協会広島中央放送局	上流川町
広島郵便局	基町	(日本専売公社)	
広島駅前郵便局	松原町	日本専売公社広島地方局	皆実町
広島鉄道郵便局	大須賀町	" 広島出張所	宇品町
宇品郵便局	宇品町	(国家地方警察)	
郵政職員訓練所広島研修所	"	広島警察管区本部	霞町
広島通信病院	基町	国家地方警察広島県本部	"
(日本電信電話公社)		広島管区警察学校	"
中国電気通信局	基町		

主要商業事業所

(従業者30名以上)

(昭和27.9.1現在)

事業所名	所在地	業態	取扱品目
ニッセー映写機株式会社	楠木町4丁目	卸 売	映 写 機
三井鉱山株式会社	基町	"	石 炭
中国電気実業株式会社	鉄砲町	"	電 気 器 具
広島マツダモーターズ株式会社	幟町	"	自 動 車
広島金物株式会社	橋本町	"	金 物
寺 西 薬 店	山口町	"	薬 品
大之木木材株式会社	空鞘町	"	木 材
高木千代吉商店	十日市町	"	廃 品 回 収
株式会社東興商会 中国支店	猫屋町	"	石油製品及び油脂

大 国 商 会	天満町	卸	靴 材 料
株式会社ヒロスイ	草津南町	"	魚 問 屋
鈴木商店	水主町	"	食料及び飲料
広島中央水産株式会社	"	"	鮮 魚 問 屋
菅 野 商 店	吉島羽衣町	"	金 物
杉本薬品株式会社	大手町3丁目	"	医 薬 品
成 宮 商 店	大手町2丁目	"	織 維
広島県織維製品商業協同組合	西魚屋町	"	織 維 製 品
株式会社小田政商店	研屋町	"	織 物
第一通商株式会社	立 町	"	物 産 商
株式会社日野直助商店	三川町	"	医 薬 品
山陽モーターズ株式会社	千田町2丁目	"	自動車修理販売
十和織物株式会社	稲荷町	"	織 物
広島いすゞ自動車株式会社	西蟹屋町	"	自動車修理販売
岡田金属株式会社	仁保町堀越	"	古 鉄 商
株式会社福屋	八丁堀	各種商品小売	百 貨 店
森 下 泉	稲荷町	専門品小売	新 聞
広島百貨店菓子食品株式会社	松原町	"	和 洋 菓 子
オメガ百貨店	猿猴橋町	"	時 計、貴 金 属
佐 古 若 太 郎	愛宕町	"	新 聞
広島トヨタ自動車株式会社	広瀬北町	"	自 動 車 部 品
広島みずしま自動車株式会社	河原町	"	小 型 三 輪 車
広島百貨株式会社	松原町	飲 食 店	飲 食 店
日本食堂株式会社広島駅食堂	"	"	"

主要工業事業所

(従業者40名以上)

事業所名	所在地	製 造 加工品名	事業所名	所在地	製 造 加工品名
(食料品)			丸新醤油株式会社	吉島町	醬 油
ワイズ株式会社	三篠本町2丁目	乳 菓	株式会社弱屋	南段原町	パン、菓子
瀬川食料株式会社	中広町1丁目	昆布佃煮	有限会社ビガー本舗	皆実町1丁目	羊かん
楠原塩詰工業株式会社	上天満町	肉 缶 詰	島工場	"	給 菓 子
三宅食料工業株式会社	"	煮 干	鈴木化学工業株式会社	宇品町14丁目	グルタミン酸ソーダ、アミノ酸
草津水産煉製工業組合	草津南町	かまぼこ	松尾糧食工業株式会社	宇品町	キャラメル
広島三栄製菓株式会社	東観音町1丁目	給 菓 子	広島糧工株式会社	宇品町	乾パン、食パン
佐伯糖化株式会社	南観音町	キャラメル	(紡織製品)		
			山陽綿業株式会社	尾長町片河	中入綿、脱脂綿

藤野綿業株式会社	東蟹屋町	製綿、 脱脂綿、 擦染、 綿カスリ	長谷川ゴム工業株式会社	舟入川口町	ゴム草履
昭和染工株式会社	楠木町4丁目		野口ゴム工業株式会社	段原日之出町	ゴム靴
(木材及び木製品)			井畑ゴム工業株式会社	東雲町	"
今田木工株式会社	尾長町東山根	タンス	大東ゴム工業株式会社	大洲町1丁目	"
株式会社桐原容器工業所	舟入川口町	洋たる	(皮革及び皮革製品)		
(家具及び建具)			大橋工業株式会社	三篠本町3丁目	男女革靴
財団法人広島豊福福祉協会	宇品町	木製家具	(ガラス)		
(化学薬品及び製品)			広島ガラス工業株式会社	南千田町	一升びん
戸田工業株式会社	舟入川口町	ペンガラ	(第一次金属)		
日本理化学工業株式会社	"	圧縮酸素	株式会社市場製作所	南観音町	鉄鉄鋳物
広島工場			大和重工株式会社観音工場	"	"
中国塗料株式会社	吉島本町	塗料	(金属製品)		
(紙及び類似品)			合資会社山田建築金物商店	白島九軒町	建築用金物
三次製紙株式会社	楠木町3丁目	ちり紙、 仙貨紙	株式会社鶴野製作所	東観音町1丁目	鉄製庫
広島紙工業株式会社	打越町	ボール紙	広島製缶株式会社	南観音町	ぶりきかん
(印刷出版及び類似品)			江波鉄工授産場	"	ボルト更正
株式会社中本本店	西白島町	定期刊行物 その他、印刷物	熊野製缶株式会社	江波町	製缶ぶりき
株式会社中国新聞社	上流川町	日刊紙	兼守金属工業株式会社	水主町	鑑札
文化印刷株式会社	舟入仲町	事務用印刷物	大東製缶工業所	東雲町	石油缶
広島図書株式会社	南観音町	書籍	株式会社熊平製作所	宇品町	金庫、 ポンプ
広鉄印刷株式会社	大須賀町	印刷製本 事務用品	(機械器具)		
中本印刷株式会社	大洲町1丁目	商業印刷物	有限会社石田鉄工所	中広本町	農具、 建築金物
広島県印刷所	霞町	印刷	株式会社津田式ポンプ製作所	南観音町	手動ポンプ
共同印刷図書株式会社	翠町	印刷、製本	佐伯鋼業株式会社	舟入幸町	手動ポンプ 架線金物
朝日製版印刷株式会社	下中町	商業印刷物	日本家庭編物研究所	千田町1丁目	編物器
共栄印刷紙工有限会社	観音本町1丁目	レツテル 株券	中野工業株式会社皆実工場	皆実町2丁目	脱穀機、 醸造機
(ゴム製品)			有限会社大洋製作所	宇品町	手動ポンプ
西川ゴム工業株式会社	三篠本町2丁目	スポンジ ゴム製品	(電気機械器具)		
明星ゴム工業株式会社	楠木町3丁目	スポーツ用品 ゴム草履	広島電球株式会社	出汐町	電球
興亜ゴム工業株式会社	楠木町2丁目	合羽、 ゴム靴	中国電力株式会社大洲製作所	大洲町	変圧器、 蓄電器
東亜ゴム工業株式会社	楠木町1丁目	ゴム靴、 ゴム草履	西美電気工業株式会社	皆実町2丁目	開閉器
株式会社新興ゴム工業所	舟入川口町	ゴム草履			

(輸送用機械器具)			久保田鉄工所	仁保町青崎	三輪車部品
広島日産自動車株式会社	三篠本町3丁目	自動車部品	明電工業株式会社	仁保町東青崎	機関車部品
広島トヨタ自動車株式会社	広瀬北町	自動車及び部品	金輪船渠株式会社	宇品町金輪島	船舶修理
日本軽自動車株式会社	西新町	オートバイ	株式会社宇品造船所	元宇品町	造船、 内燃機
三菱造船株式会社広島造船所	南観音町	鋼貨物船	(その他の製品)		
"	江波町	バス、トラック車体	株式会社田村番七製針所	楠木町3丁目	縫針
藤田自動車工業株式会社	千田町3丁目	鉄道保安信号装置	日本針工業株式会社	"	ミシン針
鉄道保安工業株式会社	東雲町	船舶部品	万国製針株式会社	楠木町2丁目	縫針、 ミシン針
広島出張所	大洲町	三輪、 貨物部品	住野工業株式会社	打越町	はせ
株式会社新興金属工業所	"	三輪車部分	三宅製針株式会社	上天満町	ミシン針
蔵田金物株式会社	仁保町堀越		広島製砥所	南蟹屋町	人造研削砥石
神田鉄工所	"		宮本産業株式会社	皆実町3丁目	王冠
川田鉄工所	"				

主要金融機関

名	称	所在地	名	称	所在地
(銀行)			呉相互銀行広島支店		紙屋町
広島銀行本店		紙屋町	西日本相互銀行広島支店		革屋町
日本銀行広島支店		袋町	愛媛相互銀行広島支店		胡町
住友銀行広島支店		紙屋町	広島信用金庫		横川町
協和銀行広島支店		大手町	広島商工信用金庫		堺町
三和銀行広島支店		"	住宅金融公庫広島支所		霞町
第一銀行広島支店		"	国民金融公庫広島支所		袋町
三菱銀行広島支店		革屋町	商工組合中央金庫広島支所		東魚屋町
帝国銀行広島支店		"	農林中央金庫広島支所		尾道町
東京銀行広島支店		胡町	広島県労働金庫		出汐町
日本勧業銀行広島支店		上流川町	広島市農業協同組合		大手町
日本興業銀行広島支店		猿楽町	広島市西部農業協同組合		古田町
富士銀行広島支店		胡町	(保険)		
伊予銀行広島支店		平田屋町	第一生命保険相互会社広島支社		基町
山口銀行広島支店		"	朝日生命保険相互会社広島支社		"
大和銀行広島支店		立町	明治生命保険相互会社広島外務部		袋町
住友信託銀行広島支店		紙屋町	千代田生命保険相互会社広島支社		大手町
日本開発銀行広島事務所		猿楽町	国民生命保険相互会社広島支社		紙屋町
広島相互銀行		八丁堀	光生命保険相互会社広島営業所		革屋町

		(證 券)	
大同生命保険相互会社広島支社	的場町	中川証券株式会社	山口町
日新生命保険相互会社広島支社	袋 町	広島証券株式会社	銀 山 町
第百生命保険相互会社広島支社	八丁堀	長尾証券株式会社	山 口 町
中央生命保険相互会社広島支社	基 町	野島証券株式会社	"
大和生命保険相互会社広島支社	小 町	佐藤証券株式会社	銀 山 町
富国生命保険相互会社広島支社	袋 町	一心証券株式会社	"
東邦生命保険相互会社広島支社	西魚屋町	日興証券株式会社広島支店	山 口 町
協栄生命保険株式会社広島支社	基 町	山一証券株式会社広島支店	立 町
日本生命保険相互会社広島支社	大手町	野村証券株式会社広島支店	草 屋 町
東京生命保険相互会社広島支社	袋 町	大和証券株式会社広島支店	西魚屋町
太陽生命保険相互会社広島支店	八丁堀	土居証券株式会社	山 口 町
平和生命保険株式会社広島支店	基 町	内田証券株式会社	"
東京海上火災保険株式会社広島支店	袋 町	日本勧業証券株式会社広島支店	上流川町
大阪住友海上火災保険株式会社広島支店	草屋町	三金証券株式会社	銀 山 町
安田火災海上保険株式会社広島支店	研屋町	吉池証券株式会社	鉄 砲 町
日本海上保険株式会社広島支店	大手町	八幡証券株式会社	銀 山 町
大正海上火災保険株式会社広島支店	八丁堀	広島証券株式会社	"
千代田火災海上保険株式会社広島支店	大手町	丸広証券株式会社	"
日産火災海上保険株式会社広島支店	"	大一興証券株式会社	山 口 町
同和火災海上保険株式会社広島支店	基 町	芸備証券株式会社	"
日動火災海上保険株式会社広島支店	国泰寺町	ウツミ屋証券株式会社	銀 山 町
富士火災海上保険株式会社広島支店	中島本町	春陽証券株式会社	"
日新火災海上保険株式会社広島支店	尾道町	鎌田証券株式会社	山 口 町
興亜海上火災運送保険株式会社広島支店	大手町	若葉証券株式会社	銀 山 町
大東京火災海上保険株式会社広島支店	立 町	高田屋証券株式会社	立 町
大成火災海上保険株式会社広島営業所	猿楽町		
共栄火災海上保険相互会社中国支社	西引御堂町		

政 党 団 体

(選挙管理委員会調)

名 称	事務所の所在地	代 表 者	名 称	事務所の所在地	代 表 者
自由党広島支部	八 丁 堀	楠瀬 常猪	国鉄労組広島地方本部	二葉ノ里	植木仙次郎
日本社会党広島支部	西蟹屋町	佐竹 新市	国鉄労組広島支部	宇 品 町	吉原 正雄
日本社会党広島県支部連合会	"	山田 節男	国鉄労組広島第一支部	松 原 町	岡岡 虎美
労働者農民党広島地方本部	南段原町	山本 定治	国鉄労組広島第二支部	"	田邊 正治
日本社会党国鉄広島管理支部	松 原 町	佐藤 修	広島医師連盟	下 中 町	松坂 義正
部落解放広島県連合会	下流川町	土岡喜代一	広島労働組合連絡協議会	小 町	石堂 実夫
日本共産党広島県委員会	南三篠町	村上 経行	県政同志会	出 汐 町	小谷 伝一
日本共産党広島地区委員会	比 治 山 本 町	法山 大鶴	広島県政協議会	霞 町	"
電産労組中国地方広島県支部本店分会	小 町	石堂 実夫	広島市政研究会	平 野 町	田中 隆雄
電産労組中国地方広島県支部支店分会	"	森安 清	政治文化同好会	石見屋町	高橋 豊和
電産労組中国地方広島県支部大洲分会	大 洲 町	海老村 守	福三青年会	福島中町	塩川 数一
電産労組中国地方広島県支部出汐分会	出 汐 町	佐々木保正	広島青年政治会	千 田 町	松本 春美
電産労組中国地方広島県支部	小 町	安倉 確	県市政刷新同志会	皆 実 町	河野 年男
電産労組西営業所分会	"	遠藤 雅紀	広島県婦人政治同盟	宝 町	鈴木 文枝
広島県商工政治協議会	基 町	山崎 吾一	日本社会党広島県支部連合会	界 町	星野 民雄
日本協同組合同盟広島県支部	仁 保 町	川本 泉	旅館組合	中島本町	小田 繁市
広島県教職員組合	稚魚場町	安藤 清子	広島市農民同盟	大 手 町	中脇 健一
広島県高等学校教職員組合	霞 町	笹岡 始	広島県遊興飲食税徹廃期成同盟	東魚屋町	伊藤光治郎
広島県生活擁護同盟協議会	段 原 町	中村 一郎	広島県開拓者連盟選挙対策委員会	比治山町	花房 脩宗
広島地方労働組合会議	基 町	松江 澄	在広能美出身者瀬尾弘吉後援会	元宇品町	瀬戸 正義
広島県歯科医師連盟	宝 町	野村 熊雄	全日通労働組合広島県支部	宇 品 町	児玉 良造
広島県歯科医師連盟広島支部	"	入谷 牛宗	改進黨広島世話人会	基 町	林 興一郎
国鉄労組広島地方統一委員会	基 町	田丸 政善	甘 日 会	千 田 町	木村 誠

昭和28年10月20日 印刷

昭和28年10月31日 発行

編 集 広島市総務局調査課

発行所 広島市役所
広島市国泰寺町39番地

印刷所 広鉄印刷株式会社
広島市大須賀町

【非 売 品】

